

## 令和3年度 第2回まちづくり委員会議事録

日時: 令和3年10月5日(火)

午後6時から午後7時30まで

場所: 役場2階会議室

### 1 開会

- ・委員の出席者は12名であり、過半数を満たしているため、本会議は成立となる。
  - ・出席者 委員: 板東 康治、新田 睦、大関 匡志、福原 福博、井口 真幸、山前 幸介、源津 憲昭、  
瀬野 乗昭、佐渡 志郎、大西 智貴、村上 真美、京屋 愛子  
※敬称略 計12名
- 事務局: まちづくり推進課 新村課長、安藤係長、八代主事、宮崎主事

### 2 あいさつ

### 3 議案

#### (1) 議題

#### 議題1 共有ビジョンについて【まちづくり推進課】

- ・まちづくり推進課から資料に基づいて説明。

(委員 A)

・資料1-2について、「豊かな美しい景観…」や「地域資源」、「新たな価値」、「あらゆる産業の相乗効果」等の表現がありますが、どのようなイメージでこの共有ビジョンに取り込んだか分かると、理解が深まり、取り組みやすいと思います。また、資料1-3の「5 おわりに」で、「具体的な施策に落とし込んでいく作業が不可欠」とありますが、「具体的」の内容について議論はされたのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・具体的なプロジェクトについては、第2期のワークショップで議論する予定です。第1期のワークショップでは、美瑛町にあってほしいものを単語で書き出し、グルーピングしながら20年後の美瑛町の目指すべき姿を考えていきました。また、北海道の中での美瑛町の役割やSDGsの枠組みの中での取り組み等も意識しました。

議論の中で、「青い池」や「丘の風景」等の具体的な単語も出てきましたが、美瑛町の最上位計画を考えるにあたって様々な産業や取り組みを網羅できるよう、全体的に抽象的な表現になっています。

(委員 A)

・素晴らしい内容だと思いますが、抽象的な表現では読んだ人ごとに違う受け取り方になってしまうので、理解を深めるための作業が必要になってくると思います。

・第2期において、知識や経験があり創造性を提示できる人が参加することで、具体的な内容になっていくと思います。また、第1期の参加者が第2期にも参加することで、取り組みに連続性が生まれて良いと思います。

(まちづくり推進課)

- ・第1期の参加者へは第2期にも参加してほしい旨周知しています。
- ・第2期の参加者については、公募形式で募集しているが、ワークショップ講師からの助言を参考に、男女比率や業種等についてバランスをとっていきたいと思います。

(委員 B)

- ・資料1-2の4点目に「ライフラインが確保され」とありますが、どのような意味でしょうか。

(まちづくり推進課)

・本項については、ワークショップ講師から重要な課題の一つであるという指摘があったことから設けた項目であり、近年の大雨災害や停電等の災害をイメージしながら策定しています。

(委員 B)

- ・現在の美瑛町の水道管は石綿管が使用されており、それが改善されないままこのような目標を立てるのでしょうか。そのようなことも総合的に改善して取り組むべきではないでしょうか。

(まちづくり推進課)

・この共有ビジョンは、最終的にまちづくり総合計画の目標に繋がってくるので、当然十勝岳の噴火や生活のインフラ整備等も含まれている内容になっています。

(委員 B)

- ・5点目に「エネルギーを自給し」とありますが、具体的にエネルギーとは何を指すのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・本項も、ワークショップ講師から重要課題として提示されたテーマです。第1期のワークショップでは具体的なところまでは議論できていませんが、町内の一部では木質バイオマス発電や地熱を利用した暖房等の利用が進んでいる状況であり、今後のまちづくりを考えるうえで再生可能エネルギーの活用を検討していく必要があるということになりました。

(委員 C)

- ・共有ビジョンの各項の並び順に意味はあるのでしょうか。

(まちづくり推進課)

- ・現行のまちづくり総合計画の順番で並べています。
- ・新しい総合計画を策定する際には、並び順についての検討も必要かと思っています。

(委員 D)

・共有ビジョンについては、ワークショップで参加者から出てきた意見を事務局で吸い上げた結果だと思っています。

## 議題2 まちづくり評価について【まちづくり推進課】

・まちづくり推進課から資料に基づいて説明。

(委員 E)

- ・資料2-1の④について、各団体への支援事業は「評価の対象外とする」とありますが、各団体の評価を客観的な方法で実施するというべきだという議論はなかったのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・外部組織への支援事業については、町の決算書では負担金又は補助金というような表記で完結してしまい、まちづくり評価における評価基準及び調書で評価することが困難だったので今回は対象外としました。

・現在、町民の皆さんから見て客観的に評価できる情報があるのかというと、決算書類以外はないと思います。

(委員 F)

・外部組織の状況については、担当課で把握しており、評価できているという認識でいいのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・担当課では、事業や予算の状況を把握しています。また、各団体の役員会等は定期的を開催されているので、その中で取り組みや考え方等のすり合わせを行っていると思います。

(委員 G)

・外部団体に補助金を出す場合、成果の批評が必要になってくると思います。何を成果とするか規定した上でその評価を役場で行わないのであれば、適正な評価はどこで行うのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・補助団体の事業評価等については、団体と役場で議論が交わされますが、KPI を設定して公表という方法は行っていません。

(委員 H)

・事業を行う団体については、明確な成果を規定して取り組んでいくという作業が必要だと思います。

(まちづくり推進課)

・団体において実施する事業を明確にした上で町から補助金を支出しているため、その事業に対する評価は必要になると思います。議会の中でも、毎年事業内容と決算について報告が行われていますが、その場で担当課長が質問に対して回答するという形式をとっています。また、団体については町の監査委員により定期的な監査が行われています。

・町から多くの補助金を支出している団体の成果については、今後評価のあり方を検討していきたいと思います。

(委員 H)

・各事業の評価結果については、ほとんどの事業が「現状継続」となっていますが、事業継続を念頭に置いて評価をされているのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・最終的に評価検討委員会で「現状継続」と評価されている事業でも、各担当課においては事業の見直しが必要な点等を洗い出しており、今後の予算査定等に向けて検討している事業もあります。

(委員 H)

・対象の事業の中には、役場において淡々と継続していかなければならない事業もあると思います。そのような事業を評価する必要があるのかと考えています。淡々と行う事業と、集中して取り組むべき事業の区分が必要になると思います。

・全事業の評価を行わないということで見直しを行ったとありましたが、さらに見直しをかけても良いのではないかと思います。評価の必要がある事業だけ評価していければいいと思います。

(まちづくり推進課)

- ・評価基準に則り、事業数を絞った上で評価を行っておりますが、対象事業1つ1つの調書を作成し評価する作業には膨大な時間がかかっています。当課としても、現行の小事業ベースではなく、政策、施策の段階で評価を行っていく方法に移行していきたいと考えています。今後、新しい総合計画の策定に取り組むと同時に、新しい評価方法に係る検討も進めていきたいと思っており、評価の必要性がある事業だけを評価できる仕組みに変えていきたいと考えています。
- ・全事業を短期間で評価することは現実的ではないと考えています。細かい事業ベースで評価を行うよりも、さらに大きな括りで評価した方が良いのではと内部でも話しています。
- ・今後、新しいまちづくり総合計画の策定に合わせて事業評価についても見直し、まちづくり総合計画とも連動するように検討していきたいと考えています。

(委員 H)

- ・予算のない事業も評価しているので、もう少しすっきりしても良いのではと思っています。

(まちづくり推進課)

- ・事業評価については、町民への情報公開としての要素もあるので、受け取る町民にとってももう少し分かりやすい内容にするためにも、大きな括りで評価した方が良いかと思っています。

(委員 I)

- ・1次評価の効率性において、他事業との統合の可能性を「要検討」としている事業が多いと思います。各事業の担当では、統合の可能性を感じてこのような評価を行ったと思いますが、本当に検討を進めないで解決には繋がっていかないと思います。

(まちづくり推進課)

- ・確かに「要検討」の回答が多い状況です。今回、「要検討」としていた事業については評価検討委員会において検討させていただいており、すぐに統合とするのは難しいという判断がされた事業もありますが、教育委員会管理課の「小学校国際交流の語学指導事業」については「統合」と評価しました。今後、町長と協議していく中でも、各事業の統合に係る検討は行っていきます。

(委員 I)

- ・事業の統合を進めすっきりさせることで、事業評価も実施しやすくし、町民も理解しやすい内容にしたいと思っています。

(委員 J)

- ・「小学校スキー授業推進事業」における1次評価の必要性について、「スキー以外の代替種目が考えづらく、冬期間における体力維持が困難になってしまう。」とありますが、町内には体育館も屋内プールもあるので、現場に即した評価とは思えませんでした。町内のスキー場は低学年向けのため、中・高学年のスキー授業のためにはバスを活用して町外のスキー場へ行く必要があり、また、指導員の派遣も必要な状況で、このような評価について疑問を感じます。
- ・「保護者負担の低減」という表現もありますが、学校からは授業当日のお手伝いを依頼されています。担当職員が授業の様子を確認するわけではなく、何らかの報告数字だけでこの事業を評価していると考えられ、結局表面しか触れていない評価になっていると思います。

(まちづくり推進課)

・1次評価については担当課で評価を行っており、事業の必要性を説明する上でこのような表現になってしまったかと思えます。今回のご意見は、現場の率直な意見として担当課にも引き継いでおきたいと思えます。

(委員 K)

・資料2-2の第2(1)③に「町の施策、事業の評価を町民に公表し、行政の透明性の確保と説明責任の遂行を図る」とありますが、どのような形で遂行するのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・皆様にお渡ししている評価調書を全て町のホームページで町民向けに公表を行います。また、広報11月号においてまちづくり評価の概要及びホームページでの公表について説明する予定です。

(委員 L)

・共有ビジョンとまちづくり評価はまちづくり総合計画と連動していくと思えますが、前回のまちづくり委員会で説明を受けた過疎地域持続的発展市町村計画の内容についても、まちづくり総合計画へ反映されてくるという認識で良いのでしょうか。各種計画等とまちづくり総合計画はどのような関係性になっているのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・優先順位についてはまちづくり総合計画が一番上にきます。そこに、過疎地域持続的発展市町村計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略、都市計画等の各種計画が紐づいてきますので、過疎地域持続的発展市町村計画の内容についてもまちづくり総合計画に含まれることになります。

・また、過疎地域持続的発展市町村計画については、本計画の策定により過疎対策事業債を借りることができるという財政的メリットがあることから、ある程度広い事業を掲載しているため、実際に事業が実行されるかどうかは不明確な部分もあります。

(委員 L)

・過疎地域継続発展市町村計画の内容については、重要な事が記載されているので、実現に向けて取り組んでもらいたいと思っています。

(まちづくり推進課)

・過疎対策に係る計画については、5年おきに見直しを行う計画となっています。今回も、移住・定住関係やICTを活用した地域振興等の新規項目が国から示されており、市町村においても新規項目に関する政策を考えていかなければならないということで、広い範囲の事業を提案しています。具体的な内容については、今後小事業ベースで考えていかなければならないと思っています。

(2)その他

・特になし

4 閉会

## 令和3年度 第2回まちづくり委員会議案

日時 令和3年10月5日(火)  
午後6時～  
場所 役場2階会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 議案

(1) 議題

①共有ビジョンについて【まちづくり推進課】

②まちづくり評価について【まちづくり推進課】

(2) その他

4. 閉会

令和3年10月5日

## 美瑛町共有ビジョン（案）の策定について

### 1 共有ビジョンの策定について

#### （1）共有ビジョンとは

美瑛町の将来のありたい姿を描き、実現するために、将来ビジョンを一文にまとめたもので、新たな「美瑛町まちづくり総合計画」の目標となる。

#### （2）策定の目的

- ・新たな「美瑛町まちづくり総合計画」を策定し、実行するため。
- ・あらゆる地域課題の解決に向けて、20年後（2040年）のまちの将来を考える。
- ・まちの「ありたい姿」を、町民同士で話し合う。

#### （3）策定方法

- ・まちづくりの専門家を招聘し、ワークショップ形式で策定する。

### 2 まちづくりワークショップについて

#### （1）概要

専門的手法（バックキャストリング、システム思考など）を用いて、町民と役場職員の混成チームにより、ワークショップ形式で共有ビジョンを策定する。

#### （2）講師

有限会社イーズ 代表取締役 枝廣 淳子 氏

大学院大学至善館教授、幸せ経済社会研究所所長

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了

環境・エネルギー問題に関する講演、執筆、企業コンサルティング等の活動を通じて、地球環境の現状や国内外の動きを発信している。

システム思考やシナリオプランニングをいかした合意形成に向けての場づくり・ファシリテーターを企業や自治体で数多く務めている。



#### （3）参加者

- ・公募による募集
- ・町民11名、役場職員12名、合計23名が参加

#### (4) これまでの経過

令和2年11月	1日	第1回ワークショップ
令和3年	2月17日	第2回ワークショップ
	3月30日	第3回ワークショップ
	4月22日	第4回ワークショップ
	7月1日	第5回ワークショップ
	7月8日	第1回有志チーム会議
	7月15日	第2回有志チーム会議
	7月20日	第6回ワークショップ
	9月下旬	第7回ワークショップ(予定)

### 3 町民コメントについて

#### (1) 期間

- ・8月16日(月)から9月16日(木)までの期間で実施

#### (2) 公表内容

- ・美瑛町共有ビジョン(案)
- ・美瑛町共有ビジョン(冊子)

### 4 その他

- ・町民コメント終了後、意見を反映した最終版を公表する。
- ・令和4年度策定予定の「まちづくり総合計画」の柱として位置付ける。



## 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち

- 世界に誇る「丘のまちびえい」を守り、地域資源が農業と観光の新たな価値を生み、あらゆる産業の相乗効果を高めるまち

## 誰もが自らの可能性を伸ばせるまち

- 自分たちの未来を信じ、チャレンジを応援しあえるまち

## 誰もが健康でともに支えあい、安心して住み続けられるまち

- 充実した保健福祉と医療を受けられる体制が確保され、みんなで声をかけあい健やかに暮らせるまち

## ライフラインが確保され、災害に負けない強さとしなやかさを備えるまち

- 十勝岳噴火やあらゆる災害に対応できる最新技術を取り入れたインフラ環境を整備するとともに、防災・減災についてみんなで考え行動するまち

## 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会をめざすまち

- 十勝岳連峰の裾野に広がる豊かな環境を守りながら、エネルギーを自給し、資源と経済を循環できるまち

## 子どもの個性を育み、全力で応援するまち

- 地域全体で子どもの成長を見守り、多様な個性に応じたサポートができるまち

## すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち

- 人と人とがつながりあい、多様性を尊重し、すべての人々に居場所や活躍の場があり、自分らしくいられるまち

---

# 美瑛町共有ビジョン（案）

【まちのありたい姿を描き、それを実現する】

---

～20年後の美瑛町をみんなで考えよう～



令和3年（2021年）●月

美 瑛 町

美瑛町共有ビジョンまちづくりワークショップ

# 目次

## 1 はじめに

---

はじめに	1
------	---

## 2 まちづくりワークショップの概要

---

(1) 開催の背景	1
(2) 開催の目的	1
(3) ワークショップの体制	2

## 3 ワークショップの記録

---

ワークショップの記録	3
------------	---

## 4 ワークショップに参加した皆さんの感想

---

(1) 参加メンバーの感想	11
(2) 講師からのひと言	12

## 5 おわりに

---

おわりに	12
------	----

## 1 はじめに

美瑛町では、1960（昭和35）年に人口が21,743人とピークを迎えて以降、人口の減少が続いています。2021（令和3）年7月末現在の人口は9,686人と1万人を割り込み、今後も人口は減少していくものと予想されます。

人口減少、少子高齢化、過疎化など様々な地域課題を抱えておりますが、今だからこそ美瑛町に住むみんなでまちの将来のことについて真剣に向き合う必要があります。

この冊子では、20年後の美瑛町について「どんなまちにしたいか、どんなまちになってほしいか」を、町民と役場職員がチームを作り、町民の皆さんの意見をできるだけ多く取り入れながら、真剣に話し合ってきた経過と今後のビジョンを説明します。

## 2 まちづくりワークショップの概要

### （1）開催の背景

美瑛町では、2016（平成28）年に策定した「第5次美瑛町まちづくり総合計画」（以下「総合計画」という。）を、本町が策定するあらゆる構想や計画の最上位と位置づけ、本町が進むべき方向性と、それに向けて実施すべき施策を体系づけた計画をもとに、まちづくりを推進してきました。

しかしながら、地域においては人口減少、少子高齢化、過疎化などの課題が顕在し、ますます地域衰退の波が押し寄せており、国の共通施策である、地方創生推進の加速化における地方自らの対応が求められております。

そのような中、本町では、2020（令和2）年に総合計画が中間年を終えることや、「移住・定住」「子ども・子育て」に関する施策における役場組織の再編が行われたことなどから、新たなまちづくりの方向性と基本施策等を示していく必要があります。

行政主導のまちづくりには限界があり、これからのまちづくりには町民の皆さんの「声」を取り入れながら、町民主体のまちづくりを実践していく必要があります。

### （2）開催の目的

まちづくりワークショップは、美瑛町に対する町民の皆さんの思いをこれからのまちづくりに生かしていくため、2040（令和22）年の美瑛町のありたい姿を描き、実現するための目標である「美瑛町共有ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定することを目的としています。

このビジョンをまちづくりの柱と位置づけ、新たな総合計画の策定と、それに基づくこれからのまちづくりの実践につなげていきます。



### (3) ワークショップの体制

2020（令和2）年8月号の町広報で町民参加者を募り、11名の方に応募していただきました。農業を営む方、移住されてきた方、子育て中の方など、仕事も生活もこれまでの経験も異なる様々な方々に集まっていただきました。

参加した皆さんは、美瑛町に対し、熱い思いをお持ちの方ばかりで、ビジョンの策定に大いに貢献していただきました。

また、今回はこれまでのワークショップとは違い、町民だけではなく若手中心の役場職員12名にも参加していただき、町民と役場職員の混成チームを基本としてビジョンの策定作業に取り組みました。

### 参加メンバーの紹介

（参加者は五十音順）

町民参加者 (11人)	京屋 大輔※、佐竹 正範、白石 久代※、鈴木 結※、竹内 百合、土屋 宏之 沼倉 美保※、沼田 紘司、沼田 康子、村上 寿裕、吉田 鉄平
役場職員参加者 (12人)	石澤 智博（建設水道課）、大畑 裕矢（総務課）、越智 望実（保健福祉課） 國本 完（農林課）、柴田 崇史（教育委員会管理課）、沼尻 一樹（総務課）※ 原子 雅史（住民生活課）※、平田 敦史（商工観光交流課）、森中 麻友（総務課） 森谷 拓磨（税務課）、柳田 瑠介（まちづくり推進課）※、結城 英貴（保健福祉課）※
事務局 (3人)	まちづくり推進課 課長 新村 猛、係長 安藤 和也※、主事 八代 正弘※

※は有志チーム兼務

### 講師の紹介

## 枝廣 淳子 氏

有限会社イーズ 代表取締役  
大学院大学至善館教授、幸せ経済社会研究所所長  
東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了

環境・エネルギー問題に関する講演、執筆、企業コンサルティング等の活動を通じて、地球環境の現状や国内外の動きを発信している。

システム思考やシナリオプランニングをいかした合意形成に向けての場づくり・ファシリテーターを企業や自治体で数多く務めている。

島根県隠岐諸島の海士町や熊本県の水増（みずまさり）集落、南小国町、北海道の下川町等、意志ある未来を描く地方創生と地元経済を創りなおすプロジェクトにアドバイザーとして関わっている。



### 3 ワークショップの記録

## 第1回 まちづくりワークショップ

日時 令和2年11月19日 午後6時から9時まで

会場 美瑛町役場4階委員会室

#### 進行プロセス

##### ①角和町長のあいさつ

「20年後の2040年に向かって美瑛町のありたい姿を実現するために何をすべきなのか、という視点でまちづくりを進めていきたい」「大きな目標となるビジョンを皆さんとともに作っていきたい」「町民の皆さんのアイデアで、美瑛の将来像を描いていただきたい」とのお話をいただきました。

##### ②自己紹介

皆さん緊張した面持ちで自己紹介（出身や仕事など）をしていただきました。

##### ③グループワークⅠ

美瑛町の「好きなところ」「素敵だと思うところ」「誇りに思っているところ」を付箋に書き込み、模造紙に貼りながら話し合いました。次に、美瑛町の「気になるところ」「変えた方がよいと思うところ」「不安・心配なところ」について同様のプロセスで話し合いました。

##### ④グループワークⅡ

SDGsの17目標について「美瑛町にとっての関連性」「美瑛町にとっての重要性」の観点で1～5点までの点数を付けました。皆さんが付けた点数を集約して、分析結果をもとに次回のワークショップで話し合いました。

##### ⑤グループワークⅢ

今の美瑛町と比べて「増えてほしいもの」「減ってほしいもの」「変わらずにあってほしいもの」を付箋に書き込み、模造紙に貼りながら話し合いました。次に、この質問を参加者以外の町民の皆さんにインタビューするための準備として「どういう人に聞きたいか」について同様のプロセスで話し合いました。

##### ⑥ひと言チェックアウト

ワークショップの感想を一人ひと言ずつ発表しました。



#### 事務局のコメント



令和2年6月からワークショップをスタートする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、初回は11月開催となりました。町民の皆さんと役場職員が長期間にわたって話し合いをするという、これまでにない取り組みのため、期待と緊張の中でのスタートとなりました。

## 第2回 まちづくりワークショップ（オンライン開催）

日時 令和3年2月17日 午後6時から9時まで

会場 美瑛町役場2階会議室  
美瑛町役場3階第1・2会議室

### 進行プロセス

#### ①角和町長のあいさつ

「前回は大変好評のうちに終了したので、今回も楽しみにしていた」「コロナ禍でのオンライン開催は今の時代のあり方だと思う」とのお話をいただきました。

#### ②ひと言チェックイン

ワークショップに向けた思いを一人ひと言ずつ発表しました。

#### ③町民インタビューの確認

前回から今回までのあいだに、参加者一人ひとりが自分の友人や知人、職場の同僚などに、今の美瑛町と比べて「増えてほしいもの」「減ってほしいもの」「変わらずにあってほしいもの」をヒアリングしました。329人も町民の皆さんから意見をいただき、その結果を共有しました。

#### ④グループワークⅠ

前回話し合った、今の美瑛町と比べて「増えてほしいもの」「減ってほしいもの」「変わらずにあってほしいもの」の意見が記入された用紙をハサミで切り取り、分類ごとにグループ分けをした上で、そのグループに名前を付けました。

次に、上記の下線部が「なぜ、そう思うか？」を掘り下げて考え、付箋に書き込み模造紙に貼りながら話し合いました。

#### ⑤ワークショップⅡ

町民インタビューで意見をもらった人の属性一覧をもとに、まだヒアリングできていない町民の属性を考え、次回までに誰がどのような人にヒアリングをするか考えました。

#### ⑥ひと言チェックアウト

ワークショップの感想を一人ひと言ずつ発表しました。



### 事務局のコメント



本邦初！？となるオンラインでのワークショップを行いました。枝廣講師は熱海市から、その他の有限会社イーズの方は東京都から、そして美瑛町は役場の中で2会場に分かれて開催しました。初めての試みでしたので不安もありましたが、大きなトラブルもなく無事に開催することができました。

## 第3回 まちづくりワークショップ

日時 令和3年3月30日 午後6時から9時まで

会場 町民センター3階大会議室

### 進行プロセス

#### ①ひと言チェックイン

ワークショップに向けた思いを一人ひと言ずつ発表しました。

#### ②グループワークⅠ

言葉の因果関係を矢印(⇒)でつなぐ作業をクイズ形式で行いました。例えば「本を読むと知識が増える」という文章は、「読んだ本の数」⇒「知識」となります。

次に、前回作成した、今の美瑛町と比べて「増えてほしいもの」「減ってほしいもの」「変わらずあってほしいもの」の言葉をもとにループ図を作成し、美瑛町の好循環がいくつもループしている姿を描いてみました。

#### ③グループワークⅡ

グループワークⅠで作成したループ図をもとに、参加者が思う「美瑛町を好循環にしたい要素」が「自然環境・産業経済・笑顔(福祉)・子ども子育て」であることが見てきたので、その要素ごとに新たなグループを作り、自分が話したいグループに移動してから、再度ループ図を作りました。

次に各グループで作成したループ図をもとに、そのエッセンスを汲み上げながら一文にまとめる作業を行いました。

#### ④ひと言チェックアウト

ワークショップの感想を一人ひと言ずつ発表しました。

#### ⑤角和町長のあいさつ

「皆さんの意見をループ図にまとめることで有機的なつながりが生まれ、いよいよ佳境に入ってきたなという期待感を感じた」「引き続き色々なアイデアを出していただきたい」とのお話をいただきました。



### 事務局のコメント



これまで取り組んできた“バックキャストिंग※”から“システム思考※※”を用いて考える”という段階に入り、いよいよビジョンの作成に近づいてきたような気がしました。参加者の皆さんもグループワークに慣れてきたのか話し合いが活発になり、グループでの作業を楽しみながら取り組む姿が増えてきました。

※「未来のあるべき姿」を描き、その姿を実現するためには、今何を行うべきか、未来に向けてどう進んでいくべきかを考える思考法のこと。  
 ※※物事の全体像を捉え、様々な要素とのつながりを把握した上で、最も効果的な解決法へ向かうアプローチのこと。



## 第4回 まちづくりワークショップ

日時 令和3年4月22日 午後6時から9時まで

会場 町民センター2階第3・4会議室

### ①グループワークⅠ

6つのグループに分かれてグループワークを始めました。前回のワークショップの最後に作成した一文（ビジョン案）と、以前行った町民インタビューで集めた意見を照らし合わせて、一文（ビジョン案）にはない町民意見をピックアップして模造紙に貼り付けました。次に貼り付けた意見をグルーピングしました。

#### 前回作成したビジョン案

- 自然景観 町民の誇りである自然景観が、便利さとは違う住み心地を提供し、外にも魅力を発信し続ける丘のまち
- 新規産業 まちの状況を常時細かく発信し、新しいことにチャレンジする人や企業が住み続けられやすい環境の整ったまち
- 笑顔（福祉） みんなが生きがいを感じ、お互いに助け合いながら、誰もが安心して暮らせる笑顔あふれるまち
- 子ども・教育 個性を伸ばして育った子どもが戻ってきたくなるまち

### ②グループワークⅡ

進行プロセス

グループワークⅠで作成した模造紙について、次の3点（①SDGsの枠組み、②役場の組織図、③第2回ワークショップのグループワークⅠで作成した資料）と照らし合わせて、出てきていない重要な意見をピックアップした上で、模造紙に貼り付けました。

次に、貼り付けた意見をグルーピングして、グループワークⅠで作成した模造紙に追加しました。

### ③グループワークⅢ

4つのグループ（自然景観、新規産業、笑顔（福祉）、子ども・教育）にメンバーを再編してグループワークを行いました。これまで出てきた意見をもとに、ストーリーを描きながら一文（ビジョン案）を作成しました。

次に、作成した一文（ビジョン案）の中に「美瑛らしさ」が入っているかどうかを確認し合いながら、次の順番（①グルーピング、②つながりを考える、③一文を作る）で作業を行いました。

### ④ひと言チェックアウト

ワークショップの感想を一人ひと言ずつ発表しました。



### 事務局のコメント



毎回3時間という長時間にわたりワークショップを行ってきましたが、枝廣講師から説明される作業内容（意見用紙を切り取る・付箋を模造紙に貼り付けてグルーピングする・一文を考えるなど）をこなしていくと、時間があっという間に過ぎてしまい、参加者の中からは「もう少し時間が欲しい!」という声も聞こえてくるぐらい作業に熱中していました。

## 第5回 まちづくりワークショップ

日時 令和3年7月1日 午後6時から9時まで

会場 美瑛町役場4階委員会室

### 進行プロセス

#### ①ひと言チェックイン

ワークショップに向けた思いを一人ひと言ずつ発表しました。

#### ②グループワーク I

前回作成した一文（ビジョン案）をもとに、自分自身の感想や共通する言葉、言葉のつながりなどを意識しながら追加・修正する箇所について話し合いました。

次に、枝廣講師から「ビジョンに基づいて町が政策を作るので、政策に落とし込めるような具体的なイメージをもって議論すること」というアドバイスをいただきましたので、これに沿って一文（ビジョン案）の言葉を言い換えることや、詳しく説明することなどにより、もう一度掘り下げて考えました。出てきたキーワードを付箋に記入し、ホワイトボードに貼り付けて発表しました。

##### 前回作成したビジョン案

- Aチーム すべての人が笑顔で最期まで暮らせるまち／自然景観が農業と観光をつなぐ架け橋となるまち  
子どもの個性を伸ばし多様な未来をつくる教育
- Bチーム 自然景観を保全し町民の生活環境を守るまち  
農業・観光を基軸としICTを活用し新規産業のチャレンジを促進し若年層の雇用を増加させ豊かで幸せなまち  
笑顔あふれ豊かに暮らせる住みやすいまち／医療・福祉・教育が充実し誰もが安心して暮らせるまち
- Cチーム 子どもや高齢者など様々な人たちが集まれる場をつくることで、笑顔のあるまちをつくる  
美瑛町らしい集まれる場／移住者が新規産業にチャレンジし、域内経済循環を活性化させ雇用を創出させる  
男女平等やマイノリティが尊重される社会づくりが笑顔のあるまちをつくる  
まちの財産である豊かな自然景観を守る／安全・安心なインフラ環境が住み心地の良いまちづくりへつながる
- Dチーム 誰もが幸せで笑顔になれるまち／健康で長く安心して住み続けられるまち  
便利・安全・クリーンな住みやすいまち／農業が作り出す観光と食のまち  
みんなが集まりたいまち／失敗してもチャレンジできるまち

#### ③グループワーク II

枝廣講師から「①北海道、日本、世界の一員としてのまち、②時代と社会の要請に応えられるまち、③SDGsの視点、この3つの観点を意識して議論を深めてほしい」「これからのまちづくりにおいて避けて通れないことは、『エネルギー、食糧、温暖化』の3つである」とのお話があり、これをもとに4つのグループに分かれて一文（ビジョン案）を整理し、それぞれ発表しました。

#### ④ひと言チェックアウト

ワークショップの感想を一人ひと言ずつ発表しました。

#### ⑤角和町長のあいさつ

「最初の頃の自由奔放な意見がまとまってきた。とても面白いしワクワクする」「ビジョンはスローガンではなく、政策に落とし実行していかなければならないという責任感と緊張感を持っている」「美瑛町を変えていくのは町民の皆さんであり、役場職員の皆さんの力である。変えていく道筋をつくっている」とのお話をいただきました。



### 事務局のコメント



新型コロナウイルス感染症の影響で、前回から2か月以上が経過してしまいましたが、皆さんの熱量は下がることなく話し合うことができました。いよいよビジョン作りも終盤を迎え、ワークショップも残すところあと2回ですが、最終回では完成したビジョンをもとに振り返ることが目的となるため、ビジョンの作成作業としては、次回が最終回となります。

## 第1回 有志チーム会議

日時 令和3年7月8日 午後6時から8時まで

会場 美瑛町役場 1階第1会議室

### 進行プロセス

#### ①有志チームの目的と作業内容

前回のワークショップで途中まで一文（ビジョン案）を作成しましたが、次回のワークショップで完成させるために、ワークショップメンバーの中から有志を募り、有志チームを結成しました。

次回のワークショップまで時間が限られていたので、これまでワークショップの中で出てきた言葉や町民インタビューで集めた意見、枝廣講師からのアドバイスを念頭に置きながら、全員が一文（ビジョン案）をまとめる作業に集中しました。

#### ②会議の結果

今回の会議では「一文（ビジョン案）の構成は大きな見出しを付けた後、その下に説明文を付けることとする」「一文（ビジョン案）の文末は『まち』に統一する」の2点について決定しました。

また、次回の会議までに一人一人がビジョンの最終案を考えてくることを宿題として会議は終了しました。

## 第2回 有志チーム会議

日時 令和3年7月15日 午後6時から7時30分まで

会場 美瑛町役場 1階第1会議室

### 進行プロセス

#### ①作業内容

前回の宿題の回答を皆さんで持ち寄り、ビジョンの最終案を作成しました。

#### ②会議の結果

以下のとおり、次回のワークショップに向けた有志チームのビジョン案を作成しました。

#### ビジョン案

- すべての人が居場所と役割を持って、いつまでも笑顔で暮らせるまち  
人と人がつながりあい、多様性を尊重し、すべての人々に居場所と活躍の場があり、ずっとここで輝けるまち
- 豊かな景観が、農業と観光の架け橋となるまち  
世界に誇る「丘のまちびえい」を守り、地域資源が農業と観光の新たな価値を生み、あらゆる産業の相乗効果を高めるまち
- 誰もが自らの可能性を伸ばせるまち  
自分たちの未来を信じ、新たなチャレンジを応援しあえるまち
- 子どもの個性を育み、多様な未来をつくるまち  
地域全体で子どもの成長を温かく見守り、個性に応じたサポートができるまち
- 誰もが健康でともに支えあい、安心して住み続けられるまち  
充実した保健・医療を受けることができる体制が確保され、みんなで声をかけあい健やかに暮らせるまち
- 豊かな自然と共生し、エネルギーは自分たちでつくるまち  
十勝岳連峰の裾野に広がる豊かな森林を守りながら、再生可能エネルギーを取り入れ、持続可能な循環型社会を目指すまち
- ライフラインが確保され、安定的な生活を続けられるまち  
地球温暖化による災害や十勝岳噴火に備えたインフラ環境を維持するとともに、防災・減災についてみんなで考え行動するまち

### 事務局のコメント



これまでのワークショップで、様々な町民の意見を聞いてきたメンバーの皆さんは、作業を進めていく中で、一文（ビジョン案）に対する思いを高め合ってきました。だからこそ、一文（ビジョン案）をまとめる最後の作業の場面では、言葉選びの難しさを痛感しながらも、みんなで話し合って作り上げていく「楽しみ」も感じながら作業を進めていました。

## 第6回 まちづくりワークショップ

日時 令和3年7月20日 午後6時から9時まで

会場 美瑛町役場4階委員会室

### 進行プロセス

#### ①ひと言チェックイン

ワークショップに向けた思いを一人ひと言ずつ発表しました。

#### ②有志チーム会議の報告

事務局から2回にわたって行った、有志チームによる一文（ビジョン案）の作成経過を報告しました。

#### ③グループワークⅠ

有志チームで作成した一文（ビジョン案）の確認作業を参加者全員で行いました。言葉の大きな修正はせずに、以下の要点に絞って検討しました。

- ・「ヌケモレ」 ～ 言葉の抜け漏れがないかチェックし、町民のどんな人が見ても「自分のことを反映してくれている」と感じられる文章にすることや、この場にはいない人の声を反映できているかを確認する。
- ・「らしさ」 ～ 他のまちにはない美瑛町らしさが文章に入っているか確認する。
- ・「わかりやすさ」～ 専門用語は極力使用せず、多くの町民がわかりやすいと感じる言葉づかいに心がける。
- ・「伝わりやすさ」～ 一文（ビジョン案）を町民に周知する方法を考える。

#### ④グループワークⅡ

全部で7つある一文（ビジョン案）について、グループに分かれて話し合い、分担して一文（ビジョン案）を完成させました。

#### ⑤ひと言チェックアウト

ワークショップの感想を一人ひと言ずつ発表しました。



### 事務局のコメント



一文（ビジョン案）を作る作業は、今回が最終回となりました。これまでみんなで話し合ってきたこと、町民インタビューで集めた意見のこと、枝廣講師からのアドバイスのことなど、今までの過程を振り返りながら、慎重に、かつ、町民に響く言葉を選んでいきました。ひと言チェックアウトでは、皆さんから大変思いのこもった感想が述べられました。

## ビジョン（案）策定までの経過

まちづくりワークショップは、令和2年度中のビジョン完成を目指し、2020（令和2）年4月から開始する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により11月からの開催となりました。

また、年度途中にも延期せざるを得ない状況が続いたことから、令和3年度に策定期間を延長してワークショップを実施しました。

年度	年月日	会議名	主な内容
令和2年度	2020年11月19日	第1回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【バックカスティングでビジョンを描く】</li> <li>・美瑛町の「好きなところ」「素敵だと思うところ」「誇りに思っているところ」を考える。</li> <li>・美瑛町の「気になるところ」「変えたほうがよいと思うところ」「不安・心配なところ」を考える。</li> <li>・今の美瑛町と比べて「増えてほしいもの」「減ってほしいもの」「変わらずにあってほしいもの」を考える。</li> </ul>
	2021年2月17日	第2回ワークショップ (美瑛-東京オンライン開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【バックカスティングでビジョンを描く】</li> <li>・第1回で出た意見をグルーピングして議論を掘り下げる。</li> <li>・町民へのインタビューを実施する。</li> </ul>
	2021年3月30日	第3回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【システム思考を用いて考える】</li> <li>・言葉の因果関係を矢印でつなぎループ図を作る。</li> <li>・まちを好循環にしたい4つの要素（自然環境、産業経済、福祉、子ども子育て）に分けてループ図を作り、それをもとに一文を作る。</li> </ul>
令和3年度	2021年4月22日	第4回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【システム思考を用いて考える】</li> <li>・SDGs、役場組織図、これまでの資料をもとに、重要な要素を見出す。</li> <li>・ストーリーを描きながら一文を作る。</li> </ul>
	2021年7月1日	第5回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ビジョンを作成する】</li> <li>・町の政策に落とし込めるような具体的なイメージを持ちながら文章を修正する。</li> <li>・エネルギー、食糧、地球温暖化など広い視点で一文を見直し修正する。</li> </ul>
	2021年7月8日	第1回有志チーム会議	ワークショップで作成した一文（ビジョン案）をもとに最終案を作成する。
	2021年7月15日	第2回有志チーム会議	ワークショップで作成した一文（ビジョン案）をもとに最終案を作成する。
	2021年7月20日	第6回ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ビジョンを作成する】</li> <li>・「抜け漏れ」や「美瑛町らしさ」など、要点を絞って一文（ビジョン案）を完成させる。</li> </ul>
	2021年9月下旬	第7回ワークショップ (予定)	これまでの取り組みを振り返る。

## 4 ワークショップに参加した皆さんの感想

まちづくりワークショップでは、「美瑛町の20年後のありたい姿」をテーマとして、参加者の皆さんから多くの意見を出してもらうことができました。新型コロナウイルス感染症の影響により、思い通りに作業を進めることが難しい状況の中でも、開催の延期やオンライン開催への変更など、臨機応変に対応しながら、また、参加者の皆さんにもご協力をいただきながら、ビジョン案を作成することができました。

参加者の皆さんや講師から、ビジョン案に対する思いや、ワークショップの参加にあたっての感想などを話してもらいましたので、その一部を紹介します。

### (1) 参加メンバーの感想



パブリックコメントで町民の皆さんからどんな意見が出てくるのか楽しみです。これまで私たちが必死に考え抜いたビジョンなので、できればこのまま進められたらいいと思います。



大都市の生まれで、今までだったら関われなかったらと思うまちづくりについて、美瑛に来て私なりに関わり、ワークショップを通じて勉強してもらいました。ビジョンに自分の思いもある程度のせられたのかなと思います。



有志チームで作った文案もメンバーの中では「完ぺきだったね」って言ってたんですけど、やっぱりたくさんの方の目を通してみんなで話し合うと、まだまだたくさんアイデアがでるんだなと感じました。とても楽しく毎回3時間を過ごさせていただきました。



このようなまちづくりに関わることは初めて経験させてもらったんですけど、人の思いを形にするのって、とても難しいことだなって実感しました。私は行政職員なので、これからの仕事にいかしていきたいと思います。



こういった場に関われたことは本当に自分の宝になるなと思ってます。こうして話し合うことで私の中での絆みたいなのができるのでありがたいなと思います。  
このまちの基幹産業は農業ですので、もっとこういう場に農業者の方がいたほうがいいんじゃないかなと思いますので、多くの農業者の方の意見を集めてほしいです。



これまで参加してきた他のワークショップは2、3回で終わってしまう中途半端なものでしたが、今回のワークショップはとても充実感がありました。このビジョンは「自分が作った」というイメージが強いので、逆に「守らなきゃいけない」というプレッシャーもあります。今後もこのような形で時間をとって話し合う場を作ってほしいです。



役場の方たちとこれだけ何度もお会いして話をするのが初めてだったので、とても充実していました。ここに集まっている方々の美瑛町に対する愛情ある話を聞くことが何よりもうれしく感じました。今後もこのメンバーはずっとつながってほしいなと思います。



ワークショップの会場に行けないときもオンラインで参加することができてよかったなと思います。参加するにあたって多様性が大事だなと思っていたので、多様な手段で参加できるってすばらしいことだなと感じています。こういった会議に参加できない方でもITを使うことによって参加できるかもしれないなと思いました。

## (2) 講師からの一言



枝廣 講師

次の20年に向けて、しっかりした美瑛町らしい、素敵なビジョン案ができました。コロナ禍でも、いえ、コロナ禍だからこそ「まちづくりをしっかり進めたい!」という、町民と役場職員の皆さんの思いがカタチになりました。

今回、SDGsの枠組みを活用して、美瑛町のありたい姿をみんなで描くことで、皆さんの視野が広がり、まちの将来に向けて役立つビジョンが生まれたのではないかと思います。

ビジョンの策定は第一歩です。ビジョンを作っただけでは何も変わりません。でもこのビジョンを土台に、その実現に向けてのステップを踏んでいくことができます。これからの時代、美瑛町が持続可能で幸せなまちに向かって進んでいくお手伝いができたことをとてもうれしく思っています。

ビジョンを固めて、実現に向けて取り組みを進めていきましょう!

## 5 おわりに

今回のワークショップは、ビジョン案を作成することを目標としていましたが、ビジョンを掲げるだけでは画餅に帰すこととなるため、それを実行する必要があります。美瑛町の「ありたい姿」を実現していくためには、今の美瑛町の状況を分析し、具体的な施策に落とし込んでいく作業が不可欠です。

今後は、新たな総合計画の策定に向けて、今回作成したビジョン案をもとに、町民の皆さんとの対話を深めていきながら「みんなが住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりを進めていきます。



## 美瑛町まちづくり評価基準について

### 1 評価の現状と課題について

#### (1) 令和元年度までの評価方法

「政策評価」「公共事業評価」「公共事業再評価」「事務事業評価」の4つの区分を評価対象としており、各課で所管している小事業を1、2件程ピックアップし、評価検討委員会において毎年20件程度の事業評価を実施している。

#### (2) 現状と課題

- ①「政策評価」「公共事業再評価」はほとんど行われていない。
- ②「公共事業評価」の対象となる小事業について、道路事業が多くの割合を占めているが、そのほとんどが長期継続事業であり、毎年度の評価内容に大きな変化が見られないことから2次評価を省略している。
- ③「事務事業評価」は、各課の事業担当者が小事業を1、2件程ピックアップしたものを評価しているが、ピックアップに特段のルールがなく、毎年同じ小事業をほとんど同じ内容で評価しているものが多いため評価内容に大きな変化が見られない。
- ④評価方法は「事業の必要性」「事業効果」「妥当性」「効率性」「町民ニーズ」の5項目について、それぞれ5段階評価を行い、合計点により評価している。この5段階評価は、数量化した費用便益分析等による評価ではなく目安が曖昧なため、事業担当者が主観的な評価をしているに過ぎないものとなっている。

### 2 評価基準の改善ポイントについて

#### (1) 評価の目的

まちづくり評価の目的は「行政活動の適正評価とその反映」と「町民への情報公開」の2つである。

#### (2) 評価対象事業の抽出

全ての小事業（令和2年度は491事業）を評価検証することが原則であるが、事業評価することの効果と事務量を考えた場合、現実的ではないため、評価する対象事業を絞る必要がある。

評価対象事業を抽出する際の方向性としては、事業評価それ自体の目的を達しているのかどうかを考慮する必要がある。

#### (3) 対象外事業の考え方

上記を踏まえ、まちづくり推進課で評価対象候補事業を抽出することとするが、対象外とする場合の主な考え方を下記のとおり整理する。

- ①「管理運営事業」「維持管理事業」であっても、小事業を構成する細事業に新規事業やPR事業等政策的経費が含まれる可能性もあるため基本的には対象とする。しかし、「会計管理事業」「道路台帳管理事業」など、細事業に政策的経費が含まれる可能



性がほとんどないと見込まれる事業は対象外とする。

- ②「国や道からの100%委任事務」「総合行政ネットワーク管理事業」「狂犬病予防事業」など、決められたルールに基づき実施しなければならない事業は対象外とする。
- ③各種団体に対する負担金・補助金などで構成される小事業で、少なからず支援先団体の事業内容の見直し等を検討できる事業であっても、項目別事業評価（必要性、有効性、効率性、町民参加）に影響を与える可能性が明らかに低いと判断できる場合（該当なしが多い場合など）は対象外とする。また、複数の組織で構成される団体への負担金・補助金などは、美瑛町単独での評価が困難なことから対象外とする。
- ④「丘のまちびえい活性化協会補助金」「美瑛町農業振興機構負担金」など、多岐にわたる施策や事業を支援先団体で展開している場合の小事業は、団体の全てを評価調書のみで評価することが極めて困難なことから評価の対象外とする。
- ⑤「職員給与」「各種保険料」などの義務的経費で構成される小事業や、「表彰審議会事業」「住基台帳管理事業」など定期的に実施される事業で、見直しや廃止等の検討を要しない事業は対象外とする。

#### （４）その他

（３）の考え方により、まちづくり推進課において評価対象候補事業を抽出するが、最終的に評価すべきか否かの判断については各担当課に任せるものとする。

1 事業内容

事業名		経費区分					
総合計画	分野別策	担当課名					
	基本目標	予算科目	款項目				
	基本施策						
町長重点政策							
事業費 (単位:円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
0							
事業概要							
事業目的							
実施結果・現状							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
(単位: )		目標値					
		実績値					
		達成率					
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
	町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input type="checkbox"/> 非該当	
	評価意見						
	課題策						

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価				
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見				

まちづくり委員会の意見	

## 美瑛町まちづくり評価基準

(趣旨)

第1 この基準は、住み良いまち美瑛をみんなで作る条例施行規則（平成15年美瑛町規則第17号）第14条の規定に基づき、まちづくりの評価（以下「評価」という。）の計画的かつ着実な推進を図るために定める。

(評価の実施に関する基本的な方針)

第2 評価を行うにあたっては、次の基本方針に沿って行うものとする。

(1) 評価の目的

① 合理的な政策選択と政策の質の向上

効果的な施策展開を行うため、定期的に政策評価を行い、政策情報を蓄積することにより、合理的な政策の選択と政策の質の向上を図る。

② 行政の効率化の推進

政策の必要性や優先度、効率化の視点から必要に応じて事業の見直しを行い、限られた財源の効率的な活用を図る。

③ 行政の透明性の確保と説明責任の遂行

町の施策、事業の評価を町民に公表し、行政の透明性の確保と説明責任の遂行を図る。

(2) 評価の実施体制

評価は、1次評価として担当課の評価を行い、さらに全庁的視点で評価検討委員会による評価を行う2段階評価とする。

(3) 評価の実施

評価は、まちづくり総合計画における施策の目的を達成するための活動である事業を自己点検しながら、担当課自らが問題点や課題等を把握するとともに、PDCAサイクルの確立により行政活動の継続的な点検・見直しを行う。

(評価検討委員会)

第3 第2の規定に基づき評価を行うため、美瑛町評価検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会の委員は、美瑛町庁議等規則（昭和63年美瑛町規則第5号）第6条に定める企画委員会の委員等により構成する。

3 委員会に委員長及び副委員長を置く。

4 委員会に専門部会を設置することができる。

(評価の対象事業)

第4 評価の対象事業は、予算小事業を一つの単位とし、原則として全事業を対象とする。ただし、次の場合を除く。

(1) 義務的経費で構成される小事業の場合

主に人件費や扶助費、公債費で構成される小事業の場合

(2) 評価指標の設定が困難な小事業の場合

一般的な庶務事業や、主に各種負担金・分担金、繰出金等で構成される小事業で、

評価指標の設定が困難な場合

- (3) その他の場合  
前号以外で、評価することが適当でない場合

(評価の方法)

第5 評価方法は次により行うものとする。

- (1) 担当課による1次評価  
担当課は、課内で十分協議したうえで、該当事業ごとに評価調書を作成し、評価を行うとともに、当該評価調書をまちづくり推進課長に提出するものとする。
- (2) 全庁的な2次評価  
まちづくり推進課長は、各担当課からの評価調書を一覧表にまとめ、委員会に提出し、委員会は、全庁的視点から評価を行うものとする。
- (3) 町の機関の長への報告  
委員長は、委員会が評価を終えた事業等についてその結果を町の機関の長に報告するものとする。
- (4) まちづくり委員会への報告  
まちづくり推進課長は、評価結果を町の機関の長への報告後、遅滞なくまちづくり委員会に報告するものとする。
- (5) 町の機関の長は、評価結果を町民に公表するものとする。

(評価の時期)

第6 評価の時期は、前年度事業の評価を1次評価にあつては翌年度7月まで、2次評価にあつては翌年度の8月までに行うものとする。

(評価の視点)

第7 評価の視点は、必要性、有効性、効率性、町民参加を勘案して定めるものとし、各評価の視点は、次によるものとする。

- (1) 必要性
- ① 事業に対する町民のニーズがあるか
  - ② 今後も町が実施する事業としての妥当性があるか
  - ③ 事業休止・終了による町民への影響があるか
- (2) 有効性
- ① まちづくり総合計画に関連した事業であるか
  - ② 他施策に対する波及効果及び関連性があるか
- (3) 効率性
- ① 類似事業と統合できる可能性があるか
  - ② 外部委託等ができる可能性があるか
- (4) 町民参加
- ① 事業に対する町民の参画があるか

(評価結果の政策への反映)

第8 町の機関の長は、評価結果を政策の立案をはじめ、まちづくり総合計画の推進管理、予算編成、事業の見直しなど町政に反映させるよう努めなければならない。

(評価結果の公表)

第9 町の機関の長は、評価結果を公表するときは、政策、事業の必要性や効果、改善方策などを町民にわかりやすく示すとともに、評価結果に対する町民意見の反映に努めなければならない。

2 評価結果の公表は、評価結果の報告を受けた後、速やかに行わなければならない。

3 評価結果の公表方法は、町広報での公表、役場町民コーナーへの公表結果の掲示、ホームページへの掲載等によるものとする。

(庶務)

第10 評価及び委員会に関する庶務は、まちづくり推進課において処理する。

(委任)

第11 この基準に定めるもののほか評価に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この基準は、平成15年4月1日から施行する。

この基準は、平成25年4月1日から施行する。

この基準は、令和2年4月1日から施行する。

令和3年(令和2年度事業)美瑛町まちづくり評価一覧表

番号	事業名	所管	評価項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価結果(案)
1	丘のまちびえいすくすくサポート事業	総務課	-	-	-	-	-	改善継続
2	結婚記念品事業	総務課	-	-	-	-	-	改善継続
3	自主防災組織推進事業	総務課	自主防災組織数(累積数) 防災士資格取得者数(累積値)	組織 人	4 3	3 1	75.0% 33.3%	現状継続
4	情報戦略推進事業	総務課	美瑛町ホームページ アクセス数	件	850,000	786,644	92.5%	改善継続
5	地域振興奨励補助等事業	まちづくり推進課	地域の福祉増進や地域振興に資する 事業の創出(補助申請数)	件	3	3	100.0%	改善継続
6	日本で最も美しい村推進事業	まちづくり推進課	美瑛町美しい村づくり推進協議会主 催事業の参加者延数	人	510	457	89.6%	現状継続
7	美瑛町まちづくり総合計画策定事業	まちづくり推進課	ワークショップの開催数	回	7	3	42.9%	現状継続
8	景観づくり推進事業	まちづくり推進課	景観重要建造物及び景 観重要樹木の保全件数	件	6	6	100.0%	現状継続
9	ふるさとdeオフィス事業	まちづくり推進課	研修交流センター利用団体数の増 加による企業・団体との交わりの創 出	団体	5	1	20.0%	統合
10	美瑛高等学校教育環境振興補助事業	まちづくり推進課	高校存続に向けた入学者 数	人	55	34	61.8%	現状継続
11	美瑛町定住住宅取得助成事業	まちづくり推進課	住宅取得件数	件	30	29	96.7%	現状継続
12	テレワーク導入推進事業	まちづくり推進課	申請件数	件	5	7	140.0%	現状継続
13	移住定住促進協議会準備会補助事業	まちづくり推進課	-	-	-	-	-	現状継続
14	町営墓地環境整備事業	住民生活課	-	-	-	-	-	現状継続
15	生ゴミ肥料化容器設置補助事業	住民生活課	コンポスト容器設置数	基	10	10	100.0%	現状継続
16	ゴミステーション施設整備補助事業	住民生活課	整備を行った団体数 (申請数)	団体	4	4	100.0%	現状継続
17	企業振興促進補助事業	商工観光交流課	助成実績	千円	1,500	681	45.4%	現状継続
18	交流促進施設管理運営事業	商工観光交流課	3部門の合計利用者数	人	370,000	228,042	-	改善継続
19	交流推進事業	商工観光交流課	桜まつり、雪遊び広場 の参加人数合計	人	2,800	400	14.3%	現状継続
20	ふるさと会支援事業	商工観光交流課	交流人口 (会員数、総会参加人数)	人	600	497	82.8%	現状継続
21	活性化交流施設管理運営事業	商工観光交流課	利用者数	人	14,600	74,248	50.9%	現状継続
22	一時預かり利用者負担軽減助成事業	保健福祉課	利用者数	件	20	0	0.0%	現状継続
23	養育支援訪問事業	保健福祉課	面接・訪問件数	%	40	12	30.0%	現状継続
24	子ども子育て支援事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
25	こども緊急さばねっと事業(まちづくり提案)	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
26	高校生就学支援事業(まちづくり提案)	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
27	幼児教育・保育副食費補助事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
28	保育センター施設改修事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
29	発達支援事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続

令和3年(令和2年度事業)美瑛町まちづくり評価一覧表

番号	事業名	所管	評価項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価結果(案)
30	子育て支援事業	保健福祉課	未就園児親子利用率	%	80	87	108.8%	現状継続
31	福祉ハイヤー借上事業	保健福祉課	ハイヤー券使用率	%	88.0	70.6	80.2%	現状継続
32	準要保護世帯等法外援護事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
33	冬の生活支援事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
34	白金線老人交通費助成事業	保健福祉課	年間利用者数	人	14,000	7,962	56.9%	現状継続
35	患者輸送車運行事業	保健福祉課	年間利用件数	人	1,300	505	38.8%	現状継続
36	妊婦健診事業	保健福祉課	妊婦健診受診率	%	100%	100%	100.0%	現状継続
37	先天性股関節脱臼検診事業	保健福祉課	対象者受診率	%	100%	100%	100.0%	現状継続
38	ボランティアポイント事業(まちづくり提案)	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
39	緊急通報システム運営事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
40	訪問看護ステーション利用料軽減助成事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
41	認知症予防支援事業	保健福祉課	認知症サポーター養成者数	人	80	22	27.5%	現状継続
42	特定疾患患者交通費助成事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
43	人工透析患者交通費助成事業	保健福祉課	-	-	-	-	-	現状継続
44	美学学推進事業	文化スポーツ課	企画実施時のアンケートにおける満足度(5段階評価)	点	3.5	4.4	125.7%	現状継続
45	スポーツ団体の活動支援事業	文化スポーツ課	スポーツ協会加入団体数	団体	12	11	91.7%	現状継続
46	町民スキーリフト助成事業	文化スポーツ課	道内スキー場リフト券購入者 申請人数	人	700	721	103.3%	現状継続
47	宮様国際スキーマラソン事業	文化スポーツ課	エントリー数	人	900	171	19.0%	改善継続
48	美瑛センチュリーライド事業	文化スポーツ課	エントリー数	人	1,200	791	65.9%	現状継続
49	農業労務確保対策事業補助金	農林課	労働力募集人員	人	30	32	106.7%	現状継続
50	高収益作物振興対策補助事業	農林課	トマトの作付面積	ha	46	44	95.7%	現状継続
51	農福連携事業	農林課	-	-	-	-	-	現状継続
52	美瑛小麦推進事業	農林課	美瑛産小麦における美瑛産小麦100%小麦粉の販売量	kg	30,000	29,924	99.7%	改善継続
53	森林環境保全整備事業	農林課	森林整備面積の確保	ha	183.85	178.71	97.2%	現状継続
54	空き家等解体支援事業	建設水道課	年間除去数	件	5	1	20.0%	現状継続
55	街路樹等景観整備事業	建設水道課	街路樹の剪定等	本	剪定120 抜根10 植栽35	剪定81 抜根12 植栽14	剪定68.0% 抜根120.0% 植栽40.0%	現状継続
56	赤羽下宇莫別線道路改良舗装事業	建設水道課	全体事業費に対する進捗率	%	44.6	44.4	99.6%	現状継続
57	新星第1線道路改良舗装事業	建設水道課	全体事業費に対する進捗率	%	25.8	11.6	45.0%	現状継続
58	藤野協成線道路改良舗装事業	建設水道課	全体事業費に対する進捗率	%	46.2	44.8	97.0%	現状継続

令和3年(令和2年度事業)美瑛町まちづくり評価一覧表

番号	事業名	所管	評価項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価結果(案)
59	交通安全施設整備事業	建設水道課	-	-	-	-	-	現状継続
60	街路灯LED化事業	建設水道課	全体事業費に対する進捗率	%	20.9	19.9	95.2%	現状継続
61	公園施設長寿命化点検事業	建設水道課	公園の遊具施設の点検率	%	100.0	100.0	100.0%	現状継続
62	アグリパートナー協議会負担金	農業委員会	成婚件数	件	7	8	114.3%	現状継続
63	農業後継者結婚相談事業	農業委員会	相談件数	件	120	132	110.0%	現状継続
64	教育助手管理事業	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
65	英語指導助手(ALT)管理事業	教育委員会管理課	英語の勉強が好きな割合	%	50.0	53.2	106.4%	現状継続
66	教職員研修事業	教育委員会管理課	夏冬等教職員研修会参加人数	人	210	0	0.0%	現状継続
67	教育専門員管理事業	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
68	情報教育推進事業(小学校)	教育委員会管理課	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う割合	%	100.0	89.8	89.8%	現状継続
69	小学校国際交流の語学指導事業	教育委員会管理課	英語の勉強が好きな割合	%	80.0	57.6	72.0%	統合
70	学校図書室システム化事業(小学校)	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
71	小学校通級指導推進事業	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
72	小学校総合的な学習の時間交付金	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
73	食育推進事業	教育委員会管理課	朝食を毎日食べている割合	%	100.0	96.6	96.6%	現状継続
74	小学校スキー授業推進事業	教育委員会管理課	スキー授業の回数	回	30	31	103.3%	現状継続
75	小学生学習ルーム事業	教育委員会管理課	参加申込児童数(延べ)	人	110	0	0.0%	現状継続
76	中学校通級指導推進事業	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
77	情報教育推進事業(中学校)	教育委員会管理課	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う割合	%	100.0	79.2	79.2%	現状継続
78	学校図書室システム化事業(中学校)	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
79	部活動促進事業	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
80	キャリア教育推進事業	教育委員会管理課	将来の夢や目標を持っている割合	%	100	71	71.0%	現状継続
81	中学校総合的な学習の時間交付金	教育委員会管理課	-	-	-	-	-	現状継続
82	中学校スキー授業推進事業	教育委員会管理課	スキー授業の回数	回	5	6	120.0%	現状継続
83	図書購入事業	教育委員会管理課	町民一人当貸出冊数	冊	8.60	8.43	98.0%	現状継続
84	読書活動応援事業	教育委員会管理課	贈呈数	冊	60	100	166.7%	現状継続



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	丘のまちびえいすくすくサポート事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	総務課・管理課		
	基本目標	1. 地域福祉 (2) 児童福祉			予算科目	款	2. 総務費	
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				項	1. 総務管理費	
		3 子育て世帯への経済的負担の軽減				目	1 3. 諸費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
7,098,130			7,000,000			98,130		
事業概要	出生時・小学校入学時・中学校入学時に全町民の祝福の意を含めた祝品を贈呈する。 出生時：写真フレーム、美瑛産米、写真撮影券 小学校入学時：学用品一式 中学校入学時：指定制服及びジャージー式							
事業目的	全町民の祝福の意を含めた祝品を贈呈することで、本町の将来を担う子どもたちの健やかな成長を応援し、家族の絆や愛情を醸成する。							
実施結果・現状	祝い品の贈呈により本町の将来を担う子どもたちの健やかな成長を応援した。(R2実績数：出生児38件、小学校入学時52件、中学校入学時68件)							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
-		目標値	-	-	-	-	-	
(単位: )		実績値	-	-	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		子育て世代からのニーズは高まっているものの、全体としては一定している。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		安心して子どもを産み育てられる環境づくりに必要な事業である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	子育てサポート事業の減少、子育て世帯の経済的負担が増加する。						
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		基本目標・基本施策が記載されている。						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		子育て支援のほか、地元業者の業務量確保にも寄与している。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	町民参加	福祉施策と一体的な子育て支援事業として、制度の拡充・統合は可能。						
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	評価意見	事業内容の見直し方によっては、子育て応援団等への外部委託も可能。						
町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
課題改善	事業内容から町民参画の上で実施するものではない。							
	指標の設定をしていないが、申請のあった対象者へ祝品を贈呈した。							
課題改善	町外の小学校及び中学校に入学を希望する子どもに対しても祝い品の贈呈を行っており、今後も家庭のニーズにあわせた制度に改善する必要がある。 また、R3年度より開始した高校生就学支援事業と統合するなど、子育て支援事業としての再構築や拡充などを検討する必要がある。							

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	町民のニーズに合った事業内容への見直しをすること。また事業内容上、子育て支援の要素が多いため、子育て支援関連事業との統合を検討すること。			

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	結婚記念品事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	5 みんなで歩むまちづくり			担当課名	総務課		
	基本目標	1. 町民参加・協働 (1) 町民参加・協働			予算科目	款	2. 総務費	
	基本施策	1 町民参加の促進及び協働のまちづくり				項	1. 総務管理費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
172,000						172,000		
事業概要	本町への定住促進を図ることを目的とし、町民の方が結婚した際に、所定の要件を満たした場合に結婚祝い品を贈る事業(※平成11年度にお祝い金制度として始まったが、平成19年度から記念品制度に改正している)。							
事業目的	祝福の意を含めた記念品(町内作家による工芸品等)を贈呈することで、郷土愛を醸成し、定住促進やまちづくりへの町民参加を推進する。							
実施結果・現状	対象者に対して、町内事業者が作成する記念品等を贈呈した。(R2実績数:17件)							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
		目標値	-	-	-	-	-
		実績値	-	-	/	/	/
(単位: )		達成率	-	-	/	/	/
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		婚姻された方から一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		必ずしも町が行わなければならない事業ではない。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	実績数等からも影響は少ない。						
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		基本施策、計画文中等に記載はない。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	郷土愛の醸成のほか、地元業者の業務量確保にも寄与している。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		定住促進や少子化対策に関する施策との統合は可能。					
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	事業内容から外部委託により実施するものではない。						
評価意見	指標の設定をしていないが、申請のあった対象者へ記念品等を贈呈した。						
課題	記念品の内容や定住対象者の要件の整理など、事業制度の見直しが必要となっていることから、定住促進等に関するその他施策との統合や制度の拡充について検討する必要がある。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	課題の改善に向けて事業制度の見直しが必要となっていることから、事業の統合や縮小も視野に入れ検討をすること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		自主防災組織推進事業		経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり		担当課名		総務課	
	基本目標	4. 防災・消防・救急(1) 地域防災		予算科目	款	2. 総務費	
	基本施策	1 災害に強いまちづくりの確立			項	1. 総務管理費	
		1 避難訓練の実施			目	11. 災害対策費	
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり					
事業費(単位:円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
19,850							19,850
事業概要		十勝岳の噴火や、台風等による洪水など、いつ発生するかわからない自然災害に備え、行政区や町内会毎に自主的に避難活動を行えるよう自主防災組織の設置に向けた取り組みを推進する。					
事業目的		地域の自主的な共助活動が推進されることにより、災害時の早期で安全な避難につながる。					
実施結果・現状		コロナ禍により自主防災組織設置に係る説明会等の中止を余儀なくされたが、自主防災組織ごとに研修会を開催し、組織内の防災意識向上に向けた活動を実施した。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
上段: 自主防災組織数(累積数) 下段: 防災士資格取得者数(累積数)	目標値			4 3	5 3	6 4	7 5
	実績値	3 1	3 1				
	達成率		75.0% 33.3%				
単位: 上段 単位: 下段	組織人						
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ		■増加 □一定 □減少 □非該当			
		各行政区・町内会から自主防災組織の設置に係る相談や研修会への依頼がある					
		町事業としての妥当性		■高 □中 □低 □非該当			
		設立や活動の推進に対しては、町からの働きかけが必要であるため					
		事業休止・廃止による町民への影響		■高 □中 □低 □非該当			
	有効性	設置数の停滞や活動への補助がないことで活動の幅が狭まる可能性がある					
		総合計画との関連性		■高 □中 □低 □非該当			
		災害に強いまちづくりとしての体制整備が必要である。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性		■高 □中 □低 □非該当			
		災害に対する備えとして、行政だけで対処できない部分を補完するものとして重要な事業である					
		他事業との統合の可能性		□可能 ■要検討 □不可能 □非該当			
	町民参加	地域活動の一環として位置付けることで他事業との統合は検討できる					
		外部委託等の可能性		□可能 □要検討 □不可能 ■非該当			
		町と自主防災組織との関係を切り離れた事業にはならないため					
評価意見	町民の参画		■実施 □要検討 □未実施 □非該当				
	町主催の防災事業への参加						
課改善	設置に関する問い合わせは複数あり、設置に向けて進んでいたが、各町内会で役員会や総会がコロナ禍により開催できないことから、町内会員の同意を確認する機会がなく設置が進まなかった。						
	自主防災組織の設置のみでは、地域活動(行政区、町内会)の負担が足かせとなり設置が進んでいない現状がある。自主防災組織を設置しなくとも、地域活動の一環として包括的に防災事業に取り組んだ場合にも補助をするなど、地域コミュニティーを強化する手法を検討していく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	情報戦略推進事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	5 みんなで歩むまちづくり			担当課名	総務課		
	基本目標	2. 情報化			予算科目	款	2. 総務費	
	基本施策	1 町民の利便性に配慮した情報通信環境の整備				項	1. 総務管理費	
		4 情報発信の多様化への対応				目	6. 情報管理費	
町長重点政策	「みんなで作る」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
1,041,700						1,041,700		
事業概要	美瑛町の情報発信媒体であるホームページに係る保守・管理、画像や動画の編集に使用するソフトの運用、SNSの運用を行う。							
事業目的	町民や事業者などに対して、必要な情報を必要な時にわかりやすく提供すること。							
実施結果・現状	定期的に解析等を実施し、ニーズに応じたコンテンツの配信を行うことで、ユーザーがホームページやSNSから必要な情報を容易に取得できるように、情報発信方法の改善を繰り返し実施することが必要である。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
美瑛町ホームページアクセス数 (単位：件)	目標値			850,000	900,000	950,000	1,000,000
	実績値		773,116	786,644			
	達成率			92.5%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町の情報を掲載するため、一定の町民ニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町の情報を掲載する場として必要である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	情報発信・閲覧する場が減少する。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で情報発信の多様化への対応が謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		事業の情報を掲載する場合など影響が大きい。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	ホームページの委託料だけであれば情報管理費への統合は可能である。					
外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
行政情報のため全てを委託することは難しいが一部委託は可能である。HPの保守については現在、委託中である。							
評価意見	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
	SNSのコメント返信については現在実施していない。ホームページからの問い合わせ対応は各課で実施している。						
課題	アクセス数については微増しているが、目標値には届いていない。自治体としてホームページやSNSを運用し情報発信することは重要であり、今後も情報発信媒体として運用していく必要がある。						
	アクセス数増加のために、SNSの有償改修や広告宣伝などによるプッシュ型情報発信を推進する必要がある。また、今後のオンライン申請に対応するため、ホームページへの申請様式等の掲載を検討する必要がある。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	現状の事業内容を鑑みると、HPの管理が主たる事業内容のため情報管理事業への統合を検討すること。今後SNS等を活用した情報発信を進めていく際に、当事業での事業展開を検討すること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調査

1 事業内容

事業名	地域振興奨励補助等事業		経費区分	その他の経費	
総合計画	分野別策	5 みんなで歩むまちづくり	担当課名	まちづくり推進課	
	基本目標	1. 町民参加・協働(1) 町民参加・協働	予算科目	款	2. 総務費
	基本施策	1 町民参加の促進及び協働のまちづくり		項	1. 総務管理費
		1 町民参加と協働による活動の推進		目	7. 地域振興費
町長重点政策	「みんなで作る」まちづくり				
事業費(単位:円)	財源内訳				
1,341,000	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他 一般財源
				1,277,000	64,000
事業概要	地域振興奨励補助金交付規則に基づく補助制度の運用であり、地域の福祉増進と地域振興に寄与する活動に対して補助を行う。 ①地域振興奨励事業補助金～地域の交流、産業の開発、文化活動などを通じて、地域振興に寄与する個人・団体が行う事業に対する補助。補助率2/3以内。単年。 ②地域活性化事業補助金～地域活性化のための方策、環境改善、生涯学習などを通じて、計画的に実施する複数又は単位の行政区・町内会が行う事業に対する補助。補助率4/5以内。3年以内。				
事業目的	地域が主体となり計画的に事業が実施され、地域の福祉増進と地域振興に寄与することで、地域の活性化を図る。				
実施結果・現状	申請者3件が当事業を活用し記念誌などを発行したことで、地域の文化的な振興が図れた。一方で「産業の開発」の分野においては、数件、事前相談があったが、事業の趣旨にそぐわない内容であることから申請まで至っていない状況である。				

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
地域の福祉増進や地域振興に資する事業の創出(補助申請数) (単位:件)	目標値		3	3	3	3	3
	実績値		3	3			
	達成率		100.0%	100.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		目標の申請数に達していることや事業への事前相談もあることから、町民のニーズはあると考える。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		地域振興に寄与する活動に対しての補助事業であることから、町事業が妥当である。					
	有効性	事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		実績値からみても町民ニーズがあることがうかがえるため、少なからず町民への影響はあると考える。					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	総合計画に本事業は直接明記されておらず、関連性は低い。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		個人・団体での個別の取り組みに対する支援であり、他施策との関連性が低い。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
町民参加	他課で実施する支援事業との統合の可能性はある。						
	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
課題	事業内容上、外部委託は該当しない。						
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	評価意見	いずれの申請事業も地域の福祉増進や地域振興に資する事業であるが、制度上認められない相談内容の事例もあったことから、制度の内容を明確にわかりやすく公表する必要がある。					
課改善	行政区長会議等における説明資料を更新する他、ホームページ上でより詳細な内容を掲載することにより、町民にとって使いやすい制度として周知が図られるよう積極的なPRIに努める。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	補助対象が広範に及ぶ事業内容である一方で、実績は固定化した事業が継続していることから、他の補助制度との統合等も含め事業内容の見直しを検討すること。

まちづくり委員会の意見	

## 令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

### 1 事業内容

<b>事業名</b>	日本で最も美しい村推進事業			<b>経費区分</b>	政策的経費			
<b>総合計画</b>	<b>分野別</b>	5 みんなで歩むまちづくり			<b>担当課名</b>	まちづくり推進課		
	<b>施策</b>	1. 町民参加・協働 (2) 日本で最も美しい村づくり			<b>予算科目</b>	<b>款</b>	2. 総務費	
	<b>基本目標</b>	1 町民との協働による美しい村づくり活動の推進				<b>項</b>	1. 総務管理費	
	<b>基本施策</b>	1 町民参加による美しい村づくり				<b>目</b>	7. 地域振興費	
<b>町長重点政策</b>	「みんなで作る」まちづくり							
<b>事業費</b> (単位：円)	<b>財源内訳</b>							
	<b>国庫支出金</b>	<b>道支出金</b>	<b>地方債</b>	<b>基金</b>	<b>その他</b>	<b>一般財源</b>		
1,489,713				1,459,000		30,713		
<b>事業概要</b>	「日本で最も美しい村」連合の活動理念に基づき、本町の地域資源である景観、環境及び文化の保全並びにその活用を図るため、町民とともに日本で最も美しい村活動を推進し、町内外への普及活動を展開する。							
<b>事業目的</b>	日本で最も美しい村としての美瑛町の魅力を全国へ発信するとともに、交流人口の増加により地域の活性化、住民の地域に対する誇りや愛着を醸成することで、自立したまちづくりの推進に寄与する。							
<b>実施結果・現状</b>	新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止を余儀なくされたが、人数制限などの感染症対策を行うことで、地域資源の保全活動が実施できた。							

### 2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
美瑛町美しい村づくり推進協議会 主催事業の参加者延数 (単位：人)	目標値		180	510	510	510	510	
	実績値		504	457	/	/	/	
	達成率		280.0%	89.6%	/	/	/	
<b>1次評価 担当課</b>	<b>必要性</b>	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		「日本で最も美しい村」連合を通じたまちづくりに対しての関心はあることから、町民ニーズはあると考える。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		町が加盟している連合の事業のため、町事業が妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	「日本で最も美しい村」としてのブランドが確立されていることから、町民への影響はあると考える。							
	<b>有効性</b>	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画の中で、日本で最も美しい村づくりについて謳われているため、関連性が高い。						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	地域資源の保全などに関する活動を行っていることから、他施策に与える影響は高いと考える。							
	<b>効率性</b>	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
		NPO法人「日本で最も美しい村」連合に紐づく団体活動のため、他事業との統合は該当しない。						
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	「美しい村」の理念を醸成する活動であることから、外部委託は不可能である。							
<b>町民参加</b>	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当						
	美しい村推進協議会主催の活動に、多くの町民が参加し地域資源の保全に努めている。							
<b>評価意見</b>	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には至っていない。							
<b>課題改善策</b>	現在の事業を継続するとともに、構成団体や町民主体による活動が推進されるような働きかけが必要である。							

#### 2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

<b>評価結果</b>	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
<b>評価意見</b>	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

#### まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	美瑛町まちづくり総合計画策定事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	5 みんなで歩むまちづくり			担当課名	まちづくり推進課		
	基本目標	1. 町民参加・協働（1）町民参加・協働			予算科目	款	2. 総務費	
	基本施策	1 町民参加の促進及び協働のまちづくり				項	1. 総務管理費	
		1 町民参加と協働の促進				目	7. 地域振興費	
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
232,200				232,200				
事業概要	「第5次美瑛町まちづくり総合計画」は平成28年から10年間を計画期間としているが、令和元年5月に町長が改選され、新体制による町政がスタートしており、新町長が掲げる4つのまちづくりの方向性と具体策による「新しい美瑛」をつくりあげていくため、新たな総合計画の策定を行う。策定に当たっては、町民意見を反映させるために、町民アンケート調査やワークショップを実施する。							
事業目的	新町長の執行方針に基づいた、町政を執行するために新たな総合計画の策定を行う。							
実施結果・現状	総合計画策定に向けた取り組みとして、新たなまちづくりの方向性と基本施策を示すため、「美瑛町共有ビジョン」の策定に向けたワークショップを開催した。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
ワークショップの開催数 (単位：回)	目標値		—	7	6	—	—
	実績値		—	3			
	達成率		—	42.9%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		まちづくりへの町民参加に対して関心は高まっていることから、町民ニーズはあると考える。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		まちづくりに関する計画策定のため、町事業が妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	まちづくりの方向性を示す計画がなくなるため、町民への影響は大きいと考える。						
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画策定に向けた事業のため、関連性は高いと考える。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	総合計画を基本に各施策が展開されるため、関連性は高い。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
まちづくりの最上位計画の策定のため、統合は不可能である。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	まちづくりを専門とする企業に、すでに外部委託を実施している。						
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
	町民の意見を取り入れた総合計画策定を目指し取り組みを進めている。						
課題改善策	まちづくりを専門とする企業に外部委託を行い、町民と町職員の混成チームにより「美瑛町共有ビジョン」の策定に向けたワークショップを行った。						
課題改善策	R3年度も引き続き、「美瑛町共有ビジョン」策定に向けて、町民アンケートや具体的な施策の検討を行っていく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		景観づくり推進事業			経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	5 みんなで歩むまちづくり			担当課名		まちづくり推進課	
	基本目標	1. 町民参加・協働（4）景観づくり			予算科目	款	2. 総務費	
	基本施策	3 美瑛町景観計画に基づく景観づくりに対する理解の促進				項	1. 総務管理費	
		3 景観資源の保存				目	7. 地域振興費	
町長重点政策		「世界に誇れる」まちづくり						
事業費（単位：円）		財源内訳						
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
321,900					217,000		104,900	
事業概要		美瑛町景観計画に基づく美しい景観の保全と形成を推進するため、「美瑛の美しい景観を守り育てる条例」第23条の規定により、景観重要建造物及び景観重要樹木の保存等と景観づくりに寄与する行為に対して助成を行うとともに、景観育成に向けた町内の景観づくり活動を実施する。						
事業目的		景観条例が理念として掲げている、町民等、行政、事業者の相互協力による景観の保全・形成が効果的に図られる。また、日本で最も美しい村推進事業と重なる部分もあるが、景観づくりに関する町民の主体的な活動の支援を継続していくことで、今後も本理念が後世に継承されることにつながる。						
実施結果・現状		景観重要建造物及び景観重要樹木の保存活動を支援することで、景観の保全につながったとともに、町民の景観づくりに対する理解の促進が図れた。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
景観重要建造物及び景観重要樹木の保全件数 (単位：件)	目標値		6	6	6	6	6
	実績値		6	6			
	達成率		100.0%	100.0%			
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		景観づくりは様々な分野に影響があるため、町民のニーズはあると考える。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		条例に基づいた景観づくり事業であるため、町事業が妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	当事業の活動によって重要な地域資源を保全していることから、町民への影響は高いと考える。						
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で位置付けられている施策のため、関連性が高い。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	景観づくりは農業や観光など様々な施策に影響を与えるため、関連性が高い。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		美しい村づくりと活動目的が重複するため、一部統合の可能性はある。					
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	事業内容上、外部委託は該当しない。						
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
	景観重要建造物及び同樹木の指定は、町民で構成された景観審議会で審議を行っている。						
課題改善策	景観重要樹木である「セブンスターの木」の整枝剪定作業を実施した。所有者と相談の上、適切な補修が図られている。						
課題改善策	今後も助成金交付要綱に基づき、必要に応じた景観重要建造物及び同樹木の保全を図っていく他、景観づくりに係る町民主体の活動を支援していく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調査

1 事業内容

事業名	ふるさとdeオフィス事業			経費区分		政策的経費	
	総合計画	分野別	5 みんなで歩むまちづくり	担当課名		まちづくり推進課	
		施策	1. 町民参加・協働(5)企業・大学との協働連携	予算科目	款	2. 総務費	
		基本目標	1 地域産業活性化や人材育成に資する企業との連携		項	1. 総務管理費	
基本施策	2 まちを担う人材の育成			目	7. 地域振興費		
町長重点政策 「未来につなぐ」まちづくり							
事業費 (単位:円)							
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
450,000							450,000
事業概要		これまで関係を築いた企業や組織、団体との友好関係をいかして、それらの関係団体等が地域人材育成研修交流センターを拠点とし、研修活動や仕事などを展開することで施設の利用を促進するとともに、「びえい」の良さをさらに理解してもらい、関係人口の創出と企業と連携したまちづくりを推進する。また、利用団体等においては、滞在期間中の気づきなどによるまちへの課題解決提案や行政サービスへの協力、美瑛町のPR等への寄与を促す。					
事業目的		地域人材育成研修交流センターを企業や団体の研修場所として利用してもらうことで、関係人口の創出を図るとともに、地域住民との交流を通じてまちの課題解決に寄与する。					
実施結果・現状		新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用実績は1団体と目標達成には至っていないことから、ワーケーションなどの多様な働き方に対応した受入体制を検討するとともに、利用者の増加に向けて事業目的の見直しを図る必要がある。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
研修交流センター利用団体数の増加による企業・団体との交わりの創出 (単位:団体)	目標値		—	5	5	5	5	
	実績値		—	1				
	達成率		—	20.0%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		施設の有効活用に対して町民の関心があることから、町民ニーズはあると考える。						
		町事業としての妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		町との関係を築いてきた企業などを対象にしていることから、町事業が妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	施設利用者と地域住民との交流する機会の減少につながる。							
	有効性	総合計画との関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		総合計画の中で位置付けられている施策のため、関連性が高い。						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	まちの課題解決や関係人口の創出など他施策に対する関連性が高い。							
効率性	他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当		
	テレワークやワーケーション等、関係人口を創出する事業と関連づけた事業の検討の余地がある。							
	外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当		
町との関係を築いた団体を対象としているため、外部委託は事業の趣旨にそぐわない。								
町民参加	町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施	<input checked="" type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input type="checkbox"/> 非該当		
	地域住民との交流の機会を検討する必要がある。							
評価意見	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当初利用予定だった団体の活動が一部中止を余儀なくされた。今後の取り組みとして、昨今関心が高まっているワーケーション等での利用増加を模索し、関係・交流人口の創出を目指す。							
課題改善策	現状の利用実績を踏まえて、利用増加に向けて事業の在り方を見直す必要がある。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input checked="" type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	利用者の増加に向けてテレワークやワーケーションの受入体制を検討し、より利用者と町との関係性を築けるような事業内容への見直しを行うこと。また、関係人口創出に係る事業のため、関係人口創出事業への事業統合を検討すること。			

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調査

1 事業内容

事業名	美瑛高等学校教育環境振興補助事業		経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり	担当課名	まちづくり推進課		
	基本目標	1. 学校教育(3)教育環境整備	予算科目	款	2. 総務費	
	基本施策	1 子どもたちが安心して学ぶことができる環境の整備		項	1. 総務管理費	
		6 美瑛高等学校への教育支援	目	1.3. 諸費		
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり					
事業費(単位:円)	財 源 内 訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
7,818,569				7,800,000		18,569
事業概要	町の人づくりにおいて重要な位置付けである美瑛高校は、生徒数が減少傾向にあり、依然厳しい状況が続いている。生徒数の減少により、統合・廃校の対象となっていることから、高校魅力化に向けた取り組みとして、入学や進学等に伴う費用に対して手厚い支援を行い、美瑛高校の存続を図る。 ・入学準備、通学、見学旅行、模擬試験補助 ・資格取得支援、外部予備校等受講料補助 ・特色ある教育支援 ・進学者給付型奨学金、大学、短大等受験費用補助					
事業目的	各種支援を充実させることで、他校との差別化を図るとともに、高校の魅力を向上させ、美瑛高校の存続に寄与する。					
実施結果・現状	R2年度からの私立高校実質無償化の影響により、目標を大きく下回る結果となったが、町内中学生の入学者は17名と前年度の約2倍となった。町民には美瑛高校の魅力が徐々に浸透しつつあるため、引き続き周知を行っていくとともに、町外には各種支援策の周知を早期から手厚く行っていく必要がある。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
高校存続に向けた入学者数 (単位:人)	目標値		50	55	55	55	55
	実績値		53	34			
	達成率		106.0%	61.8%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		美瑛高校の存続に対して町民から関心が寄せられているため、町民ニーズはあると考える。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		美瑛高校は町の人づくりにおいて重要な位置づけであることから、町事業が妥当である。					
	有効性	事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		事業の廃止によって、生徒数の減少につながり、統合や廃校が図られる可能性があることから、町民への影響は大きい。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で位置付けられている施策のため、関連性が高い。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		美瑛高校は町の人づくりにおいて重要な位置づけであることから、他施策に対する関連性が高い。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
既存事業の中で類似事業はないことから、統合は不可能である。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	事業内容上、外部委託は該当しない。						
町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	町内唯一の高校の存続に関する事業であり、町民にとっての必要性や重要度は極めて高いと考える。						
課題改善策	支援内容の効果を適正に見極めるとともに、他校との差別化や効果的なPRを検討していく必要がある。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	美瑛町定住住宅取得助成事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	まちづくり推進課	
	基本目標	4. 観光業（3）移住・定住			予算科目	款	2. 総務費
	基本施策	1 移住定住希望者の受け入れ体制と情報発信の充実				項	1. 総務管理費
		3 定住促進住宅の取り組み				目	8. 移住対策費
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり						
事業費 (単位：円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
16,669,000						16,669,000	
事業概要	定住促進を図るため、新たに住宅を取得（新築・中古）した際に、取得助成及び各種加算を付け負担軽減を図る。						
事業目的	当町の子育て施策等、各種支援の魅力から当町を定住の地として選択された上で、取得への助成を実施することで定住促進を図る						
実施結果・現状	令和2年度においては、新築が70%弱で29件の助成を実施。移住して3年以内に取得した方は35%。助成を受けられた方からは、子育て支援等の充実に加え、取得時の助成は好評であり、宅建協会旭川支部への情報提供も行ったことから、工務店などからの問い合わせも微増ではあるが増えている。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
住宅取得件数 (単位：件)	目標値		30	30	35	35	35
	実績値		41	29			
	達成率		136.7%	96.7%			
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		住宅を取得した際の費用負担軽減となることから、町民及び移住者からのニーズが多い。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町内における定住者の確保は人口維持もしくは増加に繋がることと考えられ妥当性は高い。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	住宅建設の停滞。ひいては人口減少への懸念が高いため影響は高い。						
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		移住定住支援体制について謳われている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	中古住宅購入においては空き家対策事業との関りが大きい。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
今後、住宅改修に関わる施策を打ち出した際には、当該事業との統合により申請者の負担軽減が図られる。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	事業実施上、様々な施策及び情報提供等を鑑みると外部委託は該当しないと考える。						
評価意見	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	助成事業のため参画無し						
課題改善策	地域材使用加算や町内業者加算は加算実績がないことから、これらが広く利用される、地域材及び町内企業の活性が図られるよう改善の必要がある。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調査

1 事業内容

事業名	テレワーク導入推進事業			経費区分		政策的経費	
	総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり	担当課名	まちづくり推進課		
		実施策	4. 観光業(3) 移住・定住		款	2. 総務費	
		基本目標	1 移住定住希望者の受け入れ体制と情報発信の充実			項	1. 総務管理費
基本施策	1 セカンドホームツーリズムの推進	目	8. 移住対策費				
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
1,922,772						1,922,772	
事業概要	テレワークを推進するためモニターを募り、令和3年度からの本格実施に向けたハード・ソフト面における調査及びニーズを諮るため、企業・個人事業主が当町にて月単位の利用から、良好なワークライフバランスを推進してもらう。						
事業目的	コロナ禍等により働き方の移り変わりが激しい現代において、場所を選ばない働き方であるテレワークを町内で推進させる。目的としては関係人口の創出拡大を図り、将来的に移住や企業移転(機能一部移転含む)へのきっかけづくりにも資する。						
実施結果・現状	8月からの利用開始に伴い、大勢の個人事業主から問い合わせを受けた。各月において様々な職種の利用者があり多くの提言等を受けたことで、令和3年度の事業実施がスムーズに進めることが可能となった。また令和3年度、2棟にて稼働しているテレワーク用施設も好評を博しており、令和2年度の提言から取り組んだ助成事業(Beコイン及び助成金)については、利用の決断を促進させた話も伺っている。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
申請件数 (単位:件)	目標値	—	—	5	6	6	6	
	実績値	—	—	7	—	—	—	
	達成率	—	—	140.0%	—	—	—	
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		関係人口創出の観点から、町内の事業等においてマッチングが可能となる等のニーズはある。						
		町事業としての妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		関係人口創出や企業移転等を将来的な目標とした場合、導入事業としての妥当性は高い。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	本町における都市企業や都市住民との新たな関係構築の場の喪失になる。							
	有効性	総合計画との関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		新たな働き方に対応した事業として、総合計画の中で位置付けられた施策との関連性が高い。						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	関係人口づくり等の地域振興に関連する事業であり、他施策に対する関連性が高い。						
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当						
関係人口創出及び移住に特化させた場合は統合は難しいと考える。								
町民参加	外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	ワーケーション等、新たな働き方を含めた交流人口を呼び寄せる制度確立後には検討も必要。							
評価意見	町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
	関係人口創出及び移住への目的の上では、町民参加による事業展開は難しい							
課改善	制度参加の少なかった就業体験からの鞍替えにより、都心部から大勢の利用者が生まれ関係構築ができたこと、また、令和3年度の利用においても令和2年度のモニターより頂戴した意見を反映することで好評を得ていることは、効果的な事業であったと考えられる。							
課題	テレワークというICTを使った新しい働き方を推奨した事業にも関わらず、各種書類への捺印が必要なことへの意見を多く頂戴する。そのため、庁内でのDXの進行状況を鑑みながら捺印の廃止に向けて検討していきたい。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	移住定住促進協議会準備会補助事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	まちづくり推進課		
	基本目標	4. 観光業(3) 移住・定住				予算科目	款	2. 総務費
	基本施策	1 移住定住希望者の受け入れ体制と情報発信の充実			項		1. 総務管理費	
		3 定住促進住宅の取り組み			目	8. 移住対策費		
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
187,065					187,065			
事業概要	移住経験者や町民、企業、役場といった町全体で移住者を迎え入れる体制を創るための準備会運営事業。							
事業目的	移住希望者にとって身近な移住経験者等が集い、移住希望者への各種情報提供や支援を行う。その中で創出されたコミュニティでの交流を通じて、移住しやすい環境づくりを図り、関係人口及び移住者の増加につなげる。							
実施結果・現状	令和2年度は9月に「移住者交流会」と題し、WSや懇親会を実施。参加者からも移住者との交流をする機会がとても好評であり、設立の意義を見い出せたことから、令和3年度に「丘のまちびえい移住定住促進協議会」を本格的に設立した。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
次年度への移住企画・提案 (単位:件)	目標値		—	5	5	5	5	
	実績値		—	29				
	達成率		—	580%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		移住者の多い当町においては、移住者を迎え入れる体制づくりへのニーズは高い。						
		町事業としての妥当性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		人口維持・増加を図るための取り組みのため、町事業としての妥当性が高い。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	コミュニティの欠如により、移住者の孤立が懸念される。							
	有効性	総合計画との関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		移住ニーズに対応する組織体制の確立を目指すことを謳っている						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	移住への就労情報、空き家情報等を提供することで、地域産業の活性化につながるため、他施策との関連性は高い。							
	効率性	他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		他事業との関りは多いが、統合する事業が無いと考える						
		外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
	協議会活動が活発化し、移住者を迎え入れられる体制が確立された際にはNPO化により町からの委託等も可能と考える。							
町民参加	町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input type="checkbox"/> 非該当		
	移住経験者や協議会への興味を持つ大勢の町民の方々が参画できる事業である。							
評価意見	令和2年度の交流会では初対面の方たちが大勢いた中、幅広い層の参加者により様々な意見が活発に出され、その内容を庁舎内にて協議し担当部局の業務改善、新年度予算化といった職員の行政サービスへの意欲向上にも繋げられた事業となった。							
課善題策	大勢の会員がより移住希望する方たちと親しみを持てるよう、コロナ禍においても会報の発行など会員同士や事務局との距離を近づけられる取り組みを実施する。また、できることから積極的に取り組み、移住者を迎え入れる体制づくりを強化していく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		町営墓地環境整備事業			経費区分		投資・政策的経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名		住民生活課	
	基本目標	3. 衛生（1）環境衛生			予算科目	款	4. 衛生費	
	基本施策	1 地域ぐるみによる環境衛生の実現				項	1. 保健衛生費	
		3 墓地の管理と環境整備				目	7. 墓地管理費	
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり						
事業費（単位：円）		財源内訳						
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
6,340,000					6,340,000			
事業概要		町営墓地5・6区の通路の舗装化。						
事業目的		墓地の通路を舗装化することにより、高齢者や車いすの方がより安全に歩行をできるようにする。						
実施結果・現状		通路の舗装化により、高齢者や車いすの方の歩行がより安全に行えるようになった。7通路のうち令和2年度までに4通路が舗装化された。残り3通路未舗装。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位： )		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		通路の舗装化により歩行が安全に行えるようになるため、一定のニーズはある。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町営墓地の環境整備に必要な事業として妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		一部の舗装化が実施されているため、影響は大きい。					
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		具体的な事業は総合計画に掲載されていないが、関連性はある。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	墓地単体の事業として完結している。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		町発注の工事（工事請負費）である。					
	町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
町発注の工事（工事請負費）である。							
評価意見	通路の舗装化により、高齢者や障がい者にやさしい環境が整備された。						
課改善課題	残りの3通路の舗装化が必要。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	生ゴミ堆肥化容器設置補助事業			経費区分	政策的経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	住民生活課
	基本目標	3. 衛生（2）ごみ処理			予算科目	4. 衛生費
	基本施策	1 ごみの減量化と適正な処理による環境負荷の低減				2. 清掃費
		2 ごみの減量化の推進				1. 清掃総務費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位：円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
30,000						30,000
事業概要	生ごみ堆肥化容器設置費補助金交付規則による。 家庭から排出される生ゴミを堆肥化するためのコンポスト設置費用を一部助成する。					
事業目的	生ゴミを家庭で堆肥化することにより、可燃ごみが減少し、大雪清掃組合への負担金の減少や最終処分場の延命効果につながる。					
実施結果・現状	R2の設置実績10基で、H3からの累計2,203基の設置となった。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
コンポスト容器設置数 (単位：基)	目標値		10	10	10	10	10
	実績値		9	10			
	達成率		90.0%	100.0%			
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		過去5年間は、10基前後で推移している。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		コンポストの利用者が増加することで、可燃ごみの減量化につながる。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	困る町民は少数かもしれないが、コンポスト購入の動機の一つがなくなる。						
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		コンポストの設置は、ごみの減量化に関連している。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	可燃ごみの減量化は、温室効果ガス排出の減少につながる。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
段ボールコンポストの普及事業などが考えられる。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	ごみ処理に関する取り組みは、町民一人ひとりの行動により環境にやさしい方向に進むため、小さな取り組みであるが、必要な事業である。						
課題	事業を継続することが必要。						

2次評価（評価検討委員会）		※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小				
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了				
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。				

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	ゴミステーション施設整備補助事業			経費区分	政策的経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	住民生活課
	基本目標	3. 衛生（2）ごみ処理			予算科目	4. 衛生費
	基本施策	1 ごみの減量化と適正な処理による環境負荷の低減				2. 清掃費
		1 適正なごみの収集体制の確保				1. 清掃総務費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位：円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
186,000						186,000
事業概要	ゴミステーション施設整備費補助金交付規則による。地域の団体が自主的にゴミステーションの整備を行う場合に助成する。					
事業目的	町内会等で管理しているゴミステーションの設置及び修繕に助成することで、良好な状態で管理される。					
実施結果・現状	4団体（新規0基、修繕11基）に助成した。さびたゴミステーションの塗装などを行い、良好なゴミステーションの管理が行われている。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
整備を行った団体数（申請数） (単位：団体)	目標値		4	4	4	4	4
	実績値		5	4			
	達成率		125.0%	100.0%			
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		ここ数年、目標値の団体数からの申請となっている。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		助成を行うことで、ゴミステーションの修繕が促進されている。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	ゴミステーションの良好な維持管理に係る費用について、町内会の負担が大きくなる。					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		適正なごみの収集体制に必要なゴミステーションであり、環境美化に配慮した取り組みになっている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		環境美化活動に関連する。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		ゴミステーション施設整備費補助金交付規則による。					
	評価意見	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
補助制度により町内会の負担が軽減されることで、ゴミステーションの修繕等が行いやすく、ゴミステーションの良好な維持管理が行われている。							
課題改善策	計画的にゴミステーションの修繕を実施している町内会もあることから、事業を継続することが必要。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	企業振興促進補助事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	商工観光交流課		
	基本目標	3. 商工業			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	4 起業・創業の活発化				項	1. 商工費	
		9 起業の促進				目	2. 商工業振興費	
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
682,000						682,000		
事業概要	「美瑛町企業振興促進条例」に基づき、事業場の新設、増設に必要な事業費等の一部を補助する。							
事業目的	本町における企業の振興を促進するため、町内に事業場を新設、又は増設する者に対し、助成措置を行うことにより、本町産業の振興と雇用の拡大を図り、活力あるまちづくりを推進する。							
実施結果・現状	企業が積極的に設備投資を行うことが困難な状況であったため、補助実績は1件に留まっている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
助成実績	目標値		1,300	1,500	1,000	1,000	1,000
	実績値		1,049	681			
	達成率	(単位：千円)	80.7%	45.4%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		雇用の創出に繋がっている					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		補助事業であるため町が実施することが妥当					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	雇用や地域経済への影響が考えられる					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画において「起業・創業の活性化」を基本目標としている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		安定的な雇用創出などの施策に影響する。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	実績は少ないが、企業誘致を進めるうえで必要な施策である。						
課題改善策	令和元年に企業振興促進条例を改正し、事業場の設置助成を固定資産税の不均一課税に改めたことにより、決算において事業実績が見えにくくなる。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価				
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	交流促進施設管理運営事業			経費区分	経常・義務的経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	商工観光交流課		
	基本目標	4. 観光業（1）観光の振興			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	2 中心市街地の活性化				項	1. 商工費	
		5 中心市街地の活性化				目	4. 交流促進施設費	
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり							
事業費 (単位：千円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
5,347,000						5,347,000		
事業概要	ふれあい館ラヴニール内の体験交流施設、宿泊施設と市街地の中核施設でもある道の駅びえい「丘のくら」の3部門の利用促進及び円滑な管理を図る。							
事業目的	交流促進施設の各部門（宿泊、体験、道の駅）を利用した方と、町民や町内各産業との交流を進め、地域の活性化や特産品の普及、商店街の振興を図る。							
実施結果・現状	観光客数の大幅な落ち込みにより、各部門において利用者数が減少している。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
3部門の合計利用者数 (単位：人)	目標値		350,000	370,000	390,000	400,000	400,000
	実績値		337,986	228,042			
	達成率		96.6%	61.6%			
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		商店街の集客拠点施設として一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		施設の維持管理及び運営は民間でも可能					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	利用者の多くは観光客であるが、商店街の集客や町民雇用においては影響が大きい。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の基本目標である「中心市街地の活性化」を達成するために重要な施設である。他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	雇用施策や観光施策への影響が考えられる					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
他の団体と一部の事業内容が重複している。外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
町民参加	指定管理者が施設の運営を行っているが維持、管理費用は町が負担しており、より効率的な運営が望まれる。						
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	指定管理者の業務内容や組織の在り方、効率的な施設運営について検討している。						
課題改善策	活性化協会や観光協会と一部の事業内容が重複しており、効率的な運営を検討している。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。また指定管理者制度において、より効率的な施設運営が図られるよう検討すること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	交流推進事業			経費区分	その他の経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	商工観光交流課		
	基本目標	4. 観光業(2)まつり・イベント			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	1 魅力あるイベントの創出				項	1. 商工費	
		1 満足度の高いイベントの創出				目	6. 交流推進費	
町長重点政策								
事業費 (単位：千円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
526,000						526,000		
事業概要	・交流推進事業全般に要する諸経費 ・町内各実行委員会で開催しているイベント運営に係る補助金							
事業目的	町民が町民のためのイベントを主体的に企画、運営している現行の実行委員会主催の形態を継続、発展させるため運営に係る費用の補助を行い、まちづくりへの町民の参画を図る。							
実施結果・現状	桜まつりにおいては、コロナ禍によりライトアップのみを計画したが直前の緊急事態宣言発令により中止となった。雪遊び広場は規模を縮小し実施。共に実行委員会が主体的に企画、運営する体制ができている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
桜まつり、雪遊び広場 参加人数合計 (単位：人)	目標値		2,800	2,800	1,000	1,000	1,000
	実績値		2,900	400			
	達成率		103.6%	14.3%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		町民限定規模の安心して参加できるイベントのニーズは高まっていると感じる					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		町民に喜ばれている事業であるほか、補助金だけに頼らず自主財源確保に努めている					
		事業休止・廃止による町民への影響	□高 ■中 □低 □非該当				
	有効性	町民の生活に直結する事業ではないが、補助事業がなければ運営は困難である					
		総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		総合計画において「イベント運営体制の充実」を基本目標としている					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	□高 □中 ■低 □非該当				
		町民の憩いの場、季節を感じる屋外遊びの機会を提供し魅力あるまちづくりに貢献している					
		他事業との統合の可能性	□可能 □要検討 ■不可能 □非該当				
		季節を楽しむイベントのため、他事業との統合は不可					
町民参加	外部委託等の可能性	■可能 □要検討 □不可能 □非該当					
	事務局機能も合わせて外部機関に移行することが可能						
評価意見	町民の参画	■実施 □要検討 □未実施 □非該当					
	実行委員会を中心となった体制が既に構築されている						
課題改善策	「子どもたちに季節を感じる体験をさせたい」、「町民の憩いの場を提供したい」という有志が集まり活動しており、各実行委員会共に予算の大半が補助金だが、寄付を募る等財源確保にも努めるなど自主的な運営体制が整っている。						

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続 □縮小
	□統合	□休止	□廃止 □完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。		

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	ふるさと会支援事業			経費区分	その他の経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	商工観光交流課		
	基本目標	4. 観光業(2)まつり・イベント			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	2 美瑛ファンと交流人口の増加				項	1. 商工費	
		2 国内外への情報発信の強化				目	6. 交流推進費	
町長重点政策								
事業費 (単位：千円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
2,187,000				1,300,000		887,000		
事業概要	郷土美瑛を応援する組織である「ふるさと会」の運営に対し、運営費の一部を助成する。							
事業目的	会員同士だけでなく、町民との交流・親睦により郷土愛の醸成を図る。都市圏に居住する会員を通じた企業や大学、有識者との関係性の構築(関係人口づくり)が期待される。							
実施結果・現状	【北海道美瑛会】 会員 142名【東京びえい会】 会員 329名 例年は総会において会員相互と町との情報交換を含めた交流が図られているが、R2はコロナの影響により中止となった。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
交流人口 (会員数、総会参加人数) (単位：人)	目標値		580	600	500	500	510
	実績値		589	497			
	達成率		101.6%	82.8%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		コロナ禍においても総会開催を望む声があり、会員との交流を楽しみにされている方がいる					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		ふるさとを想う会員の力は大きく、都市部との交流、企業紹介を含め町への貢献は大きい					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	町民の生活に直結する影響は低い、まちづくりへの貢献度を鑑みると影響は高い					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画において「美瑛ファンと交流人口の増加」を基本目標としている					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		移住定住、企業誘致、大学連携等を含む関係人口づくりへの寄与が期待できる					
他事業との統合の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
関係人口の側面から他事業との統合、事務の一元化は検討できると思われる							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	町との交流だけでなく、まちづくりへの関りを期待した際に外部委託は馴染まない						
町民参加	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	R2は総会・及び懇親会が中止となった						
課題改善策	各会共にコロナ禍においても工夫を凝らした「ふるさと応援事業」を実施し、「ふるさと美瑛」との繋がりを大切にされている。						
	「関西びえい会(仮称)」の会員募集を開始したが、会の運営が成立する人数に至っていない。引き続き会員募集に努める。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

## 令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

### 1 事業内容

<b>事業名</b>	活性化交流施設管理運営事業			<b>経費区分</b>	経常・義務的経費			
<b>総合計画</b>	<b>分野別</b>	1 足腰の強い産業づくり			<b>担当課名</b>	商工観光交流課		
	<b>施策</b>	3. 商工業				<b>予算科目</b>	<b>款</b>	7. 商工費
	<b>基本目標</b>	2 中心市街地の活性化			<b>項</b>		1. 商工費	
	<b>基本施策</b>	5 中心市街地の活性化			<b>目</b>	7. 活性化交流施設費		
<b>町長重点政策</b>	「未来につなぐ」まちづくり							
<b>事業費</b> (単位：千円)	<b>財源内訳</b>							
	<b>国庫支出金</b>	<b>道支出金</b>	<b>地方債</b>	<b>基金</b>	<b>その他</b>	<b>一般財源</b>		
27,363,000						27,363,000		
<b>事業概要</b>	市街地の中核施設となる活性化交流施設「ピ・エール」の円滑な管理を図る。							
<b>事業目的</b>	商店街の活性化や市街地中心部の有効な土地利用を図り、地域コミュニティの中心となることで、まちの賑わいづくりに寄与する。							
<b>実施結果・現状</b>	新型コロナウイルスの影響で一時休館を余儀なくされたが、適切な管理運営がなされた。							

### 2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
利用者数 (単位：人)	目標値		145,300	146,000	147,000	148,000	149,000	
	実績値		129,685	74,248	/	/	/	
	達成率		89.3%	50.9%	/	/	/	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		地域のコミュニティ施設として一定のニーズがある						
		町事業としての妥当性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		指定管理者制度により管理運営を行っている						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	中心市街地の施設であり、利用者も多いため影響は大きい							
	有効性	総合計画との関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		総合計画の基本目標である「中心市街地の活性化」を達成するために重要な施設である。						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	雇用施策や観光施策への影響が考えられる						
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当			
地下部分は別の指定管理者となっているため統合を検討								
外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当			
町民参加	指定管理者制度を活用している							
	町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
<b>評価意見</b>		適切な施設の管理運営がなされている。						
<b>課題改善策</b>		地下部分は別の指定管理者となっているため、建物全体を同一の指定管理者とする検討を行っている。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価				
<b>評価結果</b>	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
<b>評価意見</b>	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	一時預かり利用者負担軽減助成事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課	
	基本目標	1. 地域福祉(2) 児童福祉			予算科目	款	3. 民生費
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				項	2. 児童福祉費
		7 地域子ども・子育て支援事業の推進				目	1. 児童福祉総務費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
300,000				300,000			
事業概要	保護者が通院、冠婚葬祭やリフレッシュのため、子どもを一時的に町内のNPO法人に預ける際の料金を助成する。						
事業目的	保護者が一時預かり事業を利用しながら、用足しやリフレッシュができるよう支援する。						
実施結果・現状	保護者の社会活動と家庭生活が両立することで、児童福祉の向上が図られる。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
利用者数 (単位:件)	目標値		20	20	20	20	20
	実績値		2	0			
	達成率		10.0%	0.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		保護者が不在となる際の預かりニーズは一定程度ある。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町内の子育て支援策として妥当。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	経済面での利用控えが懸念される。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		子育てと社会参加の両立支援及び経済的負担の軽減対策での関連性あり。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		通園型・訪問型の各種預かり事業との併用可能。					
町民参加	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
課善題策	令和2年度は実績が無かったが、育児協力者がいない子育て世帯も多いことから、本事業があることで安心して仕事と子育てが行える。						
	事業紹介による利用登録の促進と、各種預かり事業との連携。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見
-------------

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	養育支援訪問事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課	
	基本目標	1. 地域福祉(2) 児童福祉			予算科目	款	3. 民生費
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				項	2. 児童福祉費
		7 地域子ども・子育て支援事業の推進			目	1. 児童福祉総務費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
93,518						93,518	
事業概要	妊娠期から民生委員が子育て世帯と関わりを持ち、面談や助言などを行いながら、行政ネットワークと連携して養育支援を行う。						
事業目的	子育てに対する不安やストレス等を把握し、子育て支援を行うことで、家庭養育の安定と児童虐待の未然防止を図る。						
実施結果・現状	出生数の減少及び新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、面談、訪問を通じて、身近に頼れる人がいることは、養育者の心身安定につながっていると思われる。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
面接・訪問件数 (単位:件)	目標値		40	40	40	40	40
	実績値		11	12			
	達成率		27.5%	30.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		地域の見守りと関係づくりは、引き続き必要。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	要保護児童対策地域協議会との連携事業として妥当。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		児童虐待などへの対応が遅れる可能性がある。					
	効率性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		児童虐待防止対策の推進で関連している。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
	民生委員が携わっている。						
課題改善策	妊産婦等の心理状況や生活不安等を、民生委員活動の中で把握し、行政と連携することは重要。しかし、要保護児童対策地域協議会連携事業については、さらに育児指導や家事支援などの養育支援が必要になっている。						
	要支援児童等の把握や生活支援も虐待対策として重要なため、民生委員訪問とは別に、育児指導・家事支援を中心とした事業を検討する。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	子ども子育て支援事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1. 地域福祉(2) 児童福祉			予算科目	款	3. 民生費	
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				項	2. 児童福祉費	
		7 地域子ども・子育て支援事業の推進			目	1. 児童福祉総務費		
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
358,736						358,736		
事業概要	子ども・子育て関連3法の施行に伴う新たな子ども・子育て支援を行う。住民ニーズを把握して策定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づく支援について、子ども子育て会議における評価と見直しを行う。							
事業目的	子育て実態や住民ニーズを把握し、計画的な児童福祉施策を推進する。							
実施結果・現状	実情に即した幼児教育・保育の提供により、地域における子ども・子育て支援が行えている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位: )		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する住民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		幼児教育・保育等のニーズ把握を行っている。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		法令に基づく計画推進のため妥当。					
		事業休止・廃止による住民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	子ども・子育て施策の基本となることから町民への影響は大きい。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		子ども・子育て計画が総合計画の下位計画。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		子ども・子育て施策の基本となることから関連性が高い。					
	町民参加	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
	評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当				
		子ども子育て会議の参画。					
課改善	子ども子育て支援法に基づき、ニーズ調査や関係者協議を反映した子ども・子育て支援計画の見直しを行いながら、実情に即した支援が行えている。						
課題	各種子育て支援における、担い手確保が課題。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見



## 令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

### 1 事業内容

<b>事業名</b>	子ども緊急さぼねっと事業				<b>経費区分</b>	政策的経費		
<b>総合計画</b>	<b>分野別策</b>	2 ともに支え合うまちづくり				<b>担当課名</b>		
	<b>基本目標</b>	1. 地域福祉(2) 児童福祉				<b>予算科目</b>	<b>款</b>	
	<b>基本施策</b>	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり					3. 民生費	
		7 地域子ども・子育て支援事業の推進				<b>項</b>		
						2. 児童福祉費		
						<b>目</b>		
						1. 児童福祉総務費		
<b>町長重点政策</b>	「しあわせな」まちづくり							
<b>事業費</b>	<b>財 源 内 訳</b>							
(単位：円)	<b>国庫支出金</b>	<b>道支出金</b>	<b>地方債</b>	<b>基金</b>	<b>その他</b>	<b>一般財源</b>		
43,100						43,100		
<b>事業概要</b>	1市8町で実施している子ども緊急さぼねっと事業の、利用料の一部助成。							
<b>事業目的</b>	保護者が病児・病後児保育や就労都合による一時預かりを利用しながら、安心して子育てできるように支援する。							
<b>実施結果・現状</b>	保護者の社会活動と家庭生活が両立することで、児童福祉の向上が図られた。							

### 2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位： )		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
<b>1次評価 担当課</b>	<b>必要性</b>	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		令和2年度から本事業を開始し、利用登録が進んでいる。					
		町事業としての妥当性	□高 ■中 □低 □非該当				
		利用料助成のため町事業として妥当。					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当				
	<b>有効性</b>	サービスの利用控えにより、保護者の子育て負担が増える。					
		総合計画との関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
		地域子ども・子育て支援事業において関連。					
		他施策に対する波及効果・関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
	<b>効率性</b>	育児ストレスの軽減により、子どもの安全対策に効果あり。					
		他事業との統合の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当				
		外部委託等の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当				
	<b>町民参加</b>	事業自体は委託。					
		町民の参画	□実施 □要検討 □未実施 ■非該当				
<b>評価意見</b>	事業説明会を2回実施し、広報紙やチラシにより事業周知をした結果、1年目の登録は、利用会員が19件、スタッフ会員が1件で、2件の利用実績があった。						
<b>課題改善策</b>	町内のスタッフ会員が1名であり、説明会や広報紙で募集をしているが、増員されていない。						

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価			
<b>評価結果</b>	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止
			<input type="checkbox"/> 縮小
			<input type="checkbox"/> 完了
<b>評価意見</b>	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。		

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	高校生就学支援事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり			予算科目	款	3 民生費	
	基本施策	7 地域子ども・子育て支援事業の推進				項	2 児童福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
2,130,000				2,130,000				
事業概要	町内在住者が、町外の高校に進学する際に、入学準備金として1人30,000円を助成する。							
事業目的	入学準備金を助成することで、保護者の経済的な負担を軽減する。							
実施結果・現状	年齢対象者90名に通知し、助成対象者73名（美瑛高校17名を除く）のうち、申請者71名に助成。（未申請者2名）							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
— (単位： )	目標値	—	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—	—
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加		<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当
		申請率が高いため、一定のニーズがあると評価。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高		<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当
		子育て支援の一環として妥当。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中		<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当
	子育て世帯の経済的負担が増える。						
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中		<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当
		基本施策で子育て世帯への経済的負担の軽減を謳っている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中		<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	福祉金庫貸付が増える可能性あり。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
		町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	評価意見	事業1年目は、助成対象者73名のうち申請者が71名あり、継続が必要と評価。					
課題	特になし。						

2次評価（評価検討委員会）		※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小	
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了	
評価意見	引き続き、効果的な事務内容と効率的な事務執行に努めること。				

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	幼児教育・保育副食費補助事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり			予算科目	款	3 民生費	
	基本施策	7 地域子ども・子育て支援事業の推進				項	2 児童福祉費	
	基本施策	7 地域子ども・子育て支援事業の推進				目	1 児童福祉総務費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
1,382,500						1,382,500		
事業概要	幼稚園及び認定こども園の在園児に係る給食費について、保育と同様に町独自の施策として、国基準の副食費月額4,500円の半額を上限に助成する。							
事業目的	幼稚園及び認定こども園在園児の保護者負担を軽減する。							
実施結果・現状	幼児教育・保育施設が経済的に利用しやすい状況となっている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位： )		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		経済的支援により施設選択がしやすい状況。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		子育ての経済的支援であり妥当。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	経済的負担の増による利用控えが懸念される。						
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		子育て世帯への経済的負担の軽減を謳っている						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	平成29年から行っている町独自の保育料半額助成と関連あり。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	評価意見	副食費の助成により経済的負担の軽減が図られ、教育・保育施設の利用がしやすくなった。						
課題	保護者の負担軽減を図る目的から継続の必要がある。							

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	保育センター施設改修事業			経費区分	投資・政策的経費	
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課
	基本目標	1. 地域福祉(2) 児童福祉			予算科目	3. 民生費
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				2. 児童福祉費
		7 地域子ども・子育て支援事業の推進			2. 保育所費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費(単位:円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
693,000						693,000
事業概要	平成8年に建設した保育センターの照明器具を計画的にLED化する。					
事業目的	環境整備により、安全な保育活動を継続する。					
実施結果・現状	明るい環境で、保育活動が行えている。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位: )		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	□増加		■一定	□減少	□非該当
		安心安全な環境で保育を受けたい。					
		町事業としての妥当性	■高		□中	□低	□非該当
		どんぐり保育園の施設改修事業は町が実施。					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高		□中	□低	□非該当
	有効性	施設利用時の事故や保育への支障がある。					
		総合計画との関連性	■高		□中	□低	□非該当
		保育の充実に関連する事業として実施。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	□高	□中	□低	■非該当	
		他事業との統合の可能性	□可能	□要検討	□不可能	■非該当	
	町民参加	外部委託等の可能性	□可能	□要検討	□不可能	■非該当	
		町民の参画	□実施	□要検討	□未実施	■非該当	
評価意見	照明部品の供給終了前に、LED化を進めることができ充実した保育環境の提供につながった。						
課題	年度計画により、次年度は残りのLED化を行う。						

2次評価(評価検討委員会)		※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続	□縮小	
	□統合	□休止	□廃止	□完了	
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。				

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		発達支援事業			経費区分		その他の経費	
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名		保健福祉課	
	基本目標	1. 地域福祉(2) 児童福祉			予算科目	款	3. 民生費	
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				項	2. 児童福祉費	
		6 障がい児や発達が緩やかな子どもと保護者への支援				目	4. 子ども支援センター費	
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)		財源内訳						
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
4,746,052		4,100,000	635,000				11,052	
事業概要		・美瑛町在住の発達に心配のある子どもやその保護者を対象に、日常生活動作やコミュニケーション能力及び集団生活への適応力等の向上を図ると共に、保護者の育児不安の軽減を図る目的とした親子支援を行う。 ・地域発達支援センターとして、関係機関と連携を図る。						
事業目的		療育が必要な児に対して、発達上の強みに注目し、保護者と共に発達状況に即した関わり方を確認し合うことにより、健やかな発達を促し適応力の向上を図ると共に、家族の不安感の軽減につなげる。						
実施結果・現状		・保護者からの相談件数の増加や所属園からの相談も増え、個々のニーズも複雑になってきている。 ・コロナ自粛期間中のアンケート調査を行い、今後に向けて体制を整えた(オンライン相談)。						

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位: )		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ		■増加	□一定	□減少	□非該当	
		相談や早期療育に関するニーズが非常に高い傾向にある。						
		町事業としての妥当性		■高	□中	□低	□非該当	
		地域での療育を充実させ、関係機関との連携を図るためには町事業が妥当である。						
	有効性	事業休止・廃止による町民への影響		■高	□中	□低	□非該当	
		親子関係不全や子どもの発達課題等に影響する。						
		総合計画との関連性		■高	□中	□低	□非該当	
		安心して子どもを産み、育てられる地域づくりが謳われている						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性		■高	□中	□低	□非該当	
		身近な地域でライフステージに応じたサービスの提供が可能になる。						
他事業との統合の可能性		□可能	□要検討	■不可能	□非該当			
事業の内容上統合は不可能である。								
町民参加	外部委託等の可能性		□可能	■要検討	□不可能	□非該当		
	事業の内容上外部委託は難しいが、専門性を高めるための連携は必要である。							
評価意見	町民の参画		□実施	■要検討	□未実施	□非該当		
	ボランティアスタッフの活用等も考えていきたい。							
課題改善策	健診後や関係機関からの紹介や相談も増え、療育開始年齢が早くなっている。個別指導等状況に応じ対応ができた。							
	支援者の発達支援の専門性の質を高めるとともに、親の心理的援助を含む家族支援を関係機関と連携し、更なるサポート体制を構築する。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	子育て支援事業			経費区分	その他の経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1. 地域福祉(2) 児童福祉			予算科目	款	3. 民生費	
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				項	2. 児童福祉費	
		7 地域子ども・子育て支援事業の推進				目	4. 子ども支援センター費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
5,367,236	1,789,000	1,789,000				1,789,236		
事業概要	地域の乳幼児とその保護者が相互に交流できるような子育て支援拠点を設置し、子育てに関する情報提供、助言を行う。							
事業目的	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての孤立や不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。							
実施結果・現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で休所期間もあったが、電話相談等や人数を制限して開設する等、育児不安軽減を図ることに努めた。</li> <li>・コロナ自粛期間中のアンケート調査を行い、今後に向けて体制を整えた(オンライン相談)。</li> </ul>							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
未就園児親子利用率 (単位: %)	目標値		80	80	80	80	80	
	実績値		77	87				
	達成率		96.3%	108.8%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当					
		親子が安心して利用できる場としてのニーズが非常に高い。						
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当					
		地域での子育ての支援拠点として、関係機関との連携を図るためには町事業が妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当					
	有効性	子育ての孤立化、保護者の不安感、負担感が増す。子どもの発達に影響する。						
		総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当					
		安心して子どもを産み、育てられる地域づくりが謳われている。						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	■高 □中 □低 □非該当					
		乳幼児期からの支援により、早期療育への連携や虐待予防につながる。						
他事業との統合の可能性		□可能 □要検討 ■不可能 □非該当						
町民参加	事業の内容上統合は不可能であるが、他事業と連携して行う。							
	外部委託等の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当						
課改善	事業の内容上、外部委託は難しいが、専門性を高めるための連携は必要である。							
	町民の参画	■実施 □要検討 □未実施 □非該当						
評価意見	地域ボランティア団体との連携を行っている。							
課題	就園が低年齢化しているため利用数が減少している中、継続利用親子の増加。継続的に支援し、家庭育児の孤立化を 방지育児不安の軽減につなげている。							
改善策	育児に困り感のある未利用家庭にも訪問相談を行い支援していく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	継続的に利用している親子が増加しているため、引き続き町民のニーズに対応した事業展開を継続していくこと。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	福祉ハイヤー借上事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1 誰もが住み慣れた地域でともに暮らし続けることができる地域づくり			予算科目	款	3 民生費	
	基本施策	1 地域福祉ネットワークの形成と実践				項	1 社会福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
6,046,500			6,000,000			46,500		
事業概要	70歳以上の高齢者及び1～3級の障がい者で自家用車等の交通手段を持たない交通弱者に対し、ハイヤー利用助成券を交付する。							
事業目的	通院、買い物等の日常生活の利便性向上や経済的負担の軽減を図るとともに、引きこもり予防と社会参加の拡充を図る。							
実施結果・現状	年間を通じて多くの高齢者・障がい者の方の利用があり、効果があったが、使用率は70%代となっている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
ハイヤー券使用率 (単位：%)	目標値		85	88	90	90	90
	実績値		76	70.6			
	達成率		89.4%	80.2%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		多くのハイヤー券申請者があり、一定数のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町内の公共交通機関が限られているため妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	廃止されることにより、利用者の外出する機会の減少が考えられる。						
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の誰もが住み慣れた地区で智に暮らし続ける地域づくりに関連している。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	通院等で使用することも考えられ、保健・医療・福祉の連携も考えられる。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
他の交通助成事業等との統合は検討できる。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、昨年度と比較し利用率が下がっているが、多くの高齢者、障がい者の利用があり、一定の効果があった。						
課題改善策	対象となる方の区分により、不平等な事案も生じており、対象区分の再検証が必要である。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	対象者から一定のニーズがあることから、引き続き効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	準要保護世帯等法外援護事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1. 地域福祉(1) 地域福祉			予算科目	款	3. 民生費	
	基本施策	1 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくり				項	1. 社会福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
1,200,000				1,200,000				
事業概要	美瑛町法外援護配分要綱に基づき、低所得者世帯に対し、歳末福祉援護費として12月下旬に、共同募金会美瑛分区の援護金と合わせて支給を行う。							
事業目的	生活保護世帯に準ずる生活困窮世帯に対して、年末の生活資金増大時期の生活安定と福祉の増進を図る。							
実施結果・現状	支給対象である生活保護世帯に準ずる生活困窮世帯を、すべて把握しきれていない現状であることから、より民生委員との連携を図っていく必要がある。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位: )		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		毎年50件前後の申請があり、一定のニーズがある。						
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画でも地域福祉ネットワークの形成と実践と謳われており、町事業として妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	生活困窮世帯の生活が今まで以上に苦しくなる。							
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		基本施策の地域福祉ネットワークと実践が関連している						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉の施策等と、波及効果・関連性がある。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		他の低所得者に対する対策事業と統合の可能性はある。						
	町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
		町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	当事業においては、民生委員と社会福祉協議会と連携しながら行っている。							
課題改善策	民生委員の協力のもと、対象世帯の調査を行い生活困窮者への援護を行うことができたが、全ての世帯を把握しきれていない。							
	民生委員の担当地区によって申請数のばらつきがあるので、申請が無い地区や少ない地区での民生委員の協力を得る必要がある。							

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。		

まちづくり委員会の意見	



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	冬の生活支援事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1. 地域福祉(1) 地域福祉			予算科目	款	3. 民生費	
	基本施策	1 誰もが住み慣れた地域でともに暮らし続けることができる地域づくり				項	1. 社会福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
6,345,646						6,345,646		
事業概要	市町村住民税が非課税の65歳以上のみで構成される世帯、ひとり親世帯等に対し1世帯当たり10,000円相当の美瑛町電子地域通貨を対象世帯主へ付与する。							
事業目的	新型コロナウイルス禍における新しい生活様式が長期化する中で、冬期間の支出増加や生鮮食料品、生活用品等の物価上昇が予想されることを踏まえ、在宅で生活する低所得者等に対し生活費の一部を助成することにより、家計の安定と福祉の増進を図る。							
実施結果・現状	657世帯と、多くの世帯に支給できた。また、支給したビーコインの使用率が高かった。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位:件)		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		650世帯以上の申請があり一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町事業として妥当ではあるが、毎年各燃料等の物価の状況を鑑みる必要がある。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	生活困窮世帯の冬期間の生活が苦しくなる。					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		基本目標誰もが住み慣れた地域でともに暮らし続けることができる地域づくりに関連する。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉のの施策等と、波及効果・関連性がある。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	他の低所得者に対する対策事業と統合の可能性はある。					
外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	毎年度、生活状況や社会情勢等を踏まえ実施の可否を検討する必要がある。						
課題改善策	多くの町民にビーコインを支給した結果、利用率が目標値よりも高かったため、利便性の観点からも、引き続きビーコインの使用を検討していきたい。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	白金線老人交通費助成事業			経費区分	政策的経費	
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課
	基本目標	1. 地域福祉(3) 高齢者福祉			予算科目	3. 民生費
	基本施策	2 高齢者の社会参加、生きがいつくり活動の支援				1. 社会福祉費 2. 高齢者福祉費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位:円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
3,768,600				3,700,000		68,600
事業概要	町内に居住する70歳以上の高齢者及び障がい者に対し、道北バス無料乗車券を交付する。					
事業目的	高齢者における温泉入浴などによるリフレッシュの機会や買い物等の際の交通の利便性を高め、高齢者等の福祉の増進を図る。					
実施結果・現状	高齢者の保養センター利用等一定の効果があつた。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
年間利用者数 (単位:人)	目標値		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
	実績値		12,134	7,962			
	達成率		86.7%	56.9%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 一定 <input checked="" type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		例年延べ1万人以上の利用があるが、年々利用者は減少傾向にある。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		高齢者の温泉入浴等のリフレッシュ機会の創出することができる。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町内高齢者が白金方面にリフレッシュに行く機会が減少するが日常生活については大きな影響はないと考えられる。						
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で高齢者の社会参加、生きがいつくり活動支援と関連している。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	高齢者の対する他の施策についても効果・関連性がある。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
道北バスに委託していることから、他事業との統合の可能性は不可である。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	乗車人数、無料券発行数ともに減少しているが、高齢者等の交通手段確保及び福祉の増進に寄与している。						
課題	無料乗車券未発行者に対し、広報誌及び窓口来庁時等において、事業啓発を行う。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	患者輸送車運行事業			経費区分	政策的経費	
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり		担当課名	保健福祉課	
	基本目標	2. 地域福祉(1) 保健		予算科目	款	4. 衛生費
	基本施策	1 誰もが住み慣れた地域でともに暮らし続けることができる地域づくり			項	1. 保健衛生費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位:円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
676,171						676,171
事業概要	患者輸送車「ひまわりバス」に係る運行費用。 運行内容: 3路線(北瑛旭線・美田五稜線・藤野新星線) 2往復/日					
事業目的	スクールバス、道北バス空白地帯の地域住民の医療機関への交通手段を確保。					
実施結果・現状	新型コロナウイルス感染拡大のため、利用者が少なかった。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
年間利用件数 (単位:人)	目標値		1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	実績値		905	505			
	達成率		69.6%	38.8%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		ひまわりバス運行沿線住民の一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		公共交通機関空白地帯の地域住民の医療機関への交通手段を確保する必要がある。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	公共交通機関空白地帯の地域住民の移動手段が無くなる可能性がある。					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		高齢者福祉や保健・医療等の施策に関連する項目あり。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
スクールバス運行事業等との統合できる可能性あり。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	バスの運行等民間業者に委託できる可能性あり。						
町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	スクールバスや道北バスを利用することができない住民への交通手段として必要である。						
課善題策	新型コロナウイルス感染症による利用者減の影響もあり、例年以上の減少となったが、本事業は路線地先住民の貴重な交通手段のため、地域住民にも利用促進を図り事業の継続を維持する必要がある。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調査

1 事業内容

事業名	妊婦健診事業		経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり	担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1. 地域福祉(2) 児童福祉	予算科目	款	4. 衛生費	
	基本施策	3 子育て世帯への経済的負担の軽減		項	1. 保健衛生費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費(単位:円)	財源内訳					
4,177,431	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
				3,000,000		1,177,431
事業概要	①妊産婦・胎児の健康保持増進のため健診や個別支援を行う。 ②不妊治療費の一部助成を行う。					
事業目的	①早産・低出生体重児・妊娠糖尿病等のリスクを可能な限り回避し、母子の健康保持増進が期待できる。 ②不妊治療費の助成により、子どもを望む夫婦の負担軽減につながる。					
実施結果・現状	①全妊婦に対し、母子手帳交付時または転入時に受診券発行した。また相談の機会を設け母体の健康維持と胎児の健やかな発育に寄与できた。 ②北海道で実施の不妊治療費助成控除後に、申請者に対し不妊治療費の一部を償還払いにて助成した。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
妊婦健診受診率 (単位:%)	目標値		100	100	100	100	100
	実績値		100	100			
	達成率		100.0%	100.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		子育て世帯の経済的負担の軽減につながり、一定のニーズがある					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で安心して子どもを産み育てられる地域づくりが謳われ、町事業として妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で安心して子どもを産み育てられる地域づくりが謳われている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		類似事業がない 外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	受診券交付により全員受診できている。医療機関から受診結果が返送されるのは1カ月程度後になるため、妊婦相談等を通じたハイリスク者への個別支援が重要である。						
課題改善	妊婦健診受診実人数が妊婦全数を維持する。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	先天性股関節脱臼検診事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 とともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課	
	基本目標	1. 地域福祉 (2) 児童福祉			予算科目	款	4. 衛生費
	基本施策	1 安心して子どもを産み、育てられる地域づくり				項	1. 保健衛生費
		3 子育て世帯への経済的負担の軽減				目	2. 保健指導費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位: 円)	財 源 内 訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
284,950						284,950	
事業概要	先天性股関節脱臼検診の受診勧奨と費用助成を行う。						
事業目的	先天性股関節脱臼、臼蓋形成不全等の早期発見・早期治療により、乳幼児の成長発達の促進。						
実施結果・現状	町立病院の協力により、整形外科専門医による検診が実施できている。 事前予約をした検診日程の案内により、受診者全員が適切な時期に受診できている。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
対象者受診率 (単位: %)	目標値		100	100	100	100	100
	実績値		100	100			
	達成率		100.0%	100.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		子育て世帯から一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で安心して子どもを産み育てられる地域づくりが謳われ、町事業として妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	子育て世帯の経済的負担が加重となる					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で安心して子どもを産み育てられる地域づくりが謳われている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	施策にある一貫した子育てサポートの実施として、波及効果・関連性がある。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		類似事業がない					
	町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
評価意見	対象者全員、適切な時期に検診受診できている。						
課題	整形外科専門医による診察と検査実施を継続していく。						

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	ボランティアポイント事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1 誰もが住み慣れた地域でともに暮らし続けることができる地域づくり			予算科目	款	3 民生費	
	基本施策	2 地域福祉の担い手の育成				項	1 社会福祉費	
町長重点政策	「みんなでつくる」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
59,500						59,500		
事業概要	ボランティア活動の実績に基づき、ボランティアポイントを付与するとともに、当該ポイントに応じた商品券と交換する。							
事業目的	町民がボランティア活動を通して地域貢献することを支援し、地域での生活支援や介護予防の担い手となるボランティアの育成を行うとともに、社会参加活動を通じた生きがいづくりや地域での支え合い体制の構築を図る。							
実施結果・現状	ボランティアポイント登録者数は6名と少なく、また、対象としている活動はサロン活動が主で範囲が狭く、事業自体の認知度も低い。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位： )		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		活動を希望する方、支援を望む方の声は一定数ある。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		支え合いの体制を築いていくためには町事業が妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	地域での支え合い体制構築の鈍化を招く。						
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画の基本施策に地域福祉の担い手の養成が謳われている。						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		サロン事業や一般介護予防事業、地域福祉との関連性が高い。						
		他事業との統合の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		Beコイン事業のひとつとして実施。						
	町民参加	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		ボランティアセンターに運営を委託						
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当						
	ボランティアとして参画している。							
課題	新型コロナの影響でサロン活動の自粛があり、また、事業実施初年度であることも加え活発な活動には至らなかった。							
	事業自体の認知度が低いため積極的な周知が必要であり、また、何かしたいけどどうしたらいいかわからない人や空いた時間でできるボランティアをしてみたい人など、対象とする活動範囲を広げることで活発化させていきたい。							

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	緊急通報システム運営事業				経費区分		政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり				担当課名		保健福祉課	
	基本目標	1 高齢者が住み慣れた場所で生きがいをもって生活できる地域づくり				予算科目	款	3. 民生費	
	基本施策	7 在宅福祉サービスの充実					項	1. 社会福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり								
事業費(単位:円)	財源内訳								
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源			
335,762						335,762			
事業概要	ひとり暮らしの高齢者等宅に緊急通報装置と付属のペンダント、煙センサーを設置。緊急時には、装置またはペンダントのボタンを押すか煙センサーにより、自動的に消防に発信。消防へは事前に利用者情報を登録しているため状況確認し、必要時救急出動。								
事業目的	在宅ひとり暮らし高齢者等の生活不安の解消と緊急時の人命の安全確保。								
実施結果・現状	在宅生活の安心や安全の確保が図られている。								

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位: )		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		もしもの時の命綱としてニーズがある。						
		町事業としての妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		緊急時、高齢者の生命を守るため町事業が妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	高齢者の生活不安や緊急時の生命の危機につながる。							
	有効性	総合計画との関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		基本施策で在宅福祉サービスの充実を掲げている。						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	ひとり暮らし高齢者の地域生活を支える事業すべてに関連性、波及効果がある。							
	効率性	他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
		類似事業なし。						
外部委託等の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当			
民間でオペレーターを通しての通報システムがある。								
町民参加	町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input type="checkbox"/> 非該当		
	緊急時の協力員として登録いただいている。							
評価意見	緊急通報システムがあることで、安心した地域生活が可能になっている。							
課題改善策	現在活用しているシステム以外にも様々な機器があるため、新たな機能のある機器も検討の余地はあるが、ランニングコストは高い。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	訪問看護ステーション利用料軽減助成事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課		
	基本目標	1. 地域福祉(3) 高齢者福祉			予算科目	款	3. 民生費	
	基本施策	1 高齢者が住み慣れた場所で生きがいをもって生活できる地域づくり				項	1. 社会福祉費	
		7 在宅福祉サービスの充実				目	2. 高齢者福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
389,800				280,000		109,800		
事業概要	訪問看護事業の利用者負担に対して助成を行う。							
事業目的	訪問看護事業のサービスの継続を図るとともに利用者負担の軽減を図る。							
実施結果・現状	助成利用者数は増加しており、サービスの継続、負担軽減が図られている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位: )		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		利用者数は増加している。					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		訪問看護のサービス継続、利用者負担軽減のため町事業が妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当				
	有効性	利用者の経済的負担増につながる。					
		総合計画との関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
		総合計画の基本施策に在宅福祉サービスの充実が謳われている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	■高 □中 □低 □非該当				
	効率性	保健医療、障がい者福祉と関連性がある。					
		他事業との統合の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当				
		利用料軽減助成のため統合非該当。					
		外部委託等の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当				
	町民参加	利用料の軽減助成のため外部委託非該当。					
町民の参画		□実施 □要検討 □未実施 ■非該当					
評価意見	高齢者の在宅生活を支える事業であるため、訪問看護を利用しやすくすることで、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続していくことにつながっている。						
課題	引き続き利用者負担軽減のため支援継続が必要である。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続 □縮小
	□統合	□休止	□廃止 □完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。		

まちづくり委員会の意見	



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	認知症予防支援事業			経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	2 とともに支え合うまちづくり			担当課名		保健福祉課
	基本目標	1 高齢者が住み慣れた場所で生きがいをもって生活できる地域づくり			予算科目	款	3. 民生費
	基本施策	5 認知症の予防と支援				項	1. 社会福祉費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位：円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
22,920						22,920	
事業概要	美瑛町キャラバン・メイト連絡協議会を補助して、認知症の正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、手助けができる認知症サポーター養成、認知症の啓発や地域のネットワークづくり支援を行う。						
事業目的	認知症の方は環境変化に弱い特性があり、なじみの地域で安心して暮らし続けるため、認知症の理解者を増やし、地域の中で認知症の人やその家族を見守り支援を図る。						
実施結果・現状	新型コロナの影響で養成講座、普及啓発活動を自粛している。年々養成者数は頭打ちとなり減少してきている。サポーターの養成のみならず認知症カフェに力を入れ、9月より認知症カフェを常設化した。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
認知症サポーター養成者数 (単位：人)	目標値		80	80	80	80	80	
	実績値		82	22				
	達成率		102.5%	27.5%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		養成者数は減少しているが、認知症高齢者は減っていない。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		認知症高齢者は今後も増加していくため予防、支援、地域づくりが必要。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	認知症高齢者を取りまく環境の衰退につながる。							
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画の基本施策に認知症の予防と支援が謳われている。						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	地域福祉と関連性がある。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
		類似事業なし。						
	町民参加	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		美瑛町キャラバン・メイト連絡協議会に補助金を交付し活動している。						
町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当						
評価意見	キャラバン・メイトは町内高齢者関係事業所の専門職が参加している。							
課善題策	認知症カフェを常設化し月1回開催している。本人、家族支援の場として今後も継続し、認知症の方であっても住み慣れた地域でできる限り住み続けられる地域づくりを推進していく。							
課善題策	認知症サポーター養成延べ人数は1,500人を超え、頭打ちになってきており、新型コロナの影響もあり、普及啓発も含め活発な活動はできていない。養成講座の開催は基本の活動としてこれからも必要であるが、普及啓発、居場所、地域づくりが必要である。							

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	特定疾患患者交通費助成事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課	
	基本目標	1. 地域福祉(4) 障がい者福祉			予算科目	款	3. 民生費
	基本施策	2 障がい者の生活支援、就業支援、自立訓練に向けた環境づくり				項	1. 社会福祉費
		5 障がい福祉サービスの充実			目	3. 障害者福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
109,200						109,200	
事業概要	特定疾患認定患者が治療及びリハビリを受けるため、医療機関通院に要する交通費の助成を行う。						
事業目的	治療が困難な難病患者にとって、町外の医療機関に通院する際の交通費を助成することにより、積極的な治療につなぐことが期待できる。						
実施結果・現状	利用者数は減少傾向にあるが、特定疾患認定患者の交通費の助成をすることにより積極的な治療を支援することができた。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位: )		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 一定 <input checked="" type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		利用者数は減少しているが、今後もニーズはあると想定される。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		難病の積極的な治療につなげるため、町事業が妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	難病治療の減少となる可能性がある。							
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		他の交通費助成事業があるので、統合については要検討とする。						
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	事業内容上、外部委託は該当しない。							
	町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	評価意見	利用者数は減少傾向にあるが、特定疾患認定患者の交通費の助成をすることにより積極的な治療を支援することができた。						
課題改善策	特定疾患患者数の把握ができないので、広報及びホームページを活用し、事業の周知を行う。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	人工透析患者交通費助成事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	保健福祉課	
	基本目標	1. 地域福祉（4）障がい者福祉			予算科目	款	3. 民生費
	基本施策	2 障がいの生活支援、就業支援、自立訓練に向けた環境づくり				項	1. 社会福祉費
		5 障がい福祉サービスの充実			目	3. 障害者福祉費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費（単位：円）	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
305,720						305,720	
事業概要	人工透析のため、町外の医療機関へ通院する際の交通費の一部を助成することにより、経済的な負担軽減を行う。						
事業目的	治療の関係で、町外の医療機関に通院しなければならない患者に対し、交通費の負担を軽減することで、適した治療継続を促すことが期待できる。						
実施結果・現状	利用者数は増加傾向にあり、人工透析患者の交通費の助成により適した治療継続を支援することができた。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位： )		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		利用者数は増加傾向にあり、今後もニーズは高いと想定される。					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		継続的な治療につなげるため、町事業が妥当である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当				
	有効性	継続的な適した治療を行えなくなる可能性がある。					
		総合計画との関連性	□高 □中 □低 ■非該当				
		他施策に対する波及効果・関連性	□高 □中 □低 ■非該当				
	効率性	他事業との統合の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
		他の交通費助成事業があるので、統合については要検討とする。					
		外部委託等の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当				
	町民参加	事業内容上、外部委託は該当しない。					
		町民の参画	□実施 □要検討 □未実施 ■非該当				
	評価意見	利用者数は増加傾向にあり、人工透析患者の交通費の助成により適した治療継続を支援することができた。					
課題	対象者に対して、広報誌及び窓口への来庁時において、事業の周知を行っていく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		美瑛学推進事業			経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり			担当課名		文化スポーツ課	
	基本目標	3. 生涯学習（6）郷土学館			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	1 郷土への理解と愛着の醸成				項	2. 文化スポーツ振興費	
		2 多様な学習機会の提供				目	4. 郷土学館費	
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり						
事業費（単位：円）		財源内訳						
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
2,153,742					2,100,000		53,742	
事業概要		郷土の歴史、文化、自然について、本町ならではの価値や魅力を伝えていく。						
事業目的		より質の高い地域づくりに寄与する活動を行う。						
実施結果・現状		郷土への理解と愛着を育む生涯学習の機会を提供し、一定の評価が得られている。引き続き学習機会の提供を計り、本町の価値や魅力を高めていく。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
企画実施時のアンケートにおける満足度(5段階評価) (単位：点)	目標値		3.5	3.5	3.8	4	4
	実績値		4.6	4.4			
	達成率		131.4%	125.7%			
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		歴史・自然などについての学習ニーズは一定数ある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		まちづくりを行う上で重要である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	地域を学ぶ上で、休止・廃止は影響が大きい。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		郷土への理解と愛着を育む重要性は総合計画でも謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		まちづくりの人材育成や文化財保護等関連性は高い。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
公民館事業や十勝岳ジオパークとの関連が強い。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	本事業のみの外部委託は不可能である。						
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
	町民のニーズに基づいた事業を実施し、興味のある町民の方が参加されている。						
課題改善策	目標値を上回る評価となっており、引き続き町民のニーズに応じた事業展開を行う。						
	町民ニーズに沿った企画だけでなく、本町ならではの価値や魅力を伝える企画を提案し実行していくことで、新たなニーズの掘り起しを行っていく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	スポーツ団体の活動支援事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり			担当課名	文化スポーツ課	
	基本目標	3. 生涯学習(2) スポーツ・レクリエーション			予算科目	款	7. 商工費
	基本施策	2 人材・団体・指導者の育成				項	2. 文化スポーツ振興費
		3 人材・団体・指導者の育成				目	6. 保健体育総務費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位：円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
970,000				970,000			
事業概要	美瑛町内のスポーツ団体を総括し、スポーツの普及振興を図り、併せて町民の体力向上に寄与する。(スポーツ協会への補助)						
事業目的	スポーツ団体の育成と自主体制の確立を図る (1) 体育団体の育成と自主体制の確立 (2) 競技スポーツの活性化と指導者の確保 (3) スポーツ少年団の活性化と支援 (4) 自主活動スポーツ団体の育成・支援						
実施結果・現状	協会未加入団体に働きかけているものの、入会にはつながらなかった。継続して入会を促し、スポーツ普及振興を目指す。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ協会加入団体数 (単位：団体)	目標値		11	12	13	13	13
	実績値		11	11			
	達成率		100.0%	91.7%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツ振興への支援					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		一定の支援は必要である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツの衰退につながる。					
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツ・レクリエーションの活性化					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		特になし。					
	効率性	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		事業内容上、不可能である。					
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	事業内容上、該当しない。					
町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	スポーツ協会の主催事業実施						
課題改善策	チャレンジクラブへ各団体の協力や町民マラソン大会の開催など、町内のスポーツ普及振興に努めている。						
課題改善策	スポーツ競技人口の減少。 協会未加入団体に働きかけの徹底。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	町民スキーリフト助成事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり			担当課名	文化スポーツ課		
	基本目標	3. 生涯学習(2) スポーツ・レクリエーション			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	1 スポーツ、レクリエーションの活性化による健康づくり				項	2. 文化スポーツ振興費	
		1 スポーツ施設の有効活用と整備				目	6. 保健体育総務費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
1,852,868				1,200,000		652,868		
事業概要	道内スキー場の利用のリフト券代金のうち、1回(回数券。1日券)の購入につき、1,000円を上限に1人4回まで、シーズン券の場合は、1人4,000円を上限に助成する。							
事業目的	道内のスキー場を利用する場合に経済的負担の軽減が図られることにより、スキー場へ行く回数が増えることが見込まれ、本町におけるスキー・スノーボードなどウィンタースポーツの振興を図る。							
実施結果・現状	令和2年度より1人当たりの助成限度額を4,000円に増額した事や、新型コロナウイルス感染症の影響による屋外スポーツの需要が高まったことで、助成利用者数が増となった。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
道内スキー場リフト券購入者 申請人数 (単位:名)	目標値		600	700	700	700	700
	実績値		501	721			
	達成率		83.5%	103.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		助成額の増とコロナウイルス感染症の影響による屋外スポーツの需要により増加した。					
		町事業としての妥当性	□高 ■中 □低 □非該当				
		ウィンタースポーツを行う機会の負担軽減					
		事業休止・廃止による町民への影響	□高 ■中 □低 □非該当				
	有効性	スキー場利用者の負担増					
		総合計画との関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
		生涯スポーツの推進					
		他施策に対する波及効果・関連性	□高 □中 ■低 □非該当				
	効率性	特になし。					
		他事業との統合の可能性	□可能 □要検討 ■不可能 □非該当				
		事業内容上、不可能である。					
		外部委託等の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当				
	町民参加	事業内容上、該当しない。					
町民の参画		□実施 □要検討 □未実施 ■非該当					
評価意見	道内スキー場を利用する町民						
課改善策	新型コロナウイルス感染症により屋外スポーツの需要が高まったことや、助成額の増額により利用人数が増となり、目標値を達成した。						
	引き続き町民のニーズに合った事業展開を行い、ウィンタースポーツの振興を図る。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	□拡充 ■現状継続 □改善継続 □縮小 □統合 □休止 □廃止 □完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	宮様国際スキーマラソン			経費区分	その他の経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	文化スポーツ課		
	基本目標	4. 観光業(2)まつり・イベント			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	1 魅力あるイベントの創出				項	2. 文化スポーツ振興費	
	基本施策	1 満足度の高いイベントの創出				目	8. イベント推進費	
町長重点政策								
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
1,500,000			1,500,000					
事業概要	丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン大会の適正運営のため、主催者である丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン組織委員会に対し、事業経費の一部を補助する。(大会名:寛仁親王記念第44回丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン)							
事業目的	クロスカントリースキー人口の減少に伴い、今後において丘のまちびえい宮様国際スキーマラソンを継続して実施するため、道内他大会とのネットワークを形成し、誰もが参加しやすく歩くスキーに親しめる環境づくりと発展普及を目指す。							
実施結果・現状	令和2年11月24日に新型コロナウイルス感染拡大による大会の中止を決定し、代替事業を実施した。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
エントリー数 (単位:名)	目標値		800	900	900	900	900
	実績値		777	171			
	達成率		97.1%	19.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町内の歩くスキー愛好者への大会参加					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツ交流イベントとして構築					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツツーリズムに関連する商工業・農業との連携をもって事業を実施					
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツイベントを通じた関係(交流)人口への影響					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	誘客多角化の観点から他施策とのタイアップは可能					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		観光振興・スポーツ振興との調整					
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	事業の各業務セクションでの一部外部委託は可能					
町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	大会役員として町内の各関係団体より、協力をいただいている。						
	町内のスキーヤー人口の増加を図る取り組みとして、初めての方でも参加できる事業内容を盛り込み、今後のクロスカントリー人口の土台づくりと多くの方が参加いただけるよう周知に努めることができた。						
課題改善策	クロスカントリースキー人口を増加・定着させるため、「年齢・性別を問わず、誰もが参加しやすい環境づくり」、「歩くスキーに親しむ環境づくり」の普及を図る。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、事業を継続するとともに、外部委託など事務の効率性の検討や参加者の増加に向けた取り組みを検討すること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	美瑛センチュリーライド事業			経費区分	その他の経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	文化スポーツ課		
	基本目標	4. 観光業(2)まつり・イベント			予算科目	款	7. 商工費	
	基本施策	1 魅力あるイベントの創出				項	2. 文化スポーツ振興費	
	基本施策	1 満足度の高いイベントの創出				目	8. イベント推進費	
町長重点政策								
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
3,130,000			3,130,000					
事業概要	丘のまちびえいセンチュリーライド事業の適正運営のため、主催者であるNPO法人美瑛エコスポーツ実践会に対し、事業経費の一部を補助する。(大会名:第11回丘のまちびえいセンチュリーライド)							
事業目的	丘のまちセンチュリーライドが、秋のファンライドとして定着し、サイクリストが日常的にまちを訪れるような美瑛町型のサイクルツーリズムへの発展を目指す。							
実施結果・現状	令和2年6月11日に新型コロナウイルス感染拡大による大会の中止を決定し、代替事業を実施した。 (丘のまちびえいサイクルスタンプラリーの開催)							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
エンタリー数 (単位:名)	目標値		1,100	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績値		906	791			
	達成率		82.4%	65.9%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町内のサイクリストへのサイクリング環境の提供					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツ交流イベントとして構築					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツツーリズムに関連する商工業・農業との連携をもって事業を実施					
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		スポーツイベントを通じた関係(交流)人口への影響					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	誘客多角化の観点から他政策とのタイアップは可能					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		観光振興・スポーツ振興との調整					
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	事業の各業務セクションでの一部外部委託は可能					
町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	大会役員として町内の各関係団体より、協力をいただいている。						
	サイクリングを普及する環境は、本町の滞在型観光にも大きく結びついており、事業実施時には、町内の関係団体より大会役員として約500人のご協力もあり、地域活性化に大きく関わりを持っている。						
課善題策	サイクリストが本町のサイクリングや食、美しいロケーションが楽しめる拠点の整備と、地域と連帯した滞在型観光のツールとして展開し、日常的に取り組めるサイクルツーリズムを醸成する。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見
-------------



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	農業労務確保対策事業補助金			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	農林課	
	基本目標	1. 農業			予算科目	款	6. 農林水産業費
	基本施策	2 多様でゆとりのある農業経営				項	1. 農業費
		2-4 農業ヘルパー制度の推進			目	2. 農業振興費	
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり						
事業費 (単位：円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
4,383,000	950,000					3,433,000	
事業概要	施設野菜を中心とした農作業における労務の人材を町外に求め確保する。						
事業目的	農業労務の人材確保により農業経営の安定化を図る。						
実施結果・現状	他産地においても労働力を必要としている中で、32人の労務人材を確保し、25件の生産者に対してヘルパー派遣、39件（140.38ha分）の加工馬鈴薯収穫支援に結び付いた。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
労働力募集人員 (単位：人)	目標値		30	30	30	30	30
	実績値		26	32			
	達成率		86.7%	106.7%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		農地集積が進み1戸当たりの耕作面積が増加する中で、労働力の確保は重要な課題となっている。					
		町事業としての妥当性	□高 ■中 □低 □非該当				
		生産者に近い農協が実務を担い、町が支援する体制は妥当と考える。					
		事業休止・廃止による町民への影響	□高 ■中 □低 □非該当				
	有効性	総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		総合計画には、施設野菜や酪農の労働力確保に関して明確な位置付けがなされている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	■高 □中 □低 □非該当				
	効率性	労働力が確保されることで、高収益作物の振興に結び付けることができる。					
		他事業との統合の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
労働力確保は他産地においても同様の課題であるため、就業希望者の募集に関するワンストップ化は検討できる。							
町民参加	外部委託等の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当					
	生産者の実情に合わせた対応ができることが条件となるが委託は可能である。						
評価意見	町民の参画						
課善題策	町民の参画 □実施 □要検討 □未実施 ■非該当						
課善題策	コロナ禍において対面による募集活動に制限がある中で、目標値を達成する結果となった。半数は前年から継続した人材であり、これまでの受入態勢の充実化の効果が表れたものと考えられる。						
課善題策	依然として他地域との労務人材の取り合いは続くと推測され、これまで積み重ねてきた広報活動、受入環境の整備を継続する必要がある。また、単発的な仕事を求める人材とのマッチングを図るため、「1日農業バイト」の導入を進める。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続	□縮小
	□統合	□休止	□廃止	□完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	高収益作物振興対策補助事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり 1. 農業			担当課名	農林課		
	基本目標	1 収益性の高い農業の確立			予算科目	款	6. 農林水産業費	
	基本施策	1-3 産地化の推進				項	1. 農業費	
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
550,000						550,000		
事業概要	施設野菜のトマトを中心とした蔬菜の増反推進のため、設備（ポイラー、加温機）の導入費を助成する。							
事業目的	美瑛町のトマト産地の確立を図る。							
実施結果・現状	新たに2件の生産者が加温機を導入した。トマトの作付け面積は維持しているものの、目標値には達しなかった。なお、生産量に関しては、天候が比較的好天であったこともあり、前年同様の収量を確保できている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
トマトの作付面積 (単位：ha)	目標値		46.0	46.0	45.0	45.0	45.0	
	実績値		44.0	44.0				
	達成率		95.7%	95.7%				
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		新規就農者にトマト栽培を推奨しており、初期投資を抑えるための支援としてニーズがある。						
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		地域農業振興計画においてトマトの振興は位置付けられており、その支援を町が実施することは妥当。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	トマトの作付面積の維持に影響を与える。						
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画では、高収益作物の中心作物としてトマトの産地化を目指すことを位置付けている。他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	新規就農者を主とした担い手の育成事業と関連する面がある。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
他の助成事業との統合化は検討できる。								
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当						
	農協に対する補助事業として実施することが妥当である。							
町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
評価意見	増反には至っていないが、作付面積及び生産量は維持されている。							
課題	トマト栽培による新規就農者はいるが、居抜きにより営農を始めるケースが多く、結果的に増反には結び付かず、本事業の活用率も低い状況が続いている。産地化を進める上で効果的な支援方法について再考を検討する必要がある。							

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		農福連携事業		経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり		担当課名		農林課	
	基本目標	1. 農業		予算科目	款	6. 農林水産業費	
	基本施策	3 豊かさや活力のある農村づくり			項	1. 農業費	
		3-6 女性や高齢者の力を生かす農村づくり		目	2. 農業振興費		
町長重点政策		「未来につなぐ」まちづくり					
事業費 (単位:円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
166,000							166,000
事業概要		障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、社会参画を実現するとともに、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手を確保する。農業と福祉の連携に向けて、各関係機関との意見交換・先進地視察等を通して美瑛町にける農福連携を構築する (R3年度より具体的な事業に着手予定)。					
事業目的		意見交換・先進地視察等を通して、農業者側のニーズ (担い手不足を補う労働力)、福祉側のニーズ (職業選択の多様化、工賃向上、社会性の向上) が改善されていく。					
実施結果・現状		コロナ禍の影響で先進地視察は実施できなかったが、町内の農福連携事例及び福祉事業所への視察を行い、町内の農福連携に係る現状を共有し、次年度の事業化に向けた検討を進めた。また、次年度事業を周知するためのチラシを作成した。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
目標設定困難なため設定なし (単位: -)		目標値	-	-	-	-	-	
		実績値	-	-	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当					
		コロナ禍により町外からの農業労働力の確保はさらに難しくなっており、町内の多様な労働力の活用に対する期待は高まっている。						
		町事業としての妥当性	□高 ■中 □低 □非該当					
	有効性	当面、町が主導してモデル創出等を進めるべきだが、将来的には収益性が見込まれた段階で農協等の機関に主体を移すことが妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当					
		短期的な影響は見えづらいが、農業の労働力確保や障がい者の社会参画の実現において長期的には町民に多大な影響を与える。						
	効率性	総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当					
		「女性や高齢者の力を生かす農村づくり」で推進する多様な担い手の確保の一つとして重要な位置を占める。						
		他施策に対する波及効果・関連性	■高 □中 □低 □非該当					
	町民参加	本事業は産業施策に加えて地域施策としての効果も大きく、特に障がい者福祉施策に密に関連する。						
他事業との統合の可能性		□可能 □要検討 ■不可能 □非該当						
農福連携ですでに農業分野と福祉分野が連携しており事業の特殊性も高いため、他事業との統合は困難である。								
課改善	外部委託等の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当						
	農業者のマッチング等は農協、障がい者の作業訓練等は福祉事業所や農業振興機構に委託できる可能性がある。							
	町民の参画	■実施 □要検討 □未実施 □非該当						
検討委員会の構成員には農業者や福祉事業所職員が含まれており、事業の推進に町民が参画している。								
評価意見		今年度はコロナ禍の影響で先進地視察等の予定していた取組が実施できなかったが、代替として実施した町内視察等により、次年度の事業化に向けた検討は十分に進められており、今年度の事業目標は達成したと評価できる。						
課題		農福連携の取組の認知度は未だ低く、障がい者に対するイメージについても農作業の実施は難しいという固定観念が根強い。次年度以降の農福連携の取組を周知するとともに、取組の現場を見てもらうことでこれを解消する。						

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続	□縮小
	□統合	□休止	□廃止	□完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

--

## 令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

### 1 事業内容

<b>事業名</b>	美瑛小麦推進事業				<b>経費区分</b>	政策的経費		
<b>総合計画</b>	<b>分野別</b>	1 足腰の強い産業づくり			<b>担当課名</b>	農林課		
	<b>施策</b>	1. 農業				<b>予算科目</b>	<b>款</b>	6. 農林水産業費
	<b>基本目標</b>	1 収益性の高い農業の確立					<b>項</b>	1. 農業費
<b>基本施策</b>	1-6 計画的な産地銘柄の確立			<b>目</b>	2. 農業振興費			
<b>町長重点政策</b>	「未来につなぐ」まちづくり							
<b>事業費</b> (単位：円)	<b>財 源 内 訳</b>							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
113,000						113,000		
<b>事業概要</b>	町内の生産者と実需者による、美瑛産小麦のブランド化、相互理解、魅力発信等に取り組み、美瑛産小麦のPR及び普及を図る。							
<b>事業目的</b>	美瑛産小麦に関わる生産者から町内事業者が連携することで、広域のかつ各現場の実態・需要に応じた対応ができる。							
<b>実施結果・現状</b>	コロナ禍により町内事業者向け小麦講習会等の取組は実施できなかった。代替として、事業者への認証制度の立ち上げや地理的表示(GI)保護制度への登録に向けた準備等を実施し、次年度以降の事業展開に向けた町内の足場固めを進めた。							

### 2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
美瑛選果における美瑛産小麦100%小麦粉の販売量 (単位：kg)	目標値	-	30,000	31,000	32,000	33,000		
	実績値	-	29,924	/	/	/	/	
	達成率	-	99.7%	/	/	/	/	
<b>1次評価 担当課</b>	<b>必要性</b>	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		美瑛産小麦のブランド化に係る要望は生産者、実需者ともに大きい。						
		町事業としての妥当性		<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		小麦の販売については農協の販売戦略、加工については実需者の小売販売であるため、町主導ではなく農協や実需者が主体となるべきである。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	町としての事業を廃止しても農協や実需者、DMO等が主体となり、取組が継承されることが想定される。							
	<b>有効性</b>	総合計画との関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		「計画的な産地銘柄の確立」に向けた生産体制に必要な販売先の確保に寄与する。						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	商工業・観光業施策との関連性が高く、町内消費の活性化につながる。							
	<b>効率性</b>	他事業との統合の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		DMO事業との統合は可能である。						
外部委託等の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当			
農協やDMO等への委託は可能である。								
<b>町民参加</b>	町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input type="checkbox"/> 非該当		
協議会の委員には町内事業者や小麦生産者が含まれ、町内事業者へのアンケートも実施しており、事業の推進に町民が参画している。								
<b>評価意見</b>	今年度はコロナ禍により、イベント等の取組が実施できなかったが、代替として認証制度の立ち上げ等、町内の足場固めを十分に実施できたことから、次年度以降に事業を大きく展開し、成果をあげられることが期待できる。							
<b>課題改善策</b>	事業の担い手が不明瞭である点があるため、各関係機関との連携を強め、それぞれの役割を明確にしながら進める。							

#### 2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

<b>評価結果</b>	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
<b>評価意見</b>	引き続き、効率的な事業展開を継続することとともに、町事業としての妥当性について改めて検討すること。			

#### まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	森林環境保全整備事業			経費区分	投資的経費			
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり			担当課名	農林課		
	基本目標	2. 林業			予算科目	款	6. 農林水産業費	
	基本施策	3 町有林の整備				項	3. 林業費	
		1 造林の推進と森林資源の循環利用				目	2. 町有林管理費	
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
26,679,445		12,254,074			2,145,000	12,280,371		
事業概要	森林環境保全整備事業補助を活用し育成単層林、育成複層林、長期育成循環整備を計画的に行うため、下刈、植付け、準備地拵え、保育間伐、殺鼠剤散布を実施する。							
事業目的	美瑛町森林経営計画に基づき造林事業及び造林後の苗木保護を実施することで、継続可能な林業の確立と森林資源の循環利用を図る。							
実施結果・現状	植付10.65ha、保育間伐12.36ha、準備地拵10.23ha、下刈り63.51ha、殺鼠剤散布72.98ha及び被災地再造林に特殊地拵8.98haの合計178.71haに森林整備事業を実施							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
森林整備面積の確保 (単位：ha)	目標値		183.52	183.85	173.97		
	実績値		183.52	178.71			
	達成率		100.0%	97.2%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		・森林整備の施業面積に対して、事業量増の要望がある					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		・町有林に対する森林整備事業のため					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当				
	・森林資源の供給や施業量減は、雇用などに大きく影響						
	有効性	総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		・総合計画で「造林の推進と森林資源の循環利用」が謳われている					
		他施策に対する波及効果・関連性	□高 □中 ■低 □非該当				
	・町有林のみの森林整備事業なことから、他施策との関連性は低い						
	効率性	他事業との統合の可能性	□可能 □要検討 ■不可能 □非該当				
		・森林経営計画に基づいた事業計画のため、不可能だが類似事業との共同実施は可能性が有る					
		外部委託等の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
	・森林施業は外部に発注しているが、計画作成について委託は可能だが費用面など検討が必要						
町民参加	町民の参画	□実施 ■要検討 □未実施 □非該当					
・森林経営計画の施業計画作成時に専門知識を有した方などからの意見聴取は検討可能							
評価意見	概ね計画どおりに造林事業は施業出来ているが、コロナ禍の影響から木材市況が低迷しており、伐採計画の見直しが必要						
課題	木材需要を拡大するための対策について、検討が必要						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続 □縮小
	□統合	□休止	□廃止 □完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。		

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	空き家等解体支援事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	建設水道課		
	基本目標	1. 都市計画(2)住宅環境			予算科目	款	8. 土木費	
	基本施策	2 だれもが安全安心に住み続けることができる住生活の安定確保				項	1. 土木管理費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
400,000				400,000				
事業概要	特定空き家等に指定された廃屋又は、用途地域内に存在する空き家で建築後40年を経過した住宅の解体に係る費用の一部について補助を行う。							
事業目的	危険家屋又は景観、環境に悪影響を及ぼす空き家の長期放置を防ぎ、早期の解体撤去を促すことができるため景観や環境の保全が期待できる。							
実施結果・現状	目標には届かなかったが、問い合わせも多く需要を見込める。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
年間除去数 (単位:件)	目標値		5	5	5	5	5
	実績値		2	1			
	達成率		40.0%	20.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		毎年5件以上の問い合わせは受けている。					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		住環境の整備や土地の流動化を図り、定住の促進につながる。					
		事業休止・廃止による町民への影響	□高 ■中 □低 □非該当				
	有効性	空き家が増える事による、住環境の悪化が懸念される。					
		総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		良質な街並み空間の形成の1つとして上げられるため、関連性はある。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
		土地の流動化を図る事で、定住の促進等の効果がある。					
他事業との統合の可能性		□可能 □要検討 ■不可能 □非該当					
町民参加	事業内容上、独立している方が望ましい。						
	外部委託等の可能性	□可能 □要検討 ■不可能 □非該当					
評価意見	町からの直接補助での実施が望ましい。						
	町民の参画	□実施 □要検討 □未実施 ■非該当					
課善題策	個人への補助のため、町民の参画はない。						
	上記の通り、目標には届かなかったが、毎年目標値程度の問い合わせがあり、需要があるため、事業継続していく必要がある。						
	広報やホームページ等でのPRに工夫をしつつ、周知を図っていく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	町民のニーズが増加傾向にあることから、引き続き効果的な方法で事業の周知を図り、効率的な事業展開に努めること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	街路樹等景観整備事業			経費区分	政策的経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	建設水道課
	基本目標	1. 都市計画(1)都市計画			予算科目	8. 土木費
	基本施策	2 うるおいのある街並み空間形成				2. 道路橋梁費
		3 良質な街並み空間の形成・維持				1. 道路維持修繕費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費(単位:円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
3,340,700				3,340,000		700
事業概要	美瑛町街路樹等景観整備計画に基づき、地域住民と協力し合い、街路樹の植栽・剪定・維持管理を行う。					
事業目的	街路樹のみどりを維持・再生する事により、町民及び本町を訪れる多くの人々に潤いや安らぎを与える市街地景観を創出する。					
実施結果・現状	旭東通り線の樹木剪定及び鉄西中央通り線の植栽を実施したが、剪定が必要な街路樹(路線)は数多く残っている状況である。					

2 事業評価

評価指標	年度	R1	R2	R3	R4	R5	
街路樹の剪定等  (単位:本)	目標値	剪定69 抜根25 植栽58	剪定120 抜根10 植栽35	剪定120 抜根10 植栽35	剪定120 抜根10 植栽35	剪定120 抜根10 植栽35	
	実績値	剪定69 抜根52 植栽31	剪定81 抜根12 植栽14				
	達成率	剪定100% 抜根208% 植栽53%	剪定68% 抜根120% 植栽40%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ		■増加	□一定	□減少	□非該当
		年々成長する街路樹に対し、剪定の要望は高まっている					
		町事業としての妥当性		■高	□中	□低	□非該当
		街路樹等景観整備計画に基づいた対応を行う事により、街路樹景観が守られている。					
	有効性	事業休止・廃止による町民への影響		□高	□中	■低	□非該当
		街路樹の適切な維持管理・再生が出来なくなる。					
		総合計画との関連性		□高	□中	■低	□非該当
	効率性	良質な街並み空間の形成の1つとして上げられるため、関連性はある。					
		他施策に対する波及効果・関連性		□高	□中	□低	■非該当
		他施策との関連なし。					
町民参加	他事業との統合の可能性		□可能	□要検討	■不可能	□非該当	
	美瑛町街路樹等景観整備計画を定めているため、独立していた方が好ましい。						
	外部委託等の可能性		□可能	■要検討	□不可能	□非該当	
評価意見	限られた予算の中での事業執行であったため、目標達成に至らなかった。						
課題改善策	予算の範囲内で町民ニーズに対応するため、計画的に事業を進めていく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価				
評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続	□縮小
	□統合	□休止	□廃止	□完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	赤羽下宇莫別線 道路改良舗装事業			経費区分	投資・政策的経費		
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	建設水道課	
	基本目標	1. 都市計画(3)道路・橋梁			予算科目	款	8. 土木費
	基本施策	1 安全で利便性の高い道路・橋梁の整備と維持管理				項	2. 道路橋梁費
	基本施策	1 災害に強い交通体系の整備				目	2. 道路新設改良費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
29,469,000			28,000,000			1,469,000	
事業概要	近年、観光スポットとして紹介され観光客が訪れるようになったが、現道は未改良で幅員も狭く農作業に支障をきたしており、これらを解消するため整備を行う。 全体延長:L=1,900m W=4.0m (5.5) H25~R7予定						
事業目的	安心安全な通行を確保し農作業効率の向上を図ると共に、観光客の安全も確保する。						
実施結果・現状	R2 改良L=160m、舗装L=305m (H25~R1 用地測量・実施設計、概略設計、改良L=624.7m、舗装L=429.7m)						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
全体事業費に対する進捗率 (単位:%)	目標値		34.1	44.6	55.4	66.4	77.4
	実績値		33.6	44.4			
	達成率		98.5%	99.6%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		地域住民の要望により、実施している。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		生活や産業振興に欠かせない社会基盤であり、町で実施するのが妥当。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	社会基盤の整備が遅れることにより、地域の生活や物資の搬送等に影響を及ぼす。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で、安心して快適に利用できる道路空間づくりが謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		道路は基本的な社会基盤であり、その整備が進むことによる他施策への影響は大きい。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
事業内容上、統合は該当しない。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	工事については、業者へ委託を行っている。						
町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	計画通りの整備を実施した。						
課題	早期完成に向けて事業を進めていく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	新星第1線道路改良舗装事業			経費区分	投資・政策的経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	建設水道課
	基本目標	1. 都市計画(3)道路・橋梁			予算科目	8. 土木費
	基本施策	1 安全で利便性の高い道路・橋梁の整備と維持管理				2. 道路橋梁費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費(単位:円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
11,974,581			11,900,000			74,581
事業概要	新栄新星線と美馬牛新星線とを結ぶ未改良道路であり、降雨時や融雪機において悪路になり作業機械の通行に支障をきたしているため、改良舗装を実施する。 全体延長L=670m W=4.0m (5.0) H26~R5予定					
事業目的	安心安全な通行を確保し、農作業効率の向上を図る。					
実施結果・現状	R2 改良L=42m 用地測量・実施設計L=670m 用地買収 (H26 概略設計L=670m)					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
全体事業費に対する進捗率 (単位: %)	目標値	—	25.8	38.7	65.7	100	
	実績値	—	11.6				
	達成率	—	45.0%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する住民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		地域住民の要望により、実施している。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		生活や産業振興に欠かせない社会基盤であり、町で実施するのが妥当。					
		事業休止・廃止による住民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	社会基盤の整備が遅れることにより、地域の生活や物資の搬送等に影響を及ぼす。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で、安心して快適に利用できる道路空間づくりが謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		道路は基本的な社会基盤であり、その整備が進むことによる他施設への影響は大きい。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
事業内容上、統合は該当しない。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	工事については、業者へ委託を行っている。						
評価意見	町民の参画						
課善題策	目標の進捗率には至らなかったが、地域住民と協議を行いながら実施設計を行い事業の進め方を決定することができた。また、早急に整備しなければならない箇所について整備することができた。						
改善策	事業計画が整ったため、早期完成に向けて事業を進めていく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	藤野協成線道路舗装事業			経費区分	投資・政策的経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	建設水道課
	基本目標	1 安全で利便性の高い道路・橋梁の整備と維持管理			予算科目	8. 土木費
	基本施策	1 災害に強い交通体系の整備				2. 道路橋梁費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位：円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
18,590,000			18,500,000			90,000
事業概要	藤野地区と美沢地区を結ぶ町道で、主に農業生産に利用されており郊外でも交通量の多い路線である。未舗装であることで農作業車の交通に支障をきたしているため防塵処理を実施する。 全体延長3,100m W=4.0m (5.5) H29～R5予定					
事業目的	防塵処理により、大型車を含む通行の安全を確保するほか、農産物出荷時の荷痛みを抑え、生産性向上に寄与する。					
実施結果・現状	R2 改良舗装L=600m (H29～R1 改良舗装L=900m)					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
全体事業費に対する進捗率 (単位：%)	目標値		27.7	46.2	64	83.2	100
	実績値		27.0	44.8			
	達成率		97.5%	97.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		地域住民の要望により、実施している。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		生活や産業振興に欠かせない社会基盤であり、町で実施するのが妥当。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	社会基盤の整備が遅れることにより、地域の生活や物資の搬送等に影響を及ぼす。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で、安心して快適に利用できる道路空間づくりが謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		道路は基本的な社会基盤であり、その整備が進むことによる他施設への影響は大きい。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
町民参加	事業内容上、統合は該当しない。						
	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	工事については、業者へ委託を行っている。						
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
課題	計画通りの整備を実施した。						
改善策	早期完成に向けて事業を進めていく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		交通安全施設整備事業		経費区分		その他の経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり		担当課名		建設水道課	
	基本目標	5. 交通（2）交通安全		予算科目	款	8. 土木費	
	基本施策	1 交通事故ゼロのまちづくり			項	2. 道路橋梁費	
		1 安全な道路環境の整備			目	5. 交通安全施設費	
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位：円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
14,083,095							14,083,095
事業概要		交通安全施設の設置・更新及び冬期間の焼砂散布など通年の交通安全対策を行う。					
事業目的		交通事故の未然防止を図る。					
実施結果・現状		破損、老朽化した警戒・案内標識や区画線表示、防護柵の更新及び、スノーポールの設置、冬期間の焼砂散布やロードヒーティング管理を実施した。交通事故の防止を図っているが、依然として更新を必要としている交通安全施設は多く残っている。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
— (単位： )		目標値	—	—	—	—	—	
		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		行政区要望や一般の情報提供は一定量ある状況。						
		町事業としての妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		町道内での交通事故を未然に防ぐため、町事業が妥当。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	交通事故の多発につながる。						
		総合計画との関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		道路の基本的な施設管理であるため、関連性が低い						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	道路の基本的な施設管理であるため、関連性が低い						
		他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		事業内容上、独立している方が望ましい						
	町民参加	外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		事業内容上、直営実施が妥当						
町民参加		町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
評価意見		限られた予算の中での事業を執行しており、町道上での交通事故の未然防止に寄与している。						
課改善 題策		予算の範囲内で町民ニーズに対応するため、計画的に事業を進めていく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止
評価意見	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 完了	
	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。		

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	街路灯LED化事業			経費区分	投資・政策的経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名	建設水道課
	基本目標	1 安全で利便性の高い道路・橋梁の整備と維持管理			予算科目	8. 土木費
	基本施策	1 災害に強い交通体系の整備				2. 道路橋梁費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位：円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
8,987,580			8,900,000			87,580
事業概要	街路灯の灯具LED化等を含めた施設の更新を行う。					
事業目的	安全安心な都市環境の形成が期待できる。					
実施結果・現状	令和元年度から6年度までの6か年の計画事業。令和2年度までの2か年で2割完了、今後年次計画により完了を目指す。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
全体事業費に対する進捗率 (単位：%)	目標値		11.2	20.9	40.9	60.8	80.7
	実績値		10.8	19.9			
	達成率		96.4%	95.2%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		夜間の生活環境として一定のニーズがある					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		夜間の生活環境の向上として町事業が妥当。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	既存の街路灯があることから直接的な影響は低い					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		うるおいと安らぎのある道路空間の創出					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町内会への補助事業と整合図る中で関連は多少ある					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		事業内容上、独立している方が望ましい					
	町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		財源の確保上、防犯協会への補助事業として実施することが望ましい					
評価意見	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	街灯施設の更新事業であるため、町民の参画はない。						
課改善	計画通りの整備を実施した。						
課題	建設事業等実施計画に基づき、年次計画による事業の進捗管理を行う。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		公園施設長寿命化点検事業			経費区分		その他の経費	
総合計画	分野別策	4 安全・安心なまちづくり			担当課名		建設水道課	
	基本目標	1. 都市計画（4）公園・緑地			予算科目	款	8. 土木費	
	基本施策	2 地域の個性を生かし、遊びを創造できる安全な公園の整備				項	4. 都市計画費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費（単位：円）		財源内訳						
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
880,000							880,000	
事業概要		公園の遊具施設の劣化及び損傷状況を確認するために、専門技術者による定期点検を実施するとともに、今後の修繕対策の資料とする。						
事業目的		専門技術者による点検を実施することで、利用者の安全確保が図られる。						
実施結果・現状		都市公園のうち、遊具施設のある20公園すべての遊具の点検を実施し、老朽化が進んでいる遊具の修繕を進めた。（※修繕は別事業）						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
公園の遊具施設の点検率 (単位：%)		目標値	100	100	100	100	100	
		実績値	100	100				
		達成率	100.0%	100.0%				
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		公園利用者の安全を図るうえで、必要な事業。						
		町事業としての妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		公園や緑地は、憩い・交流の場として重要な役割を果たしており、町で実施するのが妥当。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	総合計画との関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		総合計画の中で、憩いとうるおいを与える公園の再整備などが謳われている。						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
		事業内容上、統合は該当しない。						
外部委託等の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当			
町民参加	専門業者に委託を行っている。							
	町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
評価意見		公園のすべての遊具施設の劣化及び損傷状況について、点検を実施した。						
課題		利用者の安全確保のため、継続して専門業者により遊具の点検を行う。						

2次評価（評価検討委員会）		※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小	
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了	
評価意見		引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	アグリパートナー協議会負担金		経費区分	その他の経費		
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり	担当課名	農業委員会		
	基本目標	1. 農業	予算科目	款	6. 農林水産業費	
	基本施策	4 担い手の育成及び確保		項	1. 農業費	
町長重点政策	「未来につなぐ」まちづくり					
事業費 (単位：円)	財源内訳					
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
500,000						500,000
事業概要	町が美瑛町農業協同組合と連携し、町単独による各種アグリパートナー協議会事業を行う。					
事業目的	出会いの場を創出するとともに農業者及び農業後継者向けの研修会を実施することで、結婚観の醸成や農業経営体の維持・育成についても期待できる。					
実施結果・現状	新型コロナウイルス感染防止のため、当初計画から4事業を中止したが、代替事業等各種事業や専任職員の結婚相談が好評を博し、目標値を達成することができた。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
成婚件数 (単位：件)	目標値		7	7	7	7	7
	実績値		8	8			
	達成率		114.3%	114.3%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		各事業に対して関心は高いが、事業の性質上一定の状況である。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		各種事業を直接運営する事により公平な出会いの場を提供する事ができるため。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	農業後継者の出会いの場が減少し、町の農業振興の減退につながる。					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で、農業後継者の育成及び新規就農対策の推進が謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		担い手及び農業後継者の育成による農業振興につながる。					
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
町民参加	事業内容上、統合は該当しない。						
	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	事業内容上、外部委託は不可能である。						
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
	当協議会及び事業参加者は町民で構成されている。						
課題改善策	当初計画していた交流事業について、新型コロナウイルスの感染防止対策により内容の見直しや規模縮小する事で一部を開催し、出会いの場の創出につながった。						
	次年度についても、ウィズコロナに対応しつつ美瑛町農業協同組合などの関係機関と連携を図り、事業展開していく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		農業後継者結婚相談事業		経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	1 足腰の強い産業づくり		担当課名		農業委員会	
	基本目標	1. 農業		予算科目	款	6. 農林水産業費	
	基本施策	4 担い手の育成及び確保			項	1. 農業費	
		4-1 農業後継者の育成及び新規就農対策の推進		目	1. 農業委員会費		
町長重点政策		「未来につなぐ」まちづくり					
事業費 (単位:円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
2,701,494							2,701,494
事業概要		農業の担い手対策として、農業者及び農業後継者の配偶者確保を目的に、専任の結婚相談員を配置し、アグリパートナー事業における各種イベント業務や個人登録者の加入促進及び結婚相談などを行う。					
事業目的		専任職員の配置により、農業者及び農業後継者へのよりきめ細やかな対応が促進され、アグリパートナー協議会事業への相乗効果も期待できる。					
実施結果・現状		独身農業者への訪問件数は減少したものの、農業者が委員会へ来会される件数やメール、電話による相談は増え、事業の前後に限らず相談員にアドバイスを求める場面が多く見られるようになった。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
相談件数 (単位:件)	目標値		120	120	120	120	120	
	実績値		82	132				
	達成率		68.3%	110.0%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		相談件数も増えており関心が高いが、事業の性質上一定の状況である。						
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		相談内容には個人情報が多いため、町の事業が妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	相談相手や機会が無くなる事により、町の農業振興等の減退につながる。						
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画の中で、農業後継者の育成及び新規就農対策の推進が謳われている。						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		担い手及び農業後継者の育成による農業振興につながる。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民参加	事業内容上、統合は該当しない。						
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		事業内容上、外部委託は不可能である。						
評価意見	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
課善題策	新型コロナウイルスの影響から訪問による相談件数は減少したが、来会件数の増加により目標達成する事ができた。また、電話やメール等の相談が増えていることや結婚後においても結婚相談員との信頼関係が構築されていることから、事業に対するニーズが高いと考える。							
	引き続き新型コロナウイルス感染対策に配慮しながら、結婚希望者のニーズの把握ときめ細かな対応に努める。また、近年増えている結婚後の相談についても対応する事により後継者の育成に努める。							

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	教育助手管理事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	1 確かな学力の育成				項	1. 教育総務費
		1 確かな学力を育む教育の推進				目	2. 事務局費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
8,005,236						8,005,236	
事業概要	通常学級に在籍する配慮が必要な児童生徒への指導、多人数学級におけるグループに分かれたきめ細かな少人数指導を支援し、学習面・生活面に配慮した教育活動を行うため通常学級に教育指導助手の配置し、T T方式による授業を行う。						
事業目的	児童生徒のニーズに合わせた教育活動を行い、質の高い学級運営を目指す。						
実施結果・現状	配慮が必要な児童生徒への指導や、グループに分かれたきめ細かな少人数指導の実践により、質の高い配慮の行き届いた学級運営を進めることができている。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位:人)		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		配慮が必要な児童生徒は必ずおり、教職員の定数の条件が変わらない限り、今後も一定のニーズは必ずある。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		国の教職員の定数のみの人数では、現場でのきめ細かな教育活動は困難であり、町事業として配置基準を基に学校事情に合わせた配置が必要である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		児童生徒の教育環境の低下につながる。						
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画の中で、確かな学力を育む教育の推進が謳われている。						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	将来の町を担う子供たちのより良い教育環境での成長が全ての町の施策に波及する。						
		他事業との統合の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		「教育専門員管理事業」や教育委員会所管の雇用関係の事業との統合は可能である。						
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	町民参加	人材派遣会社等が対応可能であれば、町での給与等の事務処理軽減につながる。						
町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
評価意見	学習面におけるきめ細かな指導や、配慮が必要な児童生徒と周りの子どもたちとの関係に配慮することができ、質の高い学級運営を実践したことにより、児童生徒たちの学習面、行動面での成長を促すことができた。							
課題	今後も、配置基準の見直しも現状に合わせ検討し、子供たちの教育環境の向上を目指していく。さらに小1プロブレム、中1ギャップ等の問題等の解決に向けた取り組みも併せて実施できるよう進めていく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	質の高い学級運営を進める中で必要かつ重要な事業であることから、引き続き、課題の解決策を検討し事業を継続すること。

まちづくり委員会の意見

--



## 令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

### 1 事業内容

総合計画	事業名	英語指導助手（ALT）管理事業			経費区分	政策的経費	
	分野別策	3 まちを動かす人づくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育（1）学校教育			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	1 確かな学力を育む教育の推進				項	1. 教育総務費
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり					
事業費 (単位：円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
3,767,308							3,767,308
事業概要		平成2年度よりJETプログラムを活用し外国語指導助手を招致し、中学校の英語科の授業を中心に教科担当とともにTT方式により授業を行っている。					
事業目的		英語指導助手（ALT）の派遣を行うことで、外国語教育及び国際理解教育等の充実・改善を図るとともに、外国語によるコミュニケーション能力と豊かな国際感覚を身につけた児童生徒の育成に資する。					
実施結果・現状		ALTの招致により、外国語教育におけるコミュニケーション能力の育成や、外国の文化や歴史、習慣といった学習が可能となり、国際的な感覚を持つ子どもが育成される。また、外国人と接しネイティブな発音に触れることは、児童生徒にとって大変貴重な機会であり、外国語学習に対する興味や、学ぶための意識の向上に効果的である。					

### 2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
英語の勉強が好きな割合。 (単位：%)	目標値		50	50	50	50	50	
	実績値		48.7	53.2	/	/	/	
	達成率		97.4%	106.4%	/	/	/	
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		グローバル化が進展し、外国語によるコミュニケーション能力が求められており、ニーズも高い。						
		町事業としての妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		児童生徒の育成のために、町単独事業として実施すべき事業である。						
		事業休止・廃止による町民への影響		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	総合計画との関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		基本施策「確かな学力を育む教育の推進」と関連性がある。						
		他施策に対する波及効果・関連性		<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	他事業との統合の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		「小学校国際交流の語学指導事業」との統合を検討						
外部委託等の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当			
町民参加	町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
	(JETプログラムを利用した外国人の招致であり、該当なし。)							
評価意見		英語教育におけるコミュニケーション能力の育成や、外国の文化や歴史、習慣といった学習が可能となり、国際理解教育の推進が図られた。						
課善題策		今後も英語教員の補助としての教科指導及び教材作成や、課外活動における英語指導、町内の英語会話指導、土曜学習事業の講師など幅広く活用を図り、外国語への興味を高めていく。						

2次評価（評価検討委員会）		※令和4年度実施に向けた評価			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了				
評価意見	今後、類似する小学校国際交流の語学指導事業の統合を検討するなど、引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。				

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	教職員研修事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育(3) 教育環境整備			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	3 職員の資質向上				項	1. 教育総務費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
7,568						7,568	
事業概要	年3回の町内教職員及び関連する団体(町福祉課、保育園、幼稚園職員)合同で研修会を開催する。また、教職員の自己啓発や業務課題の解決をするための先進地視察を実施する。						
事業目的	教育公務員特例法第21条の規定により、「教職員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」となっており、教育行政の高度化、児童生徒・保護者ニーズの多様化に的確に応えられる教職員を育成するため、研修を実施する。						
実施結果・現状	コロナウイルス感染症対策のため、多人数の集まる研修会については中止することとなった。また、先進地視察についても他市町村との往來を自粛したため、実績としては0件となった。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
夏冬等教職員研修会参加人数 (単位:人)	目標値		200	210	220	230	240
	実績値		188	0			
	達成率		94.0%	0.0%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		教育行政へのニーズの多様化は今後も高まっていく。					
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		美瑛町の教職員としての意識付け責任感を持たす上でも町事業での実施は必要である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	教職員の育成を目的とした研修を行わなければ、教育の質の低下につながる。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中で、教職員の資質向上が謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		総合計画の中であげられている教育に関する施策全般に波及している。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		他の人事管理の事業との統合は検討することができる。					
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	外部委託が対応できる業者がいれば、事業を委託することは問題ない。						
町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	町の職員研修は開催を中止したが、教職員による個々の研修会等への参加により、コロナ禍の中でも最低限の資質向上を図ることができた。						
課題改善	コロナウイルス感染症対策を講じつつ、より受講しやすい環境を整える。また、効率的かつ効果的な研修機会の提供を目指し、児童生徒へ高度な教育の提供及び保護者とのより良い関係づくりを生み出す環境を作っていく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		教育専門員管理事業		経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり		担当課名		管理課	
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育		予算科目	款項	10. 教育費	
	基本施策	1 確かな学力の育成				1. 教育総務費	
		1 確かな学力を育む教育の推進				2. 事務局費	
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり					
事業費(単位:円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
24,482,074							24,482,074
事業概要		特別支援学級在籍の児童生徒への個別指導及び通級指導教室への支援を行う。学校教育アドバイザーについては、学校での教育課題への指導、助言を行う。					
事業目的		特に支援を必要とする児童生徒のニーズに合わせた教育活動を行い、質の高い学級運営を目指す。					
実施結果・現状		様々な特性を持つ特別支援学級在籍の児童生徒に対し個別支援を実施することにより、個別ケースに対応した質の高い配慮の行き届いた学級運営を進めることができた。また、学校教育アドバイザーによる、昨今の教育改革に対する町の取組の検討、各校の教育課題への取組みに対する支援などが図られた。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
—		目標値	—	—	—	—	—	
(単位:人)		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ		<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 一定	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 非該当	
		配慮が必要な特性を持つ児童生徒は増えており、今後もニーズの増加が見込まれる。						
		町事業としての妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		国の教職員の定数のみの人数では、現場でのきめ細かな教育活動は困難であり、町事業として配置基準を基に学校事情に合わせた配置が必要である。						
	有効性	事業休止・廃止による町民への影響		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		児童生徒の学校運営の低下につながる。						
		総合計画との関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		総合計画の中で、「特別支援教育の充実」が謳われている。						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	<input type="checkbox"/> 非該当	
		将来の町を担う子供たちのより良い教育環境での成長は全ての町の施策に波及する。						
		他事業との統合の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		「教育助手管理事業」や教育委員会所管の雇用関係の事業との統合は可能である。						
	町民参加	外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 不可能	<input type="checkbox"/> 非該当	
		人材派遣会社等が対応可能であれば、町での給与等の事務処理軽減につながる。						
評価意見	町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 要検討	<input type="checkbox"/> 未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
	学校教育アドバイザーは、各校の教育改革に対する取組への相談・支援を行うことで、課題解決に貢献できた。特別支援教育専門員は、特別支援学級や通級指導教室への支援、様々な特性を持つ児童生徒への個別指導を行うことにより、学習面、行動面での成長を促すことができた。							
課題改善策	今後も各学校の教育課題への改善に向けた取組への相談・支援、特別支援学級等へのきめ細かな支援を行い、すべての子供たちの教育環境の充実を目指していく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	情報教育推進事業(小)			経費区分	投資・政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1 確かな学力の育成			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	4 ICTを活用した教育の推進				項	2. 小学校費	
						目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
10,038,050				7,500,000		2,538,050		
事業概要	情報化社会に対応できるよう、校内で必要となるICT機器等の整備や情報教育を進めていく。							
事業目的	新学習指導要領において、「各学校でコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用できる環境を整え、児童生徒がこれらを適切に活用できる学習活動の充実を図る」と明記されていることから、ICT機器の積極的導入を進める。							
実施結果・現状	指導者用デジタル教科書及びeラーニングを全ての小学校に導入し、学習環境の整備を行った。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
授業でもっとコンピューターなどのICTを活用したいと思う割合。 (単位:基)	目標値		100	100	100	100	100
	実績値		95	89.8			
	達成率		95.0%	89.8%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		児童アンケートの前年度比較(評価指標)は減少しているが、一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICT教育の必要性は高い。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		情報化社会に対応するために必要な教育の機会が減少してしまう。					
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		基本施策「ICTを活用した教育の推進」に謳われている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	ICTの活用は、将来的に町の情報発信や情報戦略等につながっていくものと考えられる。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		「小学校パソコン機器更新事業」等との統合を検討 外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
	評価意見	デジタル教科書及びプロジェクター等のICT機器を活用した授業を展開することにより、児童の意欲や学力が向上し、主体的で深い学びに繋げることができた。					
課題	令和2年度は小学校の教科書の改訂時期であったため、デジタル教科書を配備し、各校に整備されているプロジェクターを活用することで、より一層深い学びが促進された。引き続き、各校で必要なICT機器等の整備を進める。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	小学校国際交流の語学指導事業			経費区分		政策的経費	
	総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり	担当課名		管理課	
		基本目標	1 確かな学力の育成	予算科目	款	10. 教育費	
		基本施策	1 確かな学力を育む教育の推進		項	2. 小学校費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位：円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
4,685,058						4,685,058	
事業概要	令和2年度から小学校における外国語授業が完全実施となり、これまで以上に外国語によるコミュニケーション能力が求められていることから、小学校時代からネイティブな英語に触れる機会を設け、国際的な感覚を身につけた児童を育成する。						
事業目的	外国人と対話することで、基礎的なコミュニケーション能力の向上を図るとともに、国際感覚を身につけた人材を育成する。						
実施結果・現状	外国人と接し、ネイティブな発音に触れることで、外国語学習に関する興味や関心が高まり、学びに対する意識向上が図られた。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
外国人の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う割合。 →英語の勉強が好きな割合 (単位：%)	目標値		80	80	80	80	80	
	実績値		68.4	57.6				
	達成率		85.5%	72.0%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		評価指標が変わり実績値は減少しているが、国際感覚の育成について一定のニーズがある。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		英語授業の質の向上のため、町単独事業として実施すべき事業である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	外国人によるネイティブな英語に触れることのできる貴重な機会が失われてしまう。						
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		基本施策「確かな学力を育む教育の推進」と関連性がある。						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
		他事業との統合の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
英語指導助手(ALT)管理事業との統合を検討。								
外部委託等の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当						
町民参加	外部委託機関について、過去に検討した経緯あり。							
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
評価意見	英語教育におけるコミュニケーション能力の育成や、外国の文化や歴史、習慣といった学習が可能となり、国際理解教育の推進が図られた。							
課善題策	子ども達が英語に触れる機会が減少しないよう、外国語指導助手の人材確保に努める。							

2次評価 (評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	事業の効率性を図るため、英語指導助手(ALT)管理事業と統合を行い、引き続き人材確保に努めながら、事業の継続に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	学校図書室システム化事業（小）			経費区分	投資・政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1. 学校教育（1）学校教育			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	2 豊かな心の育成				項	2. 小学校費	
		5 読書活動の推進				目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費（単位：円）	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
828,388						828,388		
事業概要	市街地の小中学校3校（美瑛小・美瑛東小・美瑛中）の図書室の図書資料をデータベース化し、図書館システムとサーバーを共有する。また、TOOLiシステムを活用し、選書に必要な情報収集の効率化を図る。							
事業目的	図書室の図書資料をデータベース化し、図書館システムとサーバーを共有することで蔵書の有効活用が促され、児童生徒の読書環境の向上が図られる。							
実施結果・現状	利用状況に関する情報が自動的に集計されることで、その情報を活用した効果的な資料の整備等を進めることができる。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
-	目標値		-	-	-	-	-
	実績値		-	-	-	-	-
	達成率		-	-	-	-	-
(単位：)							
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		図書資料の検索が容易にでき、一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	「美瑛町子どもの読書活動推進計画」に基づき実施している事業である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		図書館と学校との情報が共有されず、効率化が妨げられる。					
	効率性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		基本施策「読書活動の推進」に記載。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	図書館の基本施策「子どもの読書活動の推進」等と関連性がある。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		現状、統合可能な他事業が無いものと考えられるが、今後の検討は可能。					
課改善策	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	メインとなる図書館システムについては、すでに町外業者に委託済。						
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	学校図書室及び図書館の図書資料を一括で管理することができ、子どもの読書環境の充実を図ることができた。 また、図書室の利用者の利便性を向上することができた。						
課題	今後も子どもたちの読書環境の充実に努める。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	小学校通級指導推進事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 とともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1. 学校教育（1）学校教育			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	1 確かな学力の育成				項	2. 小学校費	
		2 特別支援教育の充実				目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費（単位：円）	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
378,612						378,612		
事業概要	通級指導教室は、通常学級に在籍を置きつつも、様々な配慮が必要な子どもたちに対し、それぞれの実態に合わせて学習部分を補うための教室である。本人の特性から配慮を必要とする児童が増加傾向にあるため、本事業により通級指導教室の環境整備を行う。							
事業目的	美瑛小にあることばの教室、美瑛東小にあるそだちの教室に必要な教材等を整備し、きめ細かで効果的な活動を展開する。							
実施結果・現状	通級指導に適した備品などの整備を行うことで、安定した学校運営が期待できる。また、ことばを育てる親の会では、通級指導教室に通う児童の保護者同士が情報交換や研修を行うことで、共通の悩みや問題の解決に結びついている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
—		目標値	—	—	—	—	—
(単位： )		実績値	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		通級指導を希望する家庭について、一定のニーズあり。					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		町独自の一人ひとりのきめ細かな支援を行うために必要な事業である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当				
	有効性	支援を要する児童に対し、通級指導の質の低下につながる					
		総合計画との関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
		直接的な記載は無いが、基本施策「特別支援教育の充実」の目的に合致する。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		基本施策「特別支援教育の充実」と深い関連性がある。					
		他事業との統合の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
	町民参加	小学校特別支援教育推進事業との統合について検討					
外部委託等の可能性		□可能 □要検討 □不可能 ■非該当					
評価意見	町民の参画	□実施 □要検討 □未実施 ■非該当					
課題改善策	通常学級に在籍していても、本人の特性から配慮を必要とする児童が増加している。また、通級指導を受ける人数も増加傾向にあり、本事業により環境整備を行うことが効果的である。						
	通級指導教室については、通級児童が増加傾向にあることから、今後も指導者の確保が必要である。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	□拡充 ■現状継続 □改善継続 □縮小 □統合 □休止 □廃止 □完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	小学校総合的な学習の時間交付金			経費区分	その他の経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	1 小規模校の特性を生かした教育環境の充実				項	2. 小学校費	
		4 体験教育の推進				目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
	341,331					341,331		
事業概要	人・自然・地域との関わりを通し、自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決したり表現したりしていくことで、よりよい生活ができるよう取り組んでいく。							
事業目的	各学校において、地域性や児童の実態に応じ興味や関心、主体的で創意工夫に満ちた教育活動が可能となり、心の豊かな人材の育成につながる。							
実施結果・現状	自ら課題を見つけ、学び・考え・主体的に解決する資質や能力が育成される。 また、陶芸教室など、異文化や学習指導要領以外の幅広い学びが可能となる。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
(単位: )		目標値	—	—	—	—	—	
		実績値	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		心豊かな人材育成を目的としており、一定のニーズがある。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		新学習指導要領に基づく事業であり、妥当性がある。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	主体的に解決する資質や能力育成の質の低下につながる。							
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		基本施策「郷土愛を育むふるさと教育の充実」等と関連性がある						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	美瑛町のまちづくりや観光、防災、美しい村など、幅広い施策との関連性がある。							
	効率性	他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		キャリア教育推進事業等との統合について検討。						
外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
町民参加	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当						
	陶芸教室については、例年、階空窯の南先生に講師をお願いしている。							
評価意見	例年実施している陶芸教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、各学校において実施している総合的な学習の時間については、感染症対策や安全を確保しつつ、創意工夫をした中で課題解決に向けて取り組んでいる。							
課題改善策	新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、どのような形であれば事業を実施できるかを検討し、安全な環境の中で更なる工夫を講じ、事業を実施していく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価				
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見	



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	食育推進事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	3 たくましく生きるための健康や体力の育成				項	2. 小学校費
		8 食育の推進			目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
214,056						214,056	
事業概要	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう食育を推進する。学校給食を教材として活用しつつ、給食の時間をはじめとする関連教科等における食に関する指導を体系付け、学校の教育活動全体を通じて、総合的かつ横断的に食育を推進する。						
事業目的	栄養教諭による栄養指導をはじめ、学校全体で食育活動を推進する。						
実施結果・現状	児童生徒が実際に種まきから収穫等の体験的な学習に取り組むことで、食べる喜びや自然の恵みへの感謝の心を育むことができる。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
朝食を毎日食べている割合 (単位:回)	目標値		100	100	100	100	100
	実績値		88	96.6			
	達成率		88.0%	96.6%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		成長期の子どもたちにとって欠かせないものであり、一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町事業として、健康な心身を育むための食生活の改善と食育を推進していくべきである。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	有効性	食に関する知識が乏しくなり、正しい健康管理が行えなくなる。					
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		基本施策「食育の推進」に謳われている。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		農業における「食育と地産地消の推進」と関連性がある。					
他事業との統合の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
町民参加	総合的な学習の時間交付金事業等との統合について検討。						
	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	JA(あぐりスクール)による田植え、稲刈り事業を実施。						
	例年であれば、学校菜園で野菜を育て、収穫し、調理して食べるまでの一貫した学習を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、調理を行うことができなかった。また、JAびえい協力の下で行っている町内圃場での田植え・稲刈りなどの事業についても、同様の理由からR2年度については事業を見送っている。						
課題改善策	今後も新型コロナ対策を講じつつ、学校の教育活動全体を通じて総合的かつ横断的に食育を推進していく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	小学校スキー授業推進事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	3 たくましく生きるための健康や体力の育成				項	2. 小学校費
		9 健やかな体を育む教育の推進				目	2. 教育振興費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
629,414						629,414	
事業概要	町内におけるスキー場の閉鎖や町民スキー場のリフトが廃止されたことを受け、北海道の冬の代表的なスポーツであるスキー授業が安定して行えるよう、スキー指導員の派遣やリフト券の助成を行い、児童生徒の冬期間における体力向上に努める。						
事業目的	スキー授業を実施し、児童生徒の体力向上を図るとともに、保護者負担の低減を行う。						
実施結果・現状	スキー指導員の派遣により、きめ細かな配慮のもとでスキー事業を実施することができている。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
スキー授業の回数 (単位:回)	目標値		30	30	30	30	30	
	実績値		28	31				
	達成率		93.3%	103.3%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		地域の実情から考慮すると、スキー授業が妥当であり、一定のニーズがあると考えられる。						
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		児童生徒の安全を確保するため、指導員を派遣することが妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		「健やかな体を育む教育の推進」との関連性がある。						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	町内のスキー指導員を派遣することにより、町民参加と協働の促進につながっていく。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
総合的な学習の時間交付金や食育推進事業等の学級運営に支援を行う事業との統合を検討することができる。								
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当						
	人材派遣会社等による外部委託も検討は可能だが、実情としては困難である。							
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当						
	町内のスキー指導員(スキー連盟)に協力をいただいている。							
課改善	本年度はコロナウイルス感染症対策を講じながらの実施となったが、目標を達成することができ、児童生徒の体力維持・向上に努めることができた。							
課題	細かな配慮を必要とする児童生徒が増えており、教員だけではスキー指導が難しい状況にあることから、子どもたちが安心してスキー授業を受けられることができるよう、必要な指導員を確保していく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	小学生学習ルーム事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1 確かな学力の育成			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	1 確かな学力を育む教育の推進				項	2. 小学校費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費 (単位：円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
	0					-		
事業概要	小学生3～6年生を対象とした学習ルームを長期休業中に開設し、国語、算数、外国語のふりかえり学習を実施する。							
事業目的	児童の学力向上に対する取り組みの一環として、基礎学力及び学習意欲の向上、学習習慣の意識づけを行うために、長期休業を活用し、小学生学習ルームを開設する。							
実施結果・現状	学期末に振り返り学習を実施することで、家庭学習の習慣づけとなり、学力の底上げにも繋がっている。また、他校の児童と共に授業を受けることで異校間交流が生まれ、その後の中一ギャップを予防効果につながっている。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
参加申込児童数(延べ) (単位：名)	目標値		110	110	110	110	110	
	実績値		102	0				
	達成率		92.7%	0.0%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		毎年一定数の申込み(ニーズ)がある。						
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		学校でも独自に学習ルームを実施しているが、他校との共同学習について町が実施主体となることは妥当。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	学力の底上げを行う場所が減少してしまう。						
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		「確かな学力を育む教育の推進」につながっている。						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		近似的な事業無し						
	町民参加	外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		検討は可能であるが、現在講師として依頼している教育助手やALTを活用すべきと考えられる。						
	評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
町内在住の教員免許を持った方を講師として活用している。								
課題	指導者による授業の創意工夫もあり、例年、参加した児童からも好評であるが、R2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏・冬ともに事業を中止した。							
	新型コロナウィルス感染症の対策を講じつつ、どのような形であれば事業を実施できるかを検討し、安全な環境の中で事業を実施していく。また、参加する学校に偏りが見られるため、全ての学校に対し参加の呼びかけと、参加しやすい環境づくりを行っていく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	中学校通級指導推進事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	1 確かな学力の育成				項	3. 中学校費	
		2 特別支援教育の充実				目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
49,908						49,908		
事業概要	通常学級に在籍していても、本人の特性から配慮を必要とする児童が増加しているため、本事業により必要な環境整備を行う。							
事業目的	美瑛中学校のすだちの教室は、通級生徒の実態に合わせ、必要となる学習部分を補うための教室である。本事業により、通級指導教室に必要な教材等を整備し、きめ細かく効果的な授業を展開する。							
実施結果・現状	通級指導に適した備品などの整備を行うことで、安定した学校運営が期待できる。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
-		目標値	-	-	-	-	-
(単位: )		実績値	-	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		通級指導を希望する家庭について、一定のニーズあり。					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		町独自の一人ひとりのきめ細かな支援を行うために必要な事業である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当				
	有効性	支援を要する生徒に対し、通級指導の質の低下につながる					
		総合計画との関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
		直接的な記載は無いが、基本施策「特別支援教育の充実」の目的に合致する。					
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		基本施策「特別支援教育の充実」と深い関連性がある。					
		他事業との統合の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
	町民参加	中学校特別支援教育推進事業との統合について検討					
外部委託等の可能性		□可能 □要検討 □不可能 ■非該当					
評価意見	町民の参画	□実施 □要検討 □未実施 ■非該当					
課題	通常学級に在籍していても、本人の特性から配慮を必要とする生徒が増加している。また、通級指導を受ける人数も増加傾向にあり、本事業により環境整備を行うことが効果的である。						
改善策	すだちの教室は令和元年度に設置され、本事業により徐々に環境が整備されている。小学校で通級指導を受けた児童が中学校に進学し、中学校においてギャップを感じることなく成長することができるよう、今後も引き続き環境整備の継続が必要である。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	□拡充 ■現状継続 □改善継続 □縮小 □統合 □休止 □廃止 □完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	情報教育推進事業(中)			経費区分	投資・政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1 確かな学力の育成			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	4 ICTを活用した教育の推進				項	3. 中学校費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 (単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
3,406,167				2,500,000		906,167	
事業概要	情報化社会に対応できるよう、校内で必要となるICT機器等の整備や情報教育を進めていく。						
事業目的	新学習指導要領において、「各学校でコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用できる環境を整え、児童生徒がこれらを適切に活用できる学習活動の充実を図る」と明記されていることから、ICT機器の積極的導入を進める。						
実施結果・現状	ICT機器を活用した授業を展開することにより、生徒の意欲や学力が向上し、主体的で深い学びに繋げることができている。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
授業でもっとコンピューターなどのICTを活用したいと思う割合。 (単位:基)	目標値		100	100	100	100	100
	実績値		63.2	79.2			
	達成率		63.2%	79.2%			
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		生徒アンケートの前年度比較(評価指標)も増加しており、ニーズが高い。					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICT教育の必要性は高い。					
		事業休止・廃止による町民への影響	□高 ■中 □低 □非該当				
		情報化社会に対応するために必要な教育の機会が減少してしまう。					
	有効性	総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		基本施策「ICTを活用した教育の推進」に謳われている。					
		他施策に対する波及効果・関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
	効率性	ICTの活用は、将来的に町の情報発信や情報戦略等につながっていくものと考えられる。					
		他事業との統合の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
		「中学校パソコン機器更新事業」等との統合を検討					
町民参加	外部委託等の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当					
	町民の参画	□実施 □要検討 □未実施 ■非該当					
評価意見	本年度は、本事業を活用しiPadスタンドやIT教卓、短焦点壁掛け対応型プロジェクターを導入した。iPadと電子黒板機能付きプロジェクターを組み合わせることで、生徒の深い学びに繋がっている。						
課題	令和2年度は中学校に短焦点型プロジェクターを設置し、既存のiPad等と組み合わせることで、より一層深い学びが促進された。引き続き、各校で必要なICT機器等の整備を進めていく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	学校図書室システム化事業（中）			経費区分	投資・政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育（1）学校教育			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	2 豊かな心の育成				項	3. 中学校費
		5 読書活動の推進				目	2. 教育振興費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費 （単位：円）	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
414,194						414,194	
事業概要	市街地の小中学校3校（美瑛小・美瑛東小・美瑛中）の図書室の図書資料をデータベース化し、図書館システムとサーバーを共有する。また、TOOLiシステムを活用し、選書に必要な情報収集の効率化を図る。						
事業目的	図書室の図書資料をデータベース化し、図書館システムとサーバーを共有することで蔵書の有効活用が促され、児童生徒の読書環境の向上が図られる。						
実施結果・現状	利用状況に関する情報が自動的に集計されることで、その情報を活用した効果的な資料の整備等を進めることができる。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
（単位：）	目標値		—	—	—	—	—
	実績値		—	—	—	—	—
	達成率		—	—	—	—	—
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		図書資料の検索が容易にでき、一定のニーズがある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		「美瑛町子どもの読書活動推進計画」に基づき実施している事業である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		図書館と学校との情報が共有されず、効率化が妨げられる。					
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		基本施策「読書活動の推進」に記載。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	図書館の基本施策「子どもの読書活動の推進」等と関連性がある。					
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
		現状、統合可能な他事業が無いものと考えられるが、今後の検討は可能。					
		外部委託等の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当				
	町民参加	メインとなる図書館システムについては、すでに町外業者に委託済。					
町民の参画		<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
評価意見	学校図書室及び図書館の図書資料を一括で管理することができ、子どもの読書環境の充実を図ることができた。 また、図書室の利用者の利便性を向上することができた。						
課善題策	今後も子どもたちの読書環境の充実に努める。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	部活動促進事業			経費区分	政策的経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	2 豊かな心の育成				項	3. 中学校費
		3 豊かな心を育む教育やいじめ問題等への取り組みの充実			目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
1,192,814						1,192,814	
事業概要	部活動に係る経費について、各校へ交付金を配分する。また、全道大会以上の大会に出場する派遣費用の一部を助成する。						
事業目的	生徒が部活動を通してスポーツの実践や文化活動を経験することで、個々の自主性や自発性を引き出し、心身の健全な発達を促す。あわせて、部活動に係る保護者負担の軽減を図る。						
実施結果・現状	本事業により、部活動を行う環境や、子どもたちが部活に参加しやすい環境が整備された。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
-		目標値	-	-	-	-	-	
(単位:回)		実績値	-	-	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		部活動に係る費用の一部助成により、保護者負担の軽減が図られ、一定のニーズがある。						
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		部活動経費への援助、大会費用への一部助成は町の事業として妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	保護者への負担増が見込まれる。							
	有効性	総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合計画の中では謳われていないが、「健やかな体を育む教育の推進」と関連性がある。						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	部活動による心身の健全な発達を促すことは、スポーツの活性化による健康づくりにもつながり、将来の指導者の育成、スポーツの普及発展にも波及していくものと考えられる。						
他事業との統合の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
	町民の参画	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
評価意見	コロナ禍により制限がある中での活動ではあったが、自主的な発表会を行うなど、実施できる範囲で部活動が継続された。							
課題改善策	本事業以外にも、指導者の確保など必要であり、地域との連携体制を整えることが必要である。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	キャリア教育推進事業（中）			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1. 学校教育（1）学校教育			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	2 豊かな心の育成				項	3. 中学校費	
		6 キャリア教育の推進				目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費（単位：円）	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
460,411				181,000		279,411		
事業概要	中学生には、将来の職業観や、社会的責任と自身の存在意義、自主自立に向け自ら道を切り開く能力を高める必要がある。自分らしい生き方を実現するため、人生の先輩から学び、将来の自分を模索するような幅広い授業を展開する。							
事業目的	生徒の発達段階に応じたキャリア教育を実践し、人生観や職業観を培い、郷土に対する尊敬と愛着の念を持った未来の美瑛を背負って立つ人間に成長することを促す。							
実施結果・現状	R2年度は、中学校1年の農業観、2年生の生命観、3年生の職業観について、それぞれ講話による授業を実施し、宿泊研修や職業体験を通じて将来のなりたい自分を想像し、努力する人材の育成につなげた。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
将来の夢や目標を持っている割合 (単位：%)	目標値		100	100	100	100	100
	実績値		55	71			
	達成率		55.0%	71.0%			
1次評価 担当課	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		生徒たちの社会的自立、将来の自身の職業観など人材育成について、ニーズが増加傾向にある。					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		学習指導要領にも位置付けられており、生徒の職業観など、人材育成のために実施すべき事業である。					
		事業休止・廃止による町民への影響	■高 □中 □低 □非該当				
		子どもたちの未来に向けた人材育成の質の低下につながる。					
	有効性	総合計画との関連性	■高 □中 □低 □非該当				
		基本施策「キャリア教育の推進」に記載。					
		他施策に対する波及効果・関連性	■高 □中 □低 □非該当				
	効率性	将来の町を担う子どもたちのより良い教育環境での成長は、全ての町の施策に波及する。					
		他事業との統合の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
		総合的な学習の時間交付金事業との統合について検討					
		外部委託等の可能性	□可能 ■要検討 □不可能 □非該当				
	町民参加	外部講師の派遣（委託）について、検討が可能と思われる。					
町民の参画		■実施 □要検討 □未実施 □非該当					
評価意見	職業体験等により実施済						
	キャリア教育の実践により、生徒が自分の将来を見据え、自ら判断し行動する力の育成につなげることができた。						
課題改善策	キャリア教育によって様々な職業観や人生観を学ぶことで、生徒たちが将来の夢や目標を前向きに持ち、希望をもって中学校を卒業できるよう指導内容を吟味していく。						

2次評価（評価検討委員会） ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見



令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	中学校総合的な学習の時間交付金			経費区分	その他の経費		
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課	
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	1 小規模校の特性を生かした教育環境の充実				項	3. 中学校費
		4 体験教育の推進				目	2. 教育振興費
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)	財源内訳						
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
250,630						250,630	
事業概要	自己理解を深め、集団の一員としての役割を自覚しながら、将来の希望の実現に向けて主体的に行動できる生徒の育成を行う。						
事業目的	各学校において、地域性や生徒の実態に応じ興味や関心、主体的で創意工夫に満ちた教育活動を行う。						
実施結果・現状	自ら課題を見つけ、学び・考え・主体的に解決する資質や能力が育成される。また、陶芸教室など、異文化や学習指導要領以外の幅広い学びが可能となり、心の豊かな人材の育成につながる。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
(単位:回)		目標値	-	-	-	-	-	
		実績値	-	-	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		心豊かな人材育成を目的としており、一定のニーズがある。						
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		町民としての意識や社会性の向上、地域とのつながりの充実に関わる事業であり、妥当性がある。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	有効性	主体的に解決する資質や能力育成の質の低下につながる。						
		総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		基本施策「郷土愛を育むふるさと教育の充実」等と関連性がある						
	効率性	他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		美瑛町のまちづくりや観光、防災、美しい村など、幅広い施策との関連性がある。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	町民参加	キャリア教育推進事業等との統合について検討。						
外部委託等の可能性		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当						
評価意見	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当						
	陶芸教室については、例年、階空窯の南先生に講師をお願いしている。							
課題改善策	例年実施している陶芸教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、各学校において実施している総合的な学習の時間については、感染症対策や安全を確保しつつ、創意工夫をした中で将来の希望の実現に向けて取り組んでいる。							
	新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、どのような形であれば事業を実施できるかを検討し、安全な環境の中で更なる工夫を講じ、事業を実施していく。							

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価	
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見	

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名	中学校スキー授業推進事業			経費区分	政策的経費			
総合計画	分野別策	2 ともに支え合うまちづくり			担当課名	管理課		
	基本目標	1. 学校教育(1) 学校教育			予算科目	款	10. 教育費	
	基本施策	3 たくましく生きるための健康や体力の育成				項	3. 中学校費	
		9 健やかな体を育む教育の推進				目	2. 教育振興費	
町長重点政策	「しあわせな」まちづくり							
事業費(単位:円)	財源内訳							
	国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源		
314,769						314,769		
事業概要	町内におけるスキー場の閉鎖や町民スキー場のリフトが廃止されたことを受け、北海道の冬の代表的なスポーツであるスキー授業が安定して行えるよう、スキー指導員の派遣やリフト券の助成を行い、生徒の冬期間における体力向上に努める。							
事業目的	スキー授業を実施し、児童生徒の体力向上を図るとともに、保護者負担の低減を行う。							
実施結果・現状	スキー指導員の派遣により、きめ細かな配慮のもとスキー事業を実施することができた。							

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
スキー授業の回数 (単位:回)	目標値		5	5	5	5	5	
	実績値		6	6				
	達成率		120.0%	120.0%				
1次評価 担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当					
		地域の実情から考慮すると、スキー授業が妥当であり、一定のニーズがあると考えられる。						
		町事業としての妥当性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		児童生徒の安全を確保するため、指導員を派遣することが妥当である。						
		事業休止・廃止による町民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	スキー以外の代替種目が考えづらく、冬期間における体力維持が困難になってしまう。							
	有効性	総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
		「健やかな体を育む教育の推進」との関連性がある。						
		他施策に対する波及効果・関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当					
	効率性	町内のスキー指導員を派遣することにより、町民参加と協働の促進につながっていく。						
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
		総合的な学習の時間交付金や食育推進事業等の学級運営に支援を行う事業との統合を検討することができる。						
		外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 非該当					
	町民参加	人材派遣会社等による外部委託も検討は可能だが、実情としては困難である。						
町民の参画		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当						
評価意見	町内のスキー指導員(スキー連盟)に協力をいただいている。							
	本年度はコロナウイルス感染症対策を講じながらの実施となったが、目標を達成することができ、児童生徒の体力維持・向上に努めることができた。							
課改善	課題	細かな配慮を必要とする児童生徒が増えており、教員だけではスキー指導が難しい状況にあることから、子どもたちが安心してスキー授業を受けることができるよう、必要な指導員を確保していく。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		図書購入事業		経費区分		その他の経費		
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり		予算科目	担当課名	教育委員会 図書館		
	基本目標	3. 生涯学習(5) 図書館				款	10. 教育費	
	基本施策	2 自己学習(読書活動)支援体制の整備				項	4. 社会教育費	
		2 資料(情報)の充実及び管理		目	3. 図書館費			
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり						
事業費(単位:円)		財源内訳						
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源	
4,999,911					4,500,000		499,911	
事業概要		住民が多く、の書物に触れる機会をつくるため、図書資料の充実を図り、リクエストにも積極的に応える。映像により物語を楽しむことも文化の振興につながるため、視聴覚資料の充実も図る。 また、子どもの読書活動推進を図るため、児童書及び絵本を充実させる。 さらに、おすすめ本を選書し、複数冊用意することで、学校等への団体貸出を推進する。						
事業目的		図書や資料等の充実は、図書館の活動推進には欠かせないものであり、住民ニーズに応えた選書を行うことで、利用者の増加につながる。 学校等と連携した取り組みを行うことで、子どもの読書活動の推進につながる。						
実施結果・現状		住民ニーズに応えた選書を行い、リクエストにも積極的に応えている。						

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
町民一人当貸出冊数 (単位:冊)	目標値		8.60	8.60	8.60	8.60	8.60
	実績値		8.56	8.43			
	達成率		99.5%	98.0%			
1次評価 (担当課)	必要性	事業に対する住民ニーズ	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 非該当				
		新刊の購入ニーズは常にある。					
		町事業としての妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		町として図書館運営上、図書購入する事は妥当である。					
	有効性	事業休止・廃止による住民への影響	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
		住民の生涯学習の機会が激減する。					
		総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 非該当				
	効率性	総合計画の基本目標である、時代に合った図書館機能の充実のために必要である。					
		他施策に対する波及効果・関連性	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		他事業との統合の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
事業内容上、該当しない。							
町民参加	外部委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
	町民の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 非該当					
課改善策	図書館協議会に町民が参加している。						
評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響により4月23日から5月25日までの期間閉館したことや、外出自粛の影響による利用人数の大幅減。こまめな換気や定期的な消毒等により住民にとって利用しやすい施設を維持運営している。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 改善継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。

まちづくり委員会の意見

--

令和2年度事業 美瑛町まちづくり評価調書

1 事業内容

事業名		読書活動応援事業		経費区分		政策的経費	
総合計画	分野別策	3 まちを動かす人づくり		担当課名	教育委員会 図書館		
	基本目標	3. 生涯学習(5) 図書館			予算科目	款	10. 教育費
	基本施策	4 本のある生活の普及と読書推進			項	4. 社会教育費	
		5 読書活動の普及		目	3. 図書館費		
町長重点政策		「しあわせな」まちづくり					
事業費(単位:円)		財源内訳					
		国庫支出金	道支出金	地方債	基金	その他	一般財源
114,015							114,015
事業概要		町内在住中学生以下を対象として、読書通帳(216冊)が1冊終了する毎に本を1冊贈呈する。贈呈する本は、図書館で選書した中から対象者に選んでもらう。					
事業目的		読書通帳利用の楽しさを提供し、利用促進する。また、市街地の学校図書館で借りた本も対象となることから、図書館と学校図書室の両方の利用促進となり、読書習慣の定着と家読活動の促進につながる。					
実施結果・現状		読書通帳利用が増加し、読書習慣の定着と家読活動の促進につながっている。					

2 事業評価

評価指標		年度	R1	R2	R3	R4	R5
贈呈数 (単位:冊)	目標値		60	60	72	72	72
	実績値		67	100			
	達成率		111.7%	166.7%			
1次評価 (担当課)	必要性	事業に対する町民ニーズ	■増加 □一定 □減少 □非該当				
		読書通帳利用が増加し、読書習慣の定着によりニーズが高まっている					
		町事業としての妥当性	■高 □中 □低 □非該当				
		読書習慣の定着と家読活動の促進のために必要である。					
	有効性	事業休止・廃止による町民への影響	□高 ■中 □低 □非該当				
		子どもの学力低下に繋がる可能性がある。					
		総合計画との関連性	□高 ■中 □低 □非該当				
	効率性	総合計画の基本目標である、読書活動の普及のために必要である。					
		他施策に対する波及効果・関連性	□高 □中 □低 ■非該当				
		他事業との統合の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当				
町民参加	事業内容上、該当しない。						
	外部委託等の可能性	□可能 □要検討 □不可能 ■非該当					
課改善策	事業内容上、該当しない。						
	町民の参画	□実施 □要検討 □未実施 ■非該当					
評価意見	好評を得ている。						

2次評価(評価検討委員会) ※令和4年度実施に向けた評価

評価結果	□拡充	■現状継続	□改善継続	□縮小
	□統合	□休止	□廃止	□完了
評価意見	引き続き、効果的な事業内容と効率的な事業執行に努めること。			

まちづくり委員会の意見

--